

官報

號外

明治四十四年三月十七日

金曜日

印刷局

○第二十七回 帝國議會 衆議院議事速記錄第二十三號

明治四十四年三月十六日(木曜日)午後一時十五分開議

議事日程 第二十二號 明治四十四年三月十六日

午後一時開議

- 第一 鐵道又ハ船舶カ外國ノ鐵道又ハ船舶ト貨物ノ聯絡 第一讀會
運輸ヲ爲ス場合ニ關スル法律案(政府提出)
- 第二 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ委員ノ選舉 第一讀會
明治四十三三年勅令第三百二十四號(承諾ヲ求ムル件) (委員長報告)
- 第三 明治三十九年法律第三十一號中改正法律案(政府提出) 第一讀會ノ續(委員長報告)
- 第四 執達吏手數料規則中改正法律案(政府提出) 第一讀會ノ續(委員長報告)
- 第五 軍人恩給法中改正法律案(政府提出) 第一讀會ノ續(委員長報告)
- 第六 明治三十三三年法律第七十六號中改正法律案(政府提出) 第一讀會ノ續(委員長報告)
- 第七 明治三十三三年法律第七十五號同三十五年法律第二十九號準用ニ關スル法律案(政府提出) 第一讀會ノ續(委員長報告)
- 第八 關稅法中改正法律案(政府提出) 第一讀會ノ續(委員長報告)
- 第九 賣藥稅法中改正法律案(政府提出) 第一讀會ノ續(委員長報告)
- 第十 砂糖消費稅織物消費稅等ノ徵收ニ關スル法律案(政府提出) 第一讀會ノ續(委員長報告)
- 第十一 東京市區改正條例中改正法律案(政府提出) 第一讀會ノ續(委員長報告)
- 第十二 治安警察法中改正法律案(日野國明君提出) 第一讀會
- 第十三 印紙稅法中改正法律案(岡田泰藏君提出) 第一讀會
- 第十四 煉乳原料砂糖戻稅法中改正法律案(山本德二郎君提出) 第一讀會
- 第十五 明治三十四年法律第二十七號中改正法律案(根本正君外七名提出) 第一讀會
- 第十六 鐵道敷設法中改正法律案(中村啓次郎君提出) 第一讀會ノ續(委員長報告)
- 第十七 所得稅法中改正法律案(齋藤宇一郎君提出) 第一讀會ノ續(委員長報告)
- 第十八 營業稅法中改正法律案(守屋此助君提出) 第一讀會ノ續(委員長報告)
- 第十九 營業稅法中改正法律案(守屋此助君提出) 第一讀會ノ續(委員長報告)

- 第二十 鐵道國有法中改正法律案(守屋此助君提出) 第一讀會ノ續(委員長報告)
- 第二十一 貴族院及衆議院速記技手在官年月數ニ關スル法律案(福井三郎君提出) 第一讀會ノ續(委員長報告)
- 第二十二 廣告物取締法案(松田源治君提出) 第一讀會ノ續(委員長報告)
- 第二十三 借地ニ關スル法律案(堀山和夫君提出) 第一讀會ノ續(委員長報告)
- 第二十四 東京市借地法案(高木益太郎君提出) 第一讀會ノ續(委員長報告)
- 第二十五 南極探險事業國庫補助ニ關スル建議案(小久保喜七君提出) 第一讀會ノ續(委員長報告)
- 第二十六 港灣改良ニ關スル建議案(松田正久君提出) 第一讀會ノ續(委員長報告)
- 第二十七 初等教科書中政治、法律、經濟等ノ事項ヲ增加スルノ建議案(村松龜一郎君提出) 第一讀會ノ續(委員長報告)
- 第二十八 國設模範製絲所創設ニ關スル建議案(森國造君提出) 第一讀會ノ續(委員長報告)
- 第二十九 常設美術展覽會設置ニ關スル建議案(竹內正志君提出) 第一讀會ノ續(委員長報告)
- 第三十 郡域變更ニ關スル建議案(塚田啓太君提出) 第一讀會ノ續(委員長報告)
- 第三十一 高等工業學校設置ニ關スル建議案(齋田土三郎君提出) 第一讀會ノ續(委員長報告)
- 第三十二 私設交通機關ニ對スル政府ノ方針ニ關スル建議案(戸水君外一名提出) 第一讀會ノ續(委員長報告)
- 第三十三 朝鮮穀物及穀粉ノ移入稅ニ關スル建議案(大內暢三君提出) 第一讀會ノ續(委員長報告)
- 第三十四 (特別報告第百三號)區裁判所出張所増設ノ請願 (委員長報告)
- 第三十五 (特別報告第百四號)平戶區裁判所御厨出張所設立ノ請願 (委員長報告)
- 第三十六 (特別報告第百七號)區裁判所出張所設置ノ請願 (委員長報告)
- 第三十七 (特別報告第百九號)區裁判所管轄變更ノ請願 (委員長報告)
- 第三十八 (特別報告第百十四號)區裁判所出張所設置ノ請願 (委員長報告)
- 第三十九 (特別報告第百十七號)帝國軍人後援會國庫補助ノ請願 (委員長報告)
- 第四十 (特別報告第百十八號)官營事業不企畫ノ請願 (委員長報告)
- 第四十一 (特別報告第百十九號)亞細亞學術探檢協會補助ノ請願 (委員長報告)

- 第四十二 (特別報告第百號)郵便物集配事務復舊開始 (委員長報告)
第四十三 (特別報告第百二號)十津川村折立無集配局 (委員長報告)
第四十四 (特別報告第百五號)郵便局設置ノ請願 (委員長報告)
第四十五 (特別報告第百八號)郵便局設置ノ請願 (委員長報告)
第四十六 (特別報告第百十一號)郵便局設置ノ請願 (委員長報告)
第四十七 (特別報告第百一號)松江監獄西郷分監移轉 (委員長報告)
第四十八 (特別報告第百十號)國有土地山林原野地方自治體ニ下附ノ請願外一件 (委員長報告)
第四十九 (特別報告第百十二號)利根川工事改修補修 (委員長報告)
ノ請願外一件

○議長(長谷場純孝君) 是ヨリ諸般ノ報告ヲ致シマス

(書記朗讀)

- 一議員ヨリ提出セラレタル議案左ノ如シ
私設交通機關ニ對スル政府ノ方針ニ關スル建議案
提出者 戸水 寛八君 菊池 侃二君
産業組合監督機關設置ニ關スル建議案
提出者 西谷 金藏君
官立精神病院設置ニ關スル建議案
提出者 山根 正次君
一貴族院ヨリ送付セラレタル政府提出案左ノ如シ
鐵道又ハ船舶カ外國ノ鐵道又ハ船舶ト貨物ノ聯絡運輸ヲ爲ス場合ニ關スル法律案
一貴族院ヨリ同付セラレタル本院提出案左ノ如シ
砂糖消費稅法中改正法律案
一貴族院ハ本院ノ送付ニ係ル左ノ議案ヲ可決シタル旨同院ヨリ通牒ヲ受領セリ
日本勸業銀行法中改正法律案(政府提出)
農工銀行法中改正法律案(政府提出)
日本興業銀行法中改正法律案(政府提出)
北海道拓殖銀行法中改正法律案(政府提出)
蠶絲業法案(政府提出)
輕便鐵道法中改正法律案(本院提出)
明治四十一年法律第三十七號中改正法律案(本院提出)
帝國學士院學術獎勵金特別會計法案(政府提出)
朝鮮總督府鐵道通信官署ニ於テ取扱フ現金ノ出納ニ關スル法律案(政府提出)
明治四十年法律第四十八號中改正法律案(政府提出)
明治四十年法律第四十九號中改正法律案(政府提出)
水道條例中改正法律案(本院提出)
又左ノ議案ニ對シテハ第二議會ヲ開カサルコトヲ議決シタル旨同院ヨリ通牒ヲ受領セリ

鐵道敷設法中改正法律案衆第六七號(本院提出)
鐵道敷設法中改正法律案衆第八二號(本院提出)
普通選舉ニ關スル法律案(本院提出)
一村松恆一郎君ヨリ教科書改定ニ關スル質問主意書ヲ提出セラレタリ
一島田三郎君ヨリ殉難者ヲ靖國神社ヘ合祀セムトスル請願ニ關スル質問主意書ヲ提出セラレタリ
(左ノ報告ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ掲載ス)

一去年十四日議長ニ於テ選定シタル委員左ノ如シ
明治二十三年法律第百三號廢止法律案

高久 倉藏君 阿部孫左衛門君 大久保弁太郎君
花村 覺三郎君 森 高橋政右衛門君 入江武一郎君
木村 格之輔君 高橋政右衛門君 清水市太郎君
廣告物取締法案 森 望君

大橋 賴摸君 川村 曄君 吉植庄一郎君
木下 義之君 辻川與一右衛門君 高木益太郎君
日野 國明君 矢島浦太郎君 加藤恆忠君
准三后北畠親房公墳墓修理並南朝三帝ノ宮址賀名生皇居ヲ特別保護建造物編入ニ關スル建議案

東 武君 乾 龜松君 大井 卜新君
復井 甚吉君 島田 保之助君 堀江 覺治君
福本 誠君 木村 良君 森 正者
前參議司法卿江藤新平表彰ニ關スル建議案

川原 茂輔君 高田 露君 高橋嘉太郎君
植場 平介君 小久保喜七君 島田三郎君
的野 半介君 柴 四朗君 大竹 貫一君
生絲檢査所ニ試驗場併置ニ關スル建議案

武藤 金吉君 福井 準造君 駒田 小次郎君
肥後 幸盛君 古野 孫太郎君 關田 嘉七郎君
中島 祐八君 津久居 彦七君 須藤 嘉吉君
內地粗糖業保護ニ關スル建議案

奧 繁三郎君 武滿 義雄君 三土 忠造君
奧田 榮之進君 鈴木 辰次郎君 綾部 惣兵衛君
藤崎 朋之君 內野 延君 石田 平吉君
千葉縣立國藝專門學校ヲ文部省直轄ト爲スル建議案外一件

稻村 辰次郎君 千田 軍之助君 水戸 豐吉君
名村 忠治君 宮古 啓三郎君 藤代 市之輔君
河井 重藏君 山根 正次君 加瀬 禰逸君
關稅法中改正法律案外二件委員富島暢夫君辭任ニ付キ其補關トシテ伊東祐賢君ヲ議長ニ於テ選定セリ

一委員長及理事左ノ通り當選セラレタリ
廣告物取締法案委員會 委員長 大橋 賴摸君 理事 辻川與一右衛門君
准三后北畠親房公墳墓修理並南朝三帝ノ宮址賀名生皇居ヲ特別保護建造物編入ニ關スル建議案委員會 委員長 東 武君 理事 乾 龜松君

前參議司法卿江藤新平表彰ニ關スル建議案委員會

委員長 川原 茂輔君 理事 的野 半介君

生絲検査所ニ試験場併置ニ關スル建議案委員會

委員長 武藤 金吉君 理事 福井 準造君

内地粗糖業保護ニ關スル建議案委員會

委員長 奧 繁三郎君 理事 武滿 義雄君

千葉縣立園藝專門學校ヲ文部省直轄ト爲スル建議案外一件委員會

委員長 宮古 啓三郎君 理事 稻村 辰次郎君

明治二十三年法律第三百三號廢止法律案委員會

委員長 高久 倉藏君 理事 花村 覺三郎君

○議長(長谷場純孝君) 會議ヲ開キ御諮リ致シマス、請願委員中村豐次郎君病氣ノため辭任ノ申出ガアリマス、許可シテ御異議アリマセヌカ

(異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ)

○議長(長谷場純孝君) 御異議ガナシト認メマスカラ許可致シ、而シテ同君ハ第五部選出ニ付、同部ノ諸君ハ速ニ補缺選舉ノ上、御届出アランコトヲ望ミマス、日程第一、鐵道又ハ船舶カ外國ノ鐵道又ハ船舶ト貨物ノ聯絡運輸ヲ爲ス場合ニ關スル法律案ノ第一讀會ヲ開キ、議案ノ朗讀ハ省略致シマス

第一 鐵道又ハ船舶カ外國ノ鐵道又ハ船舶ト貨物ノ聯絡運輸ヲ爲ス場合ニ關スル法律案(政府提出) 第一讀會

鐵道又ハ船舶カ外國ノ鐵道又ハ船舶ト貨物ノ聯絡運輸ヲ爲ス場合ニ關スル法律案(政府提出) 第一讀會

(遞信大臣男爵後藤新平君登壇)

○遞信大臣(男爵後藤新平君) 唯今茲ニ提出ニナリマシタ鐵道聯絡ニ關スル法律案ノ必要ナル理由ノ大要ヲ申上ケマス、日露條約ノ結果ト致シマシテ、四十年ニ兩國ノ代表者ガ露都ニ會合致シテ、滿洲ニ於ケル日露鐵道聯絡ノコトニ付テ、更ニ追加ノ條約ヲ締結致シマシタ、其後四十一年、四十二年ニ掛ケ此聯絡ニ付テ露都ニ於テ會議ヲ致シマシタ、其會議ハ南滿洲鐵道會社ヨリ、又大阪商船會社ヨリ、又帝國ノ鐵道院ヨリ、代表者ヲ出シ、又東清鐵道ヨリ、露國政府ノ遞信省其他關係鐵道並ニ義勇艦隊ヨリ、各代表者ヲ出シマシテ、協議ヲ重ネマシタ末、聯絡ノコトハ殆ド細目ニ至ルマデ協商ヲ遂ゲマシタケレドモ、其中旅客ノコトハ既ニ實行スルニ至リ、貨物聯絡ノコトニ付テハ諸般ノ點ニ付テ尙意見ノ纏ラザルモノガアリマシテ、今日ニ至ッテ居リマスガ、要スルニ此聯絡ニ付テハ國際的條約即チ「ベルン」協約ニ據ルホカナイト云フコトニナリマシテ「ベルン」協約ヲ先ヅ基礎トシテ、聯絡ノ規則ヲ設ケルコトニ相成リマシタ、然ルニ此「ベルン」協約ナルモノハ我帝國ノ商法、民法等ト一致セザル點ガアリマスガタメニ、之ニ對シテハ勅令ヲ以テ相當ノ案ヲ立テ之ヲ實行スルノ必要ヲ認メマシテ、本案ヲ提出致シマシタ次第アリマス、此「ベルン」協約ナルモノハ列國共ニ之ニ據ルノデアリマスケレドモ、滿洲鐵道並ニ我日本帝國ノ鐵道ト聯絡ヲ致シマスニ付テハ、海ノ關係ガアリマスルタメニ、直ニ「ベルン」協約ニ據ルコトガ出來ヌト云フコトモアリマス、ソレ故ニ取除ノ方法ヲ考究セバナラヌデ、更ニ日露ノ貨物運輸ノ規則ヲ協商スルコトニナリマシ

タ、併ナガラ之ニ對シテハ前段申述ベマシタヤウニ、商法、民法ト抵觸スル廉ガアリマスルカラ、ソレ等ノタメニ相當ノ方法ヲ設ケナケレバナラス、是ガ即チ本案ヲ提出致シマシタ所以デアリマス、御審議ノ上御協賛ヲ與ヘラレンコトヲ希望致シマス

○議長(長谷場純孝君) 日程第二、右議案ノ審查ヲ付託スベキ委員ノ選舉

第二 右議案ノ審查ヲ付託スベキ委員ノ選舉

○菅原傳君 本案ハ議長指名九名ノ特別委員ニ付託セラレンコトヲ希望致シマス

○議長(長谷場純孝君) 本案ハ議長指名特別委員九名ニ附託スルニ御異議ハアリマセヌカ

(異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ)

○議長(長谷場純孝君) 御異議ガナケレバ其通り決シマス——日程第三、同日一委員ニ付託セラレタル議案ナルニ依リ、併セテ委員長ヨリ報告致サセマス、日程第三、明治四十三年勅令第三百二十四號 承諾ヲ求ムル件、日程第四、明治三十九年法律第三十一號中改正法律案、第一讀會ノ續テ議題ト致シマス——委員長伊藤大八君

第三 明治四十三年勅令第三百二十四號(承諾) 委員長報告

第四 明治三十九年法律第三十一號中改正法律案(政府提出) 第一讀會(續) 委員長報告

○伊藤大八君 諸君、本案ニ對シマシテ委員會ノ經過結果ヲ御報告致シマス、本案ニ付キマシタハ委員會ニ於キマシテハ慎重ニ審議ヲ致シマシテ、數回政府ト質問應答ヲ重ネマシタ、本案ニ付キマシテハナカ——議論モゴザイマシタガ、委員會ニ於キマシテハ本案ヲ承諾ヲ與フベカラザル決議致シマシテゴザイマス、其理由ト致シマシテハ數多ニ分レマシテゴザイマス、併ナガラ要スルニ承諾ヲ與フベカラズト致シマシテモ、責任ハ解除致シテ居ル、斯ウ云フ議論ト未ダ責任ハ解除致シテ居ナイト云フ、此二ツニ大別スルコトガ出來マス、其責任ガ未ダ解除致シテ居ナイト云フ議論ハ憲法第八條ニ依ッテ是ハ出シタルトコロノ緊急勅令ハ違憲ナル、憲法ニ背イテ居ルトコロノ案ナル、ノミナラズ内容ニ於テモ亦此具體的ノ案ガ具體的ニ其内容ヲ備ヘテ居ラナイカラシテ、大權ヲ侵シテ居ルトコロノ是ハ案ナル、ソレ故ニ是ハ承諾ヲ與フベカラザルモノナル、同時ニ責任ヲ解除致シテ居ラナイ、斯ウ云フノガ「ツゴザイマス」、一ツハ最早責任ハ解除致シテ居ル、責任ハ解除致シテ居ルト云フコトニ致シマシテ、其論點ハ二種ニ分レテ居ッテ、其論ノ立脚點ガ異ニテ居ルノデアリマス、之ハ一々此處テ御紹介スルノ甚ダ蛇足ヲ添ヘルヤウナレバゴザイマスルカラシテ、之ハ委員會ノ速記錄ニ於テ御承知ヲ願ヒタイデアリマスガ、等シク二ツニ分レマシテモ、責任ハ解除致シテ居ル、其中多數ノ意向ハ最早此勅令ト内容ヲ等シウ致シテ居ルトコロノ法律案ガ兩院ヲ通過シタル後ニ於テハ、此案ハ不要ナリト云フ理窟ノ下ニ之ハ承諾ヲ與フベカラズト云フ議論ガ多數ノヤウニ見エマシタ、此段委員會ノ經過ヲ御報告致シマス——明治三十九年法律第三十一號中改正法律案、此案モ數回慎重ニ審議ヲ遂ゲタル末、今日ノ臺灣ノ狀態ニ於テハ已ムベカラザルモノト致シマシテ、委員會デハ多數ヲ以テマシテ可決ニ相成リマシタ、此段御報告ヲ致シマス

○菅原傳君 唯今御報告ニナリマシタ……

○議長(長谷場純孝君) チョット待ッテ下サイ、先ヅ日程第三、明治四十三年勅令

第三十二號承諾ヲ求ムル件ヲ議題ト致シマス

第三 明治四十三年勅令第三十二號(承諾ヲ求ムル件)

○菅原傳君 唯今議長ノ御讀ミニナリマシタ此勅令案アリマスルガ、此案ニ付キマシテハ委員長ノ報告ニ依リテ見マスモ其理由ニ於テハ多少ノ差異アリマス拘ラス、結論ニ於テハ委員會ハ全會一致ヲ以テ否決——原案ニ反對否決ト云フコトニ決セラレタト云フコトアリマス、又承レバ委員長ノ報告ニ反對ノ通告モナイヤウニ承テ居リマスルカラ、直ニ本案ニ對シテ採決アラシコトヲ望ミマス

(賛成々々)ト呼フ者アリ

○高木正年君 唯今直ニ採決スルコト云フ動議が出マシタガ、此問題ニ付キマシテ承認セスト云フコトニ付テハ一致ヲ以テ居リマスルガ、承認ノ理由ニ付テハ意見ヲ異ニシテ居ルノデアリマス、殊ニ此問題ハ頗ル重要ノ問題デ、一方ニ承認スベカラズトナス上ニ於テモ、責任ヲ解除スルヲ解除セザルトノ二ツニ理由ガ別レテ居ルガ、是頗ル重要ナコトデアリマスルカラ、成ベク通告者ニ演説ヲサスコトニシテ欲シト思ヒマス

○議長(長谷場純孝君) 菅原君ノ動議ニ賛成ガアリマスカラ採決致シマス、菅原君ノ動議ニ賛成者諸君ハ起立

起立者 多數

○議長(長谷場純孝君) 多數、直ニ採決致シマス、日程第三、明治四十三年勅令第三十二號承諾ヲ求ムル件ハ委員會長ノ報告即チ承諾ヲ與ヘスト云フ方ニ御異議ハアリマセヌカ

(異議ナシ)ト聲起ル

○議長(長谷場純孝君) 御異議ナシト認メマスカラ、委員長報告通り不承認ニ決シマス、日程第四ニ付テ中川君カラ質疑ノ通告ガアリマスガ、是ハ政府ニ對シテデスカ、委員長ニ對シテデスカ

第四 明治三十九年法律第三十一號中改正法律案 第一讀會ノ續

○中川虎之助君 政府當局ニ對シテ疑問ガアリマスカラ説明ヲ請求シタノデス

○議長(長谷場純孝君) 成ベク簡明ニ當該問題ニ直接ニ御述ベニナランコトヲ望ミマス

○中川虎之助君 畏リマシタ

(登壇「無用」ト呼フ者アリ)

○議長(長谷場純孝君) 中川君ハ咽喉ヲ痛メテ居ッテ、少シ病氣ノタメニ布片ヲ卷イテ居ルカラ御許ヲ請フコト云フコトデス

(「異議ナシ」簡單ト呼フ者アリ)

○中川虎之助君 簡單ニヤリマス、(緩クリヤリ給ヘ)ト呼フ者アリ)私ハ今度ノ議會ニハ現内閣ノ政策ヲ協賛スル方ノ側ノ黨員ノ席末ニ居ル者デアリマスカラ、成ベク先ヨリハ一層丁寧ニ、極メテ公平ニ、極メテ明晰ニ能ク審議シテ上テ協賛シタイ積リデアリマス、サウシナケレバマルデ無責任ナ協賛ヲセタ言ハレコトハ陣笠ノ身分デモ甚ダスマナイ、ソコデ此三十一號ノ繼續案ニ對シテ本員ノ考ヘマスルコトハ是ヲ此繼續案ニ於テ却テ目的ヲ達スル上ニ利益ハナクシテ害ガ増長スルヤウニナリハセヌカト云フ私ハ疑問ヲ持ッテ居ルノデアリマス、ソレハ政府ノ方ニ言ハレトコロハ風俗、習慣、言語ガ内地トハ異ッテ居ル、又經濟狀態モ近頃ハ餘程膨脹シテ來テ居ルカラ、此繼續

明治四十三年勅令第三十二號(承諾ヲ求ムル件)
明治三十九年法律第三十一號中改正法律案 第一讀會ノ續

必要トス、今一ツハ總督ノ威嚴ヲ保ツ上ニ於テ立法ト行政トヲ併セ兼ネテアラザレバ新領土ノ人民ニ對シテ威信ヲ失フ虞ガアル、此三ツヲ以テ此三十一號ノ繼續ヲ請求ラセラレテ居ルヤウニ承テ居リマスルガ、是ガ私ノ考ヘカラ見ルト唯官僚ノ我田引水ノ僻説デナイカ知ラヌト思フデアリマス、モウ臺灣モ領臺當時トハ違ヒマシテ餘程是マデノ統治ノ成績ガ現ハレテ、鐵道モ電話、電信、道路、衛生、警察、教育、總テ四國ヤ九州ニ較ベテ一般ノ民度ノ上カラ見テモ、何レカラ見テモ、格別臺灣ハ内地カラ大ニ劣ッテ居ルトコロノヤウナコトハナイヤウニ思フデアリマス、ソレデ格別是マデト違ッテ是カラ先ニ此風俗、言語、習慣ト云フコトハカリニ掛ッテ、此繼續ヲ必要デアルト主張スルハ試ミニ隣リノ沖繩縣ナドニ較ベマシタラドンナモデアルカト言ヒマシタガ、御承知ノ沖繩縣ハ言語モ違ヒ、風俗モ違ヒ、習慣モマルデ違ッテ居ル、明治四十三年ニ内務省ノ出張所ヲ置イテ以來、當時ハ二箇月ニ一廻カ航海ガナク、電信モナイ、ソレデモ或程度マデハ舊慣ヲ認メテ同化主義ノ政策ハ全ク成效シツ、アルノデアル、ソレデ私ハチヤ、今度此繼續案ヲ政府カラ請求スルニ對シテ必ズ臺灣ノ裁判所令ヲ改正シテ上告ヲ許ス位ノコトハ政府トシテ當然セラル、デアラウト思ウテ居リマスガ、一向其臺灣ノ裁判所令ノ改正案ト云フモノヲ提出セラレテ來ナイ、御承知ノ臺灣ニハ如何ナルコトガアッテモ總督ノシタコトニ對シテ今以テ上告スルコトハ絕對ニ出來ナイコトニナッテ居ル、一方ニハ法律ニ代ルベキ制令權ヲ握リ行政權ハ固ヨリデアル、以上ノ特權ヲ以テ行カネバナヌト云フコトニナル、其結果ガドウナルカト云フコト、先キニ申シマスル新領土經營ノ妨害ニナリハセヌカト云フノハ外ノコトハナイ、生命財產ノ最後ノ保護ノ付カヌトコロニ對シテ將來穩健ナ資本ヲ卸シテ安心シテ事業シテ事業ヲ經營スルコト云フコトハ著實ナ事業家ハ餘リ好マヌ答デアラウト思ヒマス、誰デモ穩健ナ資本ヲ卸シテ生命財產ノ最後ノ保護ノ付カヌトコロシノ金ヲ入レルト云フコトハシヤウ答ガナカラウト思フデアリマス、ソレデ上告ヲ許ス位ノコトハシナケレバナルマイト思フデアリマスガ、是カラ先キニ臺灣山中ノ遺利ヲ開發シ、東海岸ノ原野ヲ開發シ、多ク倍々爲スベキ事業ハアルヤウニ思ハレ、ソレニ何ノコトハナイ、官僚萬能本位ヲ破格ノ特權ヲ總督ニ與ヘテ一朝總督ノ御機嫌ヲ損ジタラ、如何ナル迫害ヲセラレテモ昔ノ征夷將軍時代ニアッタヤウナコトヲセラレテモ、却テ耐ヘテ居ラナケレバナラヌト云フヤウナ危險千萬ナトコロデハ安心シテ穩健ノ資本ヲ投ズルコトハ出來ナカラウト思ヒマスガ、從テ臺灣ノ眞ノ經營ヲ速ナラシムルコト云フ上ニ付テハ故障ニハナラウガ、利益ニハナラヌデアラウト私ハ思フデアル、ソレデナラウコトナラバ此案ヲ通ス前ニ「上告スルコトヲ得」ト云フ臺灣ノ裁判所令ノ改正案ヲ政府ガ提出セラレタナラバ、之ヲ認メテモ敢テ不都合ハナカラウカト私ハ思ウテ居ルノデアルガ、政府當局ハ上告權ヲ與ヘルト云フ意志ハナイノカアルノカ、此點ヲ承リタイ、ソレカラ今一ツハ……

○議長(長谷場純孝君) 成ベク簡單ニ……

○中川虎之助君 モウ止メマス、ソレカラ此上告權ヲ許スト云フコトニシナイト現在ノ實況ヲ私ガ知ッテ居ルダケノコトヲ政府委員ニ尙一層疑問ノ範圍内デ御尋致スノダガ、其儘デ居タナラバ「マア咽喉ガ惡イカラチヨット水一杯」(「簡單」ト呼フ者アリ)臺灣割讓ノ本旨ト云フモノヲ沒却シテシマヒハシナイカト私ハ心配スルノデアル、今日アナタ方モ御承知デアラウガ、昨年臺灣ノ民政長官ナドガ休職セラレタアル、今日アナタ方モ是マデノ其總督府ガ人民ニ對シテ、新附ノ民ニ對シテ、所有權モ時ニ依ツテ追害シ、又人權モ追害スルコト云フコトハ事實デアル、新領土ノ人民ヲ統治スルニ付キマシテハ或時機ニハサルト云フコトモ萬ハ已ム得ズシナケレバナラヌ必要モアリマセウケレドモ、イツマデモソレヤルト云フノハ恐クハ三百萬ノ新附ノ人民ヲシテ

〔政府委員内田嘉吉君登壇〕

○議長（長谷場純孝君） 高木正年君

〔高木正年君登壇〕

明治四十四年三月十七日

衆議院議事速記錄第二十二號

治二十九法律第二十一號中改正法律案

第一讀會ノ續 四九九

任セサレバ臺灣ニ於ケルトコロノ法令ナルモノハ實際ニ行ヘ得ズト云フコトハ解スベカラザルコトト謂ハネバナラヌノデアリマス、私共委員會ニ於テ參考トシテ受取ツタ臺灣ノ律令ノ内容ニ付テ調ベテ見マスト、若シ臺灣内地ニ於テ吾々ノ手ニ受取ルナラバ法律ト謂ハシヨリハ寧ロ省令ト云ヒ、或ハ廳令ト致スベキモノマデモ、悉ク律令トシテ發布シテアルノデアリマス、臺灣總督府ヨリ出デマシタ政府委員ハ臺灣ハ内地ト事情ガ違フノデアル、内地ト事情、異ナルノデアル、之ニ依ツテ律令トシナケレバナラヌト云ハレタ、是ハ議論ニハナラヌノデアリマス、臺灣ニ於ケル法律ガ内地ト事情ヲ異ニスベシト云フコトハ謂フマデモナイコトデアリマス、我帝國議會ガ臺灣ニ於ケル法令ヲ定メタコトハ此臺灣律令ヲ委任シタル後ニ於テモ屢々議會ノ決議ヲ以テ臺灣ニ施行スル法律ヲ作ツタ例ハアルノデアリマス、其他申セバ臺灣ニ於ケル巡查監守費ニ關スル法律ノ如キ、即チ其モノデアリマス、是ハ臺灣律令ヲ必要トスル條件ノ中ニ私共稍々耳ヲ傾クベキモノアリトスレバ、ウレハ所謂緊急ニ起ツタコトニ付テノ處分ノ律令デアリマス、普通ノ臺灣律令ハ決シテ晨ニ定メテ、夕ニ之ヲ出ストモ云フ程ニ緊急ノモノデナイト云フコトハ最モ明カナ事實デアリマス、先ヅ臺灣ガ如何ニシテ律令ヲ定ムルカト云フコトノ手續ヲ調ベテ見レバ、此事ガ最モ容易ニ分ルノデアリマス、臺灣ガ律令ヲ發スル前ニ於テハ臺灣律令ニ定メタコロノ手順ニ依ツテ、之ヲ總督府ニテ起草シテ、更ニ之ヲ主務大臣ニ稟請スル、主務大臣ハ之ヲ調査シテ更ニ之ヲ法制局ニ送り、法制局ニ送ツタ後上奏裁可ヲ經テ發布スルト云フノガ、臺灣律令ノ普通ノ場合ニ於ケル形式デアリマス、是ハ幾ド内地ニ於ケル法律ヲ起草スルト少シモ其間ニ二段ノ異ナル點ハナイノデアリマス、唯議會ニ聽カザルト云フダケガ彼等ノ以テ便利トナスト云フニ過ギナイノデアリマス、六十三號即チ二十一號ノ第三條ニ所謂緊急事件ト云フモノガアルノデアリマス、是ハ朝鮮ニ於ケル制令ト同ジ性質ノモノデアリマス、若シ此緊急ノ命令ヲ出スベキ必要ガアルタメ、臺灣律令ヲ置クベキカト申シタナラバ、若シ事實ニ於テ斯様ナコトガアツテ、而モ帝國議會ニ聽クベキ時間ガナシトスレバ、此場合憲法ノ八條ノ緊急命令ヲ發セラルルモ少シモ差支ナイノデアリマス、而モ實際ニ於テ臺灣ノ律令ヲ定メタモノトスル緊急ノモノハ事實ニ於テ實ノナイト云フコトモ云ヒ得ルノデアリマス、政府ヨリ提出セラレタコロノ參考書ニ依ツテ調ベテ見マスト二十九、三十、三十一、三十二、三十三、三十四、三十五、三十六、三十七、三十八、三十九、四十、四十一、四十二、四十三、四十四、四十五、四十六、四十七、四十八、四十九、五十、五十一、五十二、五十三、五十四、五十五、五十六、五十七、五十八、五十九、六十、六十一、六十二、六十三、六十四、六十五、六十六、六十七、六十八、六十九、七十、七十一、七十二、七十三、七十四、七十五、七十六、七十七、七十八、七十九、八十、八十一、八十二、八十三、八十四、八十五、八十六、八十七、八十八、八十九、九十、九十一、九十二、九十三、九十四、九十五、九十六、九十七、九十八、九十九、一百、一百〇一、一百〇二、一百〇三、一百〇四、一百〇五、一百〇六、一百〇七、一百〇八、一百〇九、一百一〇、一百一十一、一百一十二、一百一十三、一百一十四、一百一十五、一百一十六、一百一十七、一百一十八、一百一十九、一百二十〇、一百二十〇ノ一、一百二十〇ノ二、一百二十〇ノ三、一百二十〇ノ四、一百二十〇ノ五、一百二十〇ノ六、一百二十〇ノ七、一百二十〇ノ八、一百二十〇ノ九、一百二十〇ノ一〇、一百二十〇ノ一一、一百二十〇ノ一二、一百二十〇ノ一三、一百二十〇ノ一四、一百二十〇ノ一五、一百二十〇ノ一六、一百二十〇ノ一七、一百二十〇ノ一八、一百二十〇ノ一九、一百二十〇ノ二〇、一百二十〇ノ二一、一百二十〇ノ二二、一百二十〇ノ二三、一百二十〇ノ二四、一百二十〇ノ二五、一百二十〇ノ二六、一百二十〇ノ二七、一百二十〇ノ二八、一百二十〇ノ二九、一百二十〇ノ三〇、一百二十〇ノ三一、一百二十〇ノ三二、一百二十〇ノ三三、一百二十〇ノ三四、一百二十〇ノ三五、一百二十〇ノ三六、一百二十〇ノ三七、一百二十〇ノ三八、一百二十〇ノ三九、一百二十〇ノ四〇、一百二十〇ノ四一、一百二十〇ノ四二、一百二十〇ノ四三、一百二十〇ノ四四、一百二十〇ノ四五、一百二十〇ノ四六、一百二十〇ノ四七、一百二十〇ノ四八、一百二十〇ノ四九、一百二十〇ノ五〇、一百二十〇ノ五一、一百二十〇ノ五二、一百二十〇ノ五三、一百二十〇ノ五四、一百二十〇ノ五五、一百二十〇ノ五六、一百二十〇ノ五七、一百二十〇ノ五八、一百二十〇ノ五九、一百二十〇ノ六〇、一百二十〇ノ六一、一百二十〇ノ六二、一百二十〇ノ六三、一百二十〇ノ六四、一百二十〇ノ六五、一百二十〇ノ六六、一百二十〇ノ六七、一百二十〇ノ六八、一百二十〇ノ六九、一百二十〇ノ七〇、一百二十〇ノ七一、一百二十〇ノ七二、一百二十〇ノ七三、一百二十〇ノ七四、一百二十〇ノ七五、一百二十〇ノ七六、一百二十〇ノ七七、一百二十〇ノ七八、一百二十〇ノ七九、一百二十〇ノ八〇、一百二十〇ノ八一、一百二十〇ノ八二、一百二十〇ノ八三、一百二十〇ノ八四、一百二十〇ノ八五、一百二十〇ノ八六、一百二十〇ノ八七、一百二十〇ノ八八、一百二十〇ノ八九、一百二十〇ノ九〇、一百二十〇ノ九一、一百二十〇ノ九二、一百二十〇ノ九三、一百二十〇ノ九四、一百二十〇ノ九五、一百二十〇ノ九六、一百二十〇ノ九七、一百二十〇ノ九八、一百二十〇ノ九九、一百二十〇ノ一〇〇、一百二十〇ノ一〇一、一百二十〇ノ一〇二、一百二十〇ノ一〇三、一百二十〇ノ一〇四、一百二十〇ノ一〇五、一百二十〇ノ一〇六、一百二十〇ノ一〇七、一百二十〇ノ一〇八、一百二十〇ノ一〇九、一百二十〇ノ一一〇、一百二十〇ノ一一一、一百二十〇ノ一一二、一百二十〇ノ一一三、一百二十〇ノ一一四、一百二十〇ノ一一五、一百二十〇ノ一一六、一百二十〇ノ一一七、一百二十〇ノ一一八、一百二十〇ノ一一九、一百二十〇ノ一二〇、一百二十〇ノ一二一、一百二十〇ノ一二二、一百二十〇ノ一二三、一百二十〇ノ一二四、一百二十〇ノ一二五、一百二十〇ノ一二六、一百二十〇ノ一二七、一百二十〇ノ一二八、一百二十〇ノ一二九、一百二十〇ノ一三〇、一百二十〇ノ一三一、一百二十〇ノ一三二、一百二十〇ノ一三三、一百二十〇ノ一三四、一百二十〇ノ一三五、一百二十〇ノ一三六、一百二十〇ノ一三七、一百二十〇ノ一三八、一百二十〇ノ一三九、一百二十〇ノ一四〇、一百二十〇ノ一四一、一百二十〇ノ一四二、一百二十〇ノ一四三、一百二十〇ノ一四四、一百二十〇ノ一四五、一百二十〇ノ一四六、一百二十〇ノ一四七、一百二十〇ノ一四八、一百二十〇ノ一四九、一百二十〇ノ一五〇、一百二十〇ノ一五一、一百二十〇ノ一五二、一百二十〇ノ一五三、一百二十〇ノ一五四、一百二十〇ノ一五五、一百二十〇ノ一五六、一百二十〇ノ一五七、一百二十〇ノ一五八、一百二十〇ノ一五九、一百二十〇ノ一六〇、一百二十〇ノ一六一、一百二十〇ノ一六二、一百二十〇ノ一六三、一百二十〇ノ一六四、一百二十〇ノ一六五、一百二十〇ノ一六六、一百二十〇ノ一六七、一百二十〇ノ一六八、一百二十〇ノ一六九、一百二十〇ノ一七〇、一百二十〇ノ一七一、一百二十〇ノ一七二、一百二十〇ノ一七三、一百二十〇ノ一七四、一百二十〇ノ一七五、一百二十〇ノ一七六、一百二十〇ノ一七七、一百二十〇ノ一七八、一百二十〇ノ一七九、一百二十〇ノ一八〇、一百二十〇ノ一八一、一百二十〇ノ一八二、一百二十〇ノ一八三、一百二十〇ノ一八四、一百二十〇ノ一八五、一百二十〇ノ一八六、一百二十〇ノ一八七、一百二十〇ノ一八八、一百二十〇ノ一八九、一百二十〇ノ一九〇、一百二十〇ノ一九一、一百二十〇ノ一九二、一百二十〇ノ一九三、一百二十〇ノ一九四、一百二十〇ノ一九五、一百二十〇ノ一九六、一百二十〇ノ一九七、一百二十〇ノ一九八、一百二十〇ノ一九九、一百二十〇ノ二〇〇、一百二十〇ノ二〇一、一百二十〇ノ二〇二、一百二十〇ノ二〇三、一百二十〇ノ二〇四、一百二十〇ノ二〇五、一百二十〇ノ二〇六、一百二十〇ノ二〇七、一百二十〇ノ二〇八、一百二十〇ノ二〇九、一百二十〇ノ二一〇、一百二十〇ノ二一一、一百二十〇ノ二一二、一百二十〇ノ二一三、一百二十〇ノ二一四、一百二十〇ノ二一五、一百二十〇ノ二一六、一百二十〇ノ二一七、一百二十〇ノ二一八、一百二十〇ノ二一九、一百二十〇ノ二二〇、一百二十〇ノ二二一、一百二十〇ノ二二二、一百二十〇ノ二二三、一百二十〇ノ二二四、一百二十〇ノ二二五、一百二十〇ノ二二六、一百二十〇ノ二二七、一百二十〇ノ二二八、一百二十〇ノ二二九、一百二十〇ノ二三〇、一百二十〇ノ二三一、一百二十〇ノ二三二、一百二十〇ノ二三三、一百二十〇ノ二三四、一百二十〇ノ二三五、一百二十〇ノ二三六、一百二十〇ノ二三七、一百二十〇ノ二三八、一百二十〇ノ二三九、一百二十〇ノ二四〇、一百二十〇ノ二四一、一百二十〇ノ二四二、一百二十〇ノ二四三、一百二十〇ノ二四四、一百二十〇ノ二四五、一百二十〇ノ二四六、一百二十〇ノ二四七、一百二十〇ノ二四八、一百二十〇ノ二四九、一百二十〇ノ二五〇、一百二十〇ノ二五一、一百二十〇ノ二五二、一百二十〇ノ二五三、一百二十〇ノ二五四、一百二十〇ノ二五五、一百二十〇ノ二五六、一百二十〇ノ二五七、一百二十〇ノ二五八、一百二十〇ノ二五九、一百二十〇ノ二六〇、一百二十〇ノ二六一、一百二十〇ノ二六二、一百二十〇ノ二六三、一百二十〇ノ二六四、一百二十〇ノ二六五、一百二十〇ノ二六六、一百二十〇ノ二六七、一百二十〇ノ二六八、一百二十〇ノ二六九、一百二十〇ノ二七〇、一百二十〇ノ二七一、一百二十〇ノ二七二、一百二十〇ノ二七三、一百二十〇ノ二七四、一百二十〇ノ二七五、一百二十〇ノ二七六、一百二十〇ノ二七七、一百二十〇ノ二七八、一百二十〇ノ二七九、一百二十〇ノ二八〇、一百二十〇ノ二八一、一百二十〇ノ二八二、一百二十〇ノ二八三、一百二十〇ノ二八四、一百二十〇ノ二八五、一百二十〇ノ二八六、一百二十〇ノ二八七、一百二十〇ノ二八八、一百二十〇ノ二八九、一百二十〇ノ二九〇、一百二十〇ノ二九一、一百二十〇ノ二九二、一百二十〇ノ二九三、一百二十〇ノ二九四、一百二十〇ノ二九五、一百二十〇ノ二九六、一百二十〇ノ二九七、一百二十〇ノ二九八、一百二十〇ノ二九九、一百二十〇ノ三〇〇、一百二十〇ノ三〇一、一百二十〇ノ三〇二、一百二十〇ノ三〇三、一百二十〇ノ三〇四、一百二十〇ノ三〇五、一百二十〇ノ三〇六、一百二十〇ノ三〇七、一百二十〇ノ三〇八、一百二十〇ノ三〇九、一百二十〇ノ三一〇、一百二十〇ノ三一〇ノ一、一百二十〇ノ三一〇ノ二、一百二十〇ノ三一〇ノ三、一百二十〇ノ三一〇ノ四、一百二十〇ノ三一〇ノ五、一百二十〇ノ三一〇ノ六、一百二十〇ノ三一〇ノ七、一百二十〇ノ三一〇ノ八、一百二十〇ノ三一〇ノ九、一百二十〇ノ三一〇ノ一〇、一百二十〇ノ三一〇ノ一一、一百二十〇ノ三一〇ノ一二、一百二十〇ノ三一〇ノ一三、一百二十〇ノ三一〇ノ一四、一百二十〇ノ三一〇ノ一五、一百二十〇ノ三一〇ノ一六、一百二十〇ノ三一〇ノ一七、一百二十〇ノ三一〇ノ一八、一百二十〇ノ三一〇ノ一九、一百二十〇ノ三一〇ノ二〇、一百二十〇ノ三一〇ノ二一、一百二十〇ノ三一〇ノ二二、一百二十〇ノ三一〇ノ二三、一百二十〇ノ三一〇ノ二四、一百二十〇ノ三一〇ノ二五、一百二十〇ノ三一〇

川君ノ先刻ノ質問ノ如キ當然ノコトアルト思フ、臺灣ノ今日ノ狀態ハ其内容ハ幾多ノ世間ニ知レテ瓦ヲアリマス、是ハ朝鮮ニ於ケル手段ト同シヤウニ新聞ヲ總督府ノ手ノ内トナシ、少シク之ニ抵抗スル者ガアレバ、内地ニ退出セシムル、是マデモ種々難多ノ專制ノ政治ヲ行フタリナリマス、臺灣ノ施政ガ治績ヲ得タリト云ヒマスガ、其成績ヲ得タリト云フ他ニ幾何カノ政治上容セバカラザル逆政ノ行ハレタト云フコトモ亦事實デアリナリマス、之ヲ他ニ出スコトノ機關ガナク、之ヲ他ニ出スコトノモノナキタメ今日マデ臺灣ハ上々ノ首尾ヲ成績ヲ得タリト云フコトニナリ居ルノアリマス、斯ル狀態ノ下ニアルトコロノ臺灣デアリマスレバ、茲ニ今日ハ緊急トスルノ必要ナク、不斷ノ場合ニ於テモ豫メ定メラルベキコトコロノ法律若クハ命令ノ下ニ之ヲ行フテ少シモ臺灣ノ治安ニ缺クルコトナシト云言シ得マスルノアリマス、私ハ更ニ憲法上ノ疑義トシテ一言此場合ニ言ハネバナラヌコトガアリマス（「簡單ニヤレ」ト呼ブ者アリ）臺灣ノ法律ヲ以テ憲法上ノ疑義ナリトシタコトハ殆ド之ニ對シテ反對スベキコトハナリナリマス、我憲法ノ委任立法ハ何レノ場合ニ於テ認ムベキコト云フコトニ付テハ、何人モ之ニ對シテ確實ナル議論ヲ爲スモノハナリナリマス、朝鮮ノ委任命令ニ付テ諸博士ノ議論モデス、主トシテ臺灣ニ於ケル委任立法ヲ認メタリト云フコトヲ以テ議會ノ先例ナルガ如ク、之ニ依ッテ朝鮮ニ於ケル委任立法ヲ認メラレタト云フコトハ事實デアリマス、私共是ニ至ッテ已ニ云フコトハ言ハナラヌハ先刻モ申シタ如ク我議會ノ憲法ヲ委任立法ノ上ニ讀マレタト云フコトハ言ハナラヌハ政府乃至政府ノ同意スル人ガ政略ノニ之ヲ讀ミタリト云フ以テ之ニ答フヨリ外ナリナリマス、或法律ノ或部分ニ於テ命令ニ委任スル、是ヲ以テ委任モヤハリ一ノ委任立法ナリト云フ議論ヲスル人ガアルノデアリマス、併シ法律ガ命令ニ委任スル場合ニ於テハ法律タル其本體ヲ傷ケザル場合ニ於テ之ヲ委任シツツアルノデアリマス、命令其物ガ直ニ法律其物ヲ變換シ法律其物ヲ改廢スルト云フコトハ出來ナイノデアリマス、命令ノ分限、法律ノ分限ハ自ラ劃然トシテ此間ニ境界ヲ保ツ居ルノデアリマス、法律ノ或部分ヲシテ命令ニ委任シタルヲ以テ之ヲ以テ委任立法ノ第一歩ナリト云フコトハ殆ド解スベカラザルコトアルト云フコトヲ言ハネバナラヌデアリマス、私ハ是ニ於テ諸君ノ記憶ヲ喚返スベキ一ノ事柄ガアルノデアリマス、曾テ帝國議會ノ初メテ開カレタル時分ニ如何ナルコトガ此議會ノ問題デアッタカト申シマス、所謂法律八十四號ナルモノヲ廢止セント云フコトガ、最モ鞏固ナル代議士諸君ノ口ヨリ出タノデアリマス、法律八十四號ナルモノハ命令ニ罰則ヲ附スルト云フ即チ一ノ供託法案デアリマス、議會ガ如何ニシテ此八十四號ヲ廢サントナシタルノデアリカト云ヘバ、苟モ人ヲ處罰スルコトハ法律ニアラザレバ之ヲナスコトヲ得ナイノデアリガ、議會ノ權能タル此法律制定權ヲ命令ニ委任スルト云フコトハ議會ノ權能ヲ縮小スルノデアデ、且危險アルト云フコトヲ言ハレタノデアリマス、殆ド當時ニ於テハ帝國議會ノ一院ノ議トシテ疑問ナキモノナリマスガ、遂ニ是ガ帝國議會ノ總テヲシテ同意セシムルコト能ハザルガタメニ、今日マデ八十四號ナルモノハ存シテ居ルノデアリマス、警察官ガ或處罰ヲナシ警察官ニ或刑罰ヲ委任スルニ於テ、種々ナル弊害ノ起ツテ居ルノモ主トシテ此八十四號ナルモノノ生存スルガタメニ今日此ノ如キ弊害ヲ受ケ、國民ガ其上ニ付テ大ナル不便ヲ感ジ、アルノデアリマス、命令ニ罰則ヲ附スルスラ之ヲ以テ是ナリトセザリシ帝國議會ガ、憲法ノ條規ニ衝突シテマデモ立法ヲ委任セバナラヌト云フコトハ私共帝國議會ニ出席シテ以來、殆ド夢ニダモ見ザル狀態ヲ今日現在ニ目見ルノデアリマス、諸君憲法ハ能ク成長スルト云フコトハ泰西ノ文明國ノ上ニ於テ屢々私共其歴史ノ上ニ於テ感ズルコトデアリマス、我國ノ憲法ハ如何、政府ノ政略ノタメニ所謂官僚萬能ノタメニ殆ド憲法ハ年々縮小サレタト云フ運命ヲ持ツテ居ルコトハ頗ル悲ムベキコト

トデゴザイマセヌカ、帝國ノ版圖ハ先ヅ臺灣ニ伸ビ、朝鮮ニ伸ビ、樺太ニ伸ビ、而シテ之ヲシテ我領土ニ歸スルニ拘ラズ帝國憲法ナルモノハ其實質ニ於テ是等ノ領土ノ上ニ於テ其力ヲ伸バスコトガ出來ナイト云フコトハ、即チ如何ナルモノデアルカ、能ク此場合ニ於テ我帝國ノ憲法ハ成長スト云フコトヲ言ヒ得ルノデアルヤ否ヤ、甚ダ私ハ是ハ迷ハザルヲ表示スルノデアリマス

○議長（長谷場純孝君） 中村啓次郎君

（中村啓次郎君登壇）

（拍手起ル）

○中村啓次郎君 諸君、此法律案ニ對シマス贊否ノ議論ハ明治二十九年以來當議會ニ於キマデモ幾數回トナク繰返サレタコトアルマシテ、又院外ニ於キマシテモ學者政客ノ間ニ幾數回トナク縱論橫議セラレタコトアルマシテ、議論ノ歸著點ト云フモノハ極メテ分明ニナリ居ルノデアリマス、故ニ此場合ニ於キマシテ既往ノ議論ヲ追リマシテ論評致スト云フヤウナコトヲ避ケテ、直ニ原案ニ贊成スルノ意見ヲ表明シ、唯今高木君ガ喋々セラレマシタ點ニ對シマシテ、極メテ簡單ニ反對論者ノ御參考ニナルヤウナコトヲ是マデ人ノ論ヲ居ナイ點ヲ捉ヘマシテ、一言シタイト思フノデアリマス、反對論者ハ憲法發布ノ當時即チ日本帝國ガ未ダ新領土ヲ有シナイ當時、又幾多ノ憲法上ノ慣例ト云フモノヲ有シナイ當時、此ノ如キキニ於ケル憲法表面ノ解釋ヲ執リマシテ、本案反對ノ議論ヲ主張致シテ居ルノデアル、實ニ反對論者ノ立場ト云フモノハ我帝國憲法ニ於ケル立法方法ハ憲法第八條ノ場合ヲ除キマシタ、總テノ場合ニ於テ帝國議會ハ之ヲ協贊スベキモノデアル、即チ帝國議會ニ於テ立法スルヨリ外、憲法第八條ノ場合ヲ除キテハ、他ニ委任セシメテ立法スル方法ト云フモノハ帝國憲法ノ上ニ見得ラレナイノデアル、此一言ニ歸スルノデアリマス、即チ反對論者ハ憲法ノ常道論ノ上ニ立ッテ、憲法第八條ノ場合ヲ除ク外、帝國議會ニ於テ立法スルヨリ外、他ニ立法ノ方法ナシ、故ニ臺灣總督ニ委任立法セシムルト云フガ如キコトハ憲法上常道ニ反シテ居ルト云フ此憲法ノ常道論ヨリ立論致シテ居ルノデアル、サラバ本員ハ反對論者ノ最モ好ム憲法ノ常道論ヨリ致シテ反對論者ニ一矢ヲ酬ヒテ見タイト思フノデアリマス、諸君、本員ハ憲法政治ノ本義、憲法政治ノ常道ト云フモノハ帝國議會ニ各地ヨリ代議士ヲ出シテ而シテ其代議士ニ依ッテ帝國議會ヲ構成シ、ソレニ依ッテ構成セラレタル帝國議會ニ於テ帝國ニ於ケル各般ノ法律ヲ立テルノデアル、四國ノ端カラモ代議士ヲ出シ、壹岐、對馬、佐渡島カラモ代議士ヲ出シ、六雄將軍ガ鯁ヲ擣フテ石狩川ノ涯カラモ代議士ヲ出シ、此ノ如ク帝國ノ如何ナル端カラモ代議士ヲ出シマシテ、其出シタル代議士ニ依ッテ帝國議會ヲ組立テ其議會ニ於テ帝國ノ端々ニ至ルマデモ對スル其法律ヲ其議會ニ於テ立テラト云フコトガ、即チ憲法ノ常道デアラ憲法政治ノ本義デアル、憲法政治ノ常道デアリナリマス、帝國議會ト云フモノハ此「ペンキ」塗「建築」物ヲ云フノデアリ、帝國各地カラ選見セラレタル代議士ヲ以テ組立テ、而シテ帝國ノ諸法律ヲ立法シ、豫算ヲ論議ルガ、即チ帝國議會デアリナリ（佐々木安五郎君「釋迦ニ説法ハ要ラヌモノナリト呼フ」以上ノ如ク論ヲ來ツテ、而シテ佐々木照山君ガ釋迦ニ説法ナリト云フニ至ッテハ極メテ本員其勢ヲ省クヲ光榮トスルノデアル、既ニ此ノ如キ次第デアレバ今ノ臺灣ハ即チ如何、臺灣ハ憲法ノ行ハレテ居ルト雖モ、未ダ臺灣ニハ憲法政治ノ精髓タル憲法政治ノ真髓タル選舉法ハ行ハレテ居ラヌデアリ（佐々木安五郎君「言フニヤ及ブ」ト呼ビ笑聲起ル）故ニ今突然本法ヲ可決シ去ツタナラバ、臺灣地方ヲ代表スベキ議員ヲ有セザル此帝國議會ハ臺灣ノ知識ヲ缺キ、臺灣ノ利害休戚ニ對シテ比較的冷淡デアルベキ

テアル、必シモ諸君ハ冷淡ナリ諸君ハ臺灣ノ知識ヲ缺キタリトハ云ハヌ、組織ノ上ニ於テ臺灣ノ知識ヲ缺キ、臺灣ニ多少冷淡ナルベキト云フ推定ヲ下シ得ベキ此議會ニ於テ、臺灣ノ立法協賛ヲ致スト云フコトハ臺灣ノ留民タル拙者ノ如キ者ヨリシテ之ヲ見レバ、其危險ナルコト今日ヨリハ過ニ危險ナリト云ザルヲ得ナリノデアアル。敢テ問フ、反對論者ハ選舉法施行ヲ以テ憲法政治ノ精髓トハ思ハナイカ、マサカサウハ思フマイト思フ、サレバ反對論者ハ何ガ故ニ本法ヲ否決スル前ニ於テ選舉法ヲ臺灣ニ行フベキコトヲ主張シ、其成功ヲ待テ之ヲ本法ヲ否決ノ到著條件ト爲サントセヌノデアアルカ、想フニ當ニ反對論者ハ今ノ臺灣ハ尙今後數年ノ間ハ選舉法ヲ施行スル能ハザル事情アリト認メテ居ルノデハナ

イカ(勿論)ト呼フ者アリ選舉法ヲ施行スル能ハザル事情アリト認メテ居ルノデハナ、此事情即チ選舉法ヲ行フ能ハザル事情ガ本法ヲ繼續セザルベカラザル事情デアアル、夫然リ憲法政治ノ常道ニ復ス(佐々木安五郎君 豈夫然ランヤ)ト呼ビ笑聲起ル)以上ノ事情アルニ依リ、今日ニ於テハ比較的彼ノ地人民ノ利害休戚ヲ知悉シ得ベキ彼地ニ簡拔セラレタル行政長官即チ臺灣總督ヲシテ帝國議會ノ委任ニ依リテ立法セシムルト云フコトハ、此場合ニ於ケル最良ノ方法ト認メナケレバナラヌト思フノデアリマス、諸君

憲法ヲ有シ植民地ヲ有シテ居ル列國ガ、其母國以外ノ新領土ニ對シテ行フベキ立法ハ其地ノ總督ニ委任スルヲ通則トシテ居ルノデアアル、稀ニハ例外ガアッテモ此本國以外ノ新領土ノ立法方法ヲ其土ノ總督ニ委任スルヲ通則トシテ居ルノデアアル、通則トシテ居ル

云フコトハ諸君ノ既ニ知悉スルコトデアアル、又我内國ニ於ケル委任立法ノコトハ先程高木君ガ少シ申サレシタガ、明治二十三年法律第八十四號以來幾數十回トナク、其發行施行ヲ見テ居ルノデアアル、殆ト是ガ憲法政治ノ常道トナッテ居ルノデアリマス、又新領土タル臺灣ニ對シテハ領土以來今日マデ委任立法方法ニ依ルト云フコトハ常例トナッテ來テ居ルノデアアル、近クハ又朝鮮ニ對シテモ此常例ヲ踏襲シテ居ルノデアリマス、諸君反對論者ノ所論ハ憲法政治ノ本義、憲法ノ常道論ヨリシテモ甚ダ不完全デアッテ探ルニ足ラヌト云フコトハ明瞭デアラウト思ヒマス、若夫實際的政治論ヨリ見マシタナラバ、固

ヨリ反對論者ノ言フガ如キコトハ學究机上ノ空論ニ過ギヌト思フノデアリマス、之ヲ以テ原案ヲ贊成シ、反對論者ノ議論ヲ駁シ得タリト信ズルガ故ニ、壇ヲ降りマス(拍手起ル)

○菅原傳君 討論終結ノ動議ヲ提出致シマス

(贊成々々)ト呼フ者アリ

○議長(長谷場純孝君) 別ニ御異議ガナケレバ討論ハ是ニテ終結ト致シマス

(異議ナシ)ト呼フ者アリ

○中川虎之助君 議長 議長

(討論ハ終結シタ)ト呼フ者アリ

○議長(長谷場純孝君) 採決致シマス——高木正年君ノ反對説ガアリマスカラ採決致シマス、日程第四、明治三十九年法律第三十一號中改正法律案ノ二讀會ヲ開ク

ト云フ方ニ同意ノ諸君ハ起立

起立者 多數

○議長(長谷場純孝君) 多數、二讀會ヲ開クコトニ致シマス

○菅原傳君 直ニ二讀會ヲ開ケルコトヲ希望致シマス

○議長(長谷場純孝君) 直ニ二讀會ヲ開キマス

(贊成々々)ト呼フ者アリ

○議長(長谷場純孝君) 直ニ二讀會ヲ開クコトニ御異議ハアリマセヌカ

(異議ナシ)ト呼フ者アリ

○議長(長谷場純孝君) 御異議ハナシト認メマスカラ直ニ二讀會ヲ開キ、議案全部ヲ議題ニ供シマス

明治三十九年法律第三十一號中改正法律案 第二讀會

○議長(長谷場純孝君) 御異議ナシト認メマスカラ委員長ノ報告通り決定致シマス

(異議ナシ)ト呼フ者アリ

○菅原傳君 直ニ二讀會ヲ開キ、二讀會決定通り確定セラレンコトヲ望ミマス

(贊成)ト呼フ者アリ

○議長(長谷場純孝君) 直ニ二讀會ヲ開クコトニ御異議ハアリマセヌカ

(異議ナシ)ト呼フ者アリ

○議長(長谷場純孝君) 御異議ガナシト認メマスカラ、直ニ二讀會ヲ開キ、議案全部ヲ議題ニ供シマス

明治三十九年法律第三十一號中改正法律案 第三讀會

(異議ナシ)ト呼フ者アリ

○議長(長谷場純孝君) 御異議ガナシト認メマスカラ、本案ハ二讀會ニ於テ決定ノ通り是ニテ確定致シマス、日程第五、執達吏手数料規則中改正法律案ノ第一讀會ノ續、委員長古賀庸藏君

第五 府提出 執達吏手数料規則中改正法律案(政 第一讀會ノ續(委員長古賀庸藏君登壇))

○古賀庸藏君 唯今議題ニナリマシタ執達吏手数料改正法律案ガゴザイマスガ、此委員會ノ經過及結果ヲ報道致シマス、此案ハ趣意ニ於キマシテハ手数料金額ノ上

ルニ止ッテ居リマスケレドモ、簡條ガ數多ニ互ッテ一々此簡條ヲ紹介スルノハ却テ煩雜デアリマスカラ即チ此委員會ノ修正致シマシタ點ハ此報告書ニ依ッテ御承知下サルヤウニ致シタイ、而シテ此改正ノ要旨ハ曩キニ提出ノ際政府委員ヨリ述ベラレタ如ク、此規則

ノ發布以來既ニ二十年以上モ經過シ諸物價ノ騰貴若クハ官吏ハ増俸ガアリ、是ト相對スルヤウナ公證人ノ規則ハ改正サレテ手数料モ増加シテ居ル、然レニ執達吏ノ其儘デア

アルノハ甚ダ當ラ得ナイト云フガ提出ノ趣意デアアル、所ガ此案ヲ見レバ少シク増加ノ度ガ増シテアルト云フ感シガアル、因ッテ委員會ニ於キマシテハ大體ニ於テ増加額ノ約二割

位ノ増加ニナッテ居ルトコロラ之ヲ減シテ約二割位ノ増加トシ、又政府當局ニ希望トシテ述ベマシタノハ近來東京アタリニ於テハ、執達吏ガ事務所ヲ合同シ、専ラ代理人ヲ用

井ルコトニナッテ居リ、其日午前十時後ニ於テ囑託セントスルモ、既ニ代理人ガ出切ッテ居テ其日ハ行ハレヌト云フヤウナコトガアリ、又執達吏ハ免角事務ノ取扱ニ於テ不親

切ナ點ガ多シ、此點ニ於テハ獨リ債務者ノ迷惑ノミナラズ、債權者モ均シク迷惑ノ次第デアアル故ニ、此ノ如キコトハ政府ニ於テ十分ナル訓戒ヲ與ヘ、是ガ矯正サレンコトヲ望ム、

而シテ此數多ノ修正即チ金額ノ修正ヲ致シタ次第デアアル、所ガ政府ニ於テハ此金額ノ修正ハ何レモ同意ヲシ、又希望トシテ述ベタ點ハ相當ナル時期ニ於テ訓令ヲ發シ、吾

々希望致ストコロニ必ズ副フノ行動ヲ取ル、斯ウ云フ言明ガアリマシタ、是ニ於テ委員會ハ滿場一致ヲ以テ修正案ヲ可決シタ次第デアリマス、右ノ御報告ヲ致マス

○高木益太郎君 政府ニ說明ヲ求メタイコトガアリマス

○議長(長谷場純孝君) 高木益太郎君

〔高木益太郎君登壇〕

○高木益太郎君 本員ハ執達吏手数料規則改正法律案ニ付テ政府二十分ナル説明ヲ求メタリノアリマス、本案ハ最モ社會政策ノ上ニ於テ諸君ノ御注意ヲ煩ハシタイノデアル、困窮シタルコロノ債務者、執達吏ニ差押ヲ喰フトコロノ債務者、其債務者ニ向ッテ三割若ハ四割ノ負擔ヲ増サントスル案アリマス、時節柄最モ各位ノ慎重ナル御審議ヲ煩シタイ案アリマス、此案ニ付テ政府第二ニ説明ヲ求メタリノハ政府ハ此執達吏規則ノ根本法ト云フモノヲ改正シナイデ、唯今委員長カラ御報告ガアリマシタ如ク、執達吏ニ對シ合同役場主義ヲ採ルノデアルカ、或ハ分割主義ヲ採ルノデアルカ、此問題ト云フモノヲ解決シナイデ、其枝葉ニ屬スルコロノ手数料規則ノ改正ヲ圖ルト云フノハ何故デアルカ、又今日ハ書類ノ送達ト云フモノハ通信機關ガ發達シテ大審院ノ刑事部カラ被告人ニ向ッテ喚出狀ヲ發スルニハ一錢五厘ノ端書足リテ居ルノデアル、然レニ本案ノ如キハ從來ノ書類送達ノ手数料更ニ四割増サウト云フ政府案デアル、通信機關ハ發達シテ益々此書類送達ノ手数料更ニ四割増サウト云フ政府案デアル、通信機關ハ拘ハラス、之ガ費用ヲ増スト云フノハドウ云フ譯合デアルカ、今日ノ實際ノ有様カラ申シマス、東京ニ於テハ裁判所カラ書類ヲ出シテ其書類ヲ執達吏役場マデノ里程ヲ勘定シ、執達吏役場カラ送達スベキ人ノ宅マデノ里程ヲ勘定シテ一里未滿ノモノデモ、一里トシテ手数料ノ外ニ澤山ノ旅費ヲ取ル、斯ウ云フコトニナッテ居ルノデアリマス、ナゼ今日斯様ナ増稅案ノヤウナモノヲ出サレタノデアラウカ、殊ニ會期切迫ノ際デアル、極メテ時間ノ無イ所ヘ持ッテ來テ、若シ此案ガ通過スレバ、少クモ本員ノ考フルコロニ依レバ年々二十萬圓カラ増稅トナル、此ノ如キ増稅ヲ政府ハドウ云フ根據ガアッテ此際ニ之ヲ斷行シヤウト云フ考ヲ起サレタノデアラウカ、ソレカラモウ一ツ政府ニ質シテ置キタイノハ執達吏ノ手数料ヲ増スト云フコトニ付テハ現在ノ執達吏ノ收入ト云フモノハ今ヨリ二十年前行執達吏規則ヲ拵ヘタキト比較シテ果シテ減シテ居ルカ、増シテ居ルカ、此點ニ關スル表ヲ諸君ノ御手許ニ配付セラレナケレバ果シテ増稅スル必要ガアルカナイカト云フコトガ分ラヌ次第デアル、本員ノ調査スルコロニ依レバ明治三十八年ノ執達吏ノ收入ト、四十二年ノ執達吏ノ收入トヲ比較スレバ件數ニ於テハ減シテ居ル、件數ニ於テ減シテ居ル收入ニ於テハ増シテ居ル、然レニ政府ハ此委員會ノ筆記ニ依ッテ諸君モ御承知デアリマセウケレドモ、四十二年ニ於ケル全國執達吏ノ收入ハドウ云フ具合カト云フコトヲ委員ノ一人カラ質問スルト第二回ノ委員會ニ於テ東京ニ於テ手取り五十七圓デアルト云フコトヲ言ウテ居ル、代理者ノ報酬、家賃、諸雜費ヲ引イテ、サウシテ其純收入ト云フモノハ五十七圓デアルト云フコトヲ政府ガ答辯シテ居リマス、ソレハ本年ノ一月ノ計算デアルト云フコトヲ言ウテ居ル、然レニ是ハ全ク議院ヲ胡麻化スノデアデ、正月ノ元日ニマサカ差押ヲスル人間ハナイノデスカラ、一年ノ初メト云フモノハ裁判所ハ休暇デアルカラ、殆ド一箇月ノ中デ半分ハ休シテ居ル、其休シテ居ルコロノ計算ガテラ唯掲ゲテヤッテ、其前年ノ四十二年度ノ十一月、十二月ト云フ執達吏ノ最モ忙シイトキノ計算ハ一向出サナイ——出サナイカラ第三回ノ委員會デ之ヲ請求スル、其答辯ニ依ルト倍額以上ノ收入ニナッテ居ル、ソウ云フ次第デアリマシタ少クモ本案ノ審議スルニハ政府ノ方カラ最モ近イ四十二年度ノ全國執達吏ノ收入ハドウ位アルカトヤカマシク問フタトコロガ、是ハ委員會ニ於テ討論ノ際漸ク東京デケル云フコトヲ提出シタゲデアル、全國ノ執達吏ノ收入ハ四十二年度ニ於テ幾ノ位アルカト云フコトヲ統計ハ出サレナイノデアリス、今日ハ昨年ニ於テハドウ位アルカ、横濱ニ於テハ幾ノ位アルカ、大阪ニ於テハ幾ノ位アルカ、分ラヌ居ラヌ儘デ本議ニ付セラレテ居ル次第デアルカラ、此點ニ於テ政

府ハドウ位ノ收入ガアルカト云フコトヲ答辯シテ貰ヒタイ、ソレカラ此旅費ノ點ニ付キマシテモデス均一主義ヲ採ッタノハドウ云フ次第デアルカ、全國均一主義ヲ採ッタケレドモ、東京ノヤウナ電車ノ便利ノアル處ト、ソレカラ又極ク偏僻ナ場所デ山ノ中ヘ往キ往來ニ困難ナ場所ト同一ナル均一主義ヲ採ッタノハドウ云フ次第デアルカ、此點モ政府ニ於テ十分辯明ヲシテ貰ヒタイ、即チ同ジク書類ヲ送達スル場合ニ於テモ同日ニ同ジク場所ニ同ジク人ニ一通以上ノ送達スル場合ニ各通トモ手数料ト旅費ヲ取ル、是ハドウ云フ譯合サウ云フコトヲスルノカ、一人ノ人間ガ同時ニ同一ノ場所ニ同一ノ人ニ送達スル場合ニ於テ喚出狀ガ二通以上アルト、一通毎ニ手数料ト旅費ヲ取ルト云フノハドウ云フ譯カ、今日ハ電車ニ乘リ往復切符ヲ買フト通行稅一錢ケレバ達フノデアル、又乗換切符ヲ渡ス次第デアル、然レニ執達吏ニ付テハヤハリ二十年前行執達吏規則ニ依ッテ各自ニ手数料旅費ヲ取ルト云フノハドウ云フ譯デアルカ、其點ニ於テ政府ハヤハリ此主義ヲ宜イト認メテ居ルカドウデアルカ、ソレカラ若シ執達吏ガ無イ場合ニ於テハ裁判所ノ書記ガ執達吏ノ代理ヲスルコトニナル、サウスルト書類ハドウ位ノ月給ヲ取ッテ居ルカト云フコトニ先ツ二十圓カ二十圓位ガ多イノデアル、本來ノ職務ヲ行フ場合ニハ二十圓カ二十圓位ガ取レル、執達吏ノ代理ヲスル場合ニハ二百圓ニ對スル十分ノ七ガ取レル、斯ウ云フコトハ均衡ヲ得ル次第デアルカドウデアルカ、此點ニ於テモ私ハ政府ノ十分ナル説明ヲ求メタイ、ソレカラ記録ヲ一覽スルコトニ付テハ執達吏ハ横暴ナル行爲ガ多イノデアル、差押記録ト云フモノヲ例ヘバ午後一時ニ執行行爲ニ著手シタト云フコトニハ一時ノ一ノ字ヲ除イテ役場ニ歸ッテ來テ、之ヲ十二時ニ始メタヤウナ具合ニ後ニ記入スルト云フヤウナ弊風ガアル、ソコデ手数料ヲ計算スルヤウナ具合ニナッテ居ルガ是ハ利害關係人ガ其書類ヲ極ク易ク見ラレル方法ガアルカラシテ、監督ガ付クノデアル、ケレドモ政府ノ提案ニ依ルト今度ハチヨット書類ヲ見ルノデモ十五錢ノ手数料ヲ取ルト云フノデアル、是ハ執達吏ノ行爲ヲ利害關係人ガ監督スル上ニ於テ甚ダ不便ノ感ヲ持ツドウ云フ譯カ、サウ云フコトヲ爲サルノデアルカ、今裁判所デ以テ東京控訴院ニ於テモ、大阪控訴院ニ於テモ、名古屋控訴院ニ於テモ、全國ノ各控訴院デ訴訟關係人ガ書類ヲ見タイト云フコトニハ金ハ取ラヌデアリス、裁判所デ訴訟關係人ガ書類ヲ見タイト云フコトニハ金ハ取ラヌデアリス、執行行爲ハ分ノ差押ヘラレタ書類ヲドウ云フ具合ニナッテ居ルカ見タイト云フ時分ニ金ヲ取ルノハドウ云フ譯デアルカ、是ハ一貫シナイ次第デアル、甚ダ分ラヌ次第デアリマス、ソレカラ拒絕證書ナドヲ作製スル場合ニ公證人トノ權衡ガアルト云フ委員長ノ御報告モゴザイマシタガ、公證人ト執達吏ト云フモノヲハ政府ガ同一ニ見テ居ルノデアルカ、ドウデアルカ、從來實際ガ事實カラ見マシテモ公證人ハ大審院ノ判事トカ控訴院ノ判事トカ老朽ニナッテ職務ガ執レヌカラト云フノデ、公證人ニ任命セラレルノガ多クハ先ツ委任以上ノ人デアル、或ハ勅任官モアル、所ガ執達吏ニナルト判事檢事ガ執達吏ニナッタモノハ全國ニ一人モアリハシナイ、是ハ往々判任ノ書記デ少シ老朽ニナッタヤウナ人ガ激シイ事務ガ執レヌカラト云フノデ執達吏ニナルト云フノガ多イノデアル、學識、經驗、地位ノ高イトコロノ公證人ハ多ク判任官カラ轉ズル執達吏ト同一ナル報酬、同一ナル手数料ヲ拂フコトガ果シテ權衡ヲ得テ居ルカ次第デアルカドウデアラウカ、又公證人ハ自分ノ方カラ働キ掛ケテ行ク譯ニイデアリマシタ、東京區裁判所ニ於テハ居ラナケレバナラヌデアリス、執達吏ノ方ハ合同デアリマシタ、東京區裁判所ノ管内デアレバ東京區裁判所ノ合同役場ヘ行キ頼マナケレバナラヌコトニナッテ居ル一方ハ又公證人ノ方ハ代人ヲ使フコトガ出來

〔政府委員法學博士齋藤十一郎登壇〕

リマス、全ク高木君ノ御推察ヲヤウナ意思ヲ出シマシタノデハ毛頭ゴザイマセヌ、ソレ故ニ早速昨年ノ十一月分、十二月分ノ表ヲ御同致シタノデアリマス(高木益太郎君「倍額」ヲテ「居マス」ト呼フ)倍額ト云フコトデゴザイマスガ、十二月ノ多イコトハ無論デアリマス、而シテ是モ委員會ニ於テ詳シク申述ベマシタガ、四十二年一箇年ノ平均ハ純益ガ六十圓以上デアリマス、ソレカラ四十二年ノ全國ノ執達吏手數料ノ表ハ政府ニ於テ出サナイト云フノデゴザイマスガ、四十三年度分ハ全國ヲ通ジマシテハマダ表ガ出來テ居リマセヌ、是ハ誠ニ残念デスケレドモ提出ハ出來兼ネマシタノデアリマス、ソレカラ第四ノ御尋ハ何故ニ旅費ニ付テ均一主義ヲ執ツタカト云フ御尋デアリマスガ、是モ御承知ノ通りニ訴訟費用法ニ於キマシテモ、公證人手數料法ニ於キマシテモ、總テ均一主義ヲ執ツテ居ルノデアリマス、獨リ此執達吏ノミニ付テ地方ニ依ッテ其標準ヲ異ニスルト云フコトハ、從來ノ立法例ニ副ハナイイミナラズ、又其標準ヲ立テマスルコトモ、今日ノ場合非常ニ困難デアリマス、——左様委員會ニ於テモ御主張ニナリマシタケレドモ、政府ノ見ルトコロハアナタノ解釋ト違フテ居リマス、ソレカラ一ツノ行爲ヲスルバカリデナク、數個ノ行爲ヲ同時ニシテ同一ノ場所デ執行ヲシテ、個々ニ付テ旅費ヲ取ル、是ハ不都合デハナイカト云フ御非難デアリマスガ、是モ唯今申上ゲル訴訟費用ニ付キマシテモ、公證人ノ方ニ付キマシテモ、總テ此通りデアリマス、サウシテ又之ヲ分割致シマスレバ却テ其計算關係ガ複雑シテ參テ實行上甚ダ困難ヲ來スノデアリマス、ソレカラ第五ノ御尋デアリマスガ、此手數料規則ガ改マリマス、裁判所ノ書記モ恩惠ニ與ルト云フガ如キ御質問ノヤウニ伺ヒマシタガ、裁判所書記ガ執達吏ノ事務ヲ取扱ツテ居リマスノハ、全國中唯樺太ダケデアリマス、樺太ニ於キマシテモ書記ノ定員ガ誠ニ少ナウゴザイマスカラ、自ラ其書類ヲ持ッテ送達ニ出掛ケルト云フコトハ無イノデアリマス、大概郵便送達ヲ致シテ居ルノデアリマス、ソレ故ニ此規則ガ出來マシタコロデ、裁判所書記ガ恩惠ヲ被ル場所ハ事實ニ於テハアルマイ、唯樺太ニ於テ執行ノ場合ダケデアラウト存ジマス、ソレカラ第六ノ御尋ハ書類閱覽ノ手數料ニ付テ御尋デアリマスガ、是ハ修正案ニ付キマシテ既濟ノ書類ニ限ルト云フコトニ改マリマシタカラ、御心配ノ如キ事實ハナカラウト存ジマス、ソレカラ第七ノ御尋ハ公證人ト執達吏ト間ハ拒絕證作成ニ付テノ手數料ノ額ヲ一ツニシタノハドウ云フ理由デアルカ、是ハ能ク御覽下サイマスト一ツニナツテ居リマセヌ、作成ノ手數料ハ兩方とも五十錢デゴザイマスガ、公證人ノ方ハ一時間五十錢ヲ増シ、執達吏ハ一時間二十錢シカ増サナイコトニナツテ居リマス、ドウゾ能ク御覽ヲ願ヒタイ、ソレカラ最後ノ御尋デアリマスガ執達吏ニミ手數料ヲ増シテ、最も人員ノ多イ雇廷丁ニハ何故ニ増俸セヌカト云フ御尋デアリマス、是ハ高木君ガ豫算委員會ニ於テモ此委員會ニ於テモ屢々繰返サル、御質問デアッテ、其度毎ニ政府ハ十分答ヘデアリマスノデ、是ハ特ニ此所デ御答ヲ致ス必要ハナカラウト存ジマス

○高木益太郎君 尙説明ヲ求メタイコトガアリマス、現在政府カラ執達吏ニ旅費ヲ拂フトキニハ……(「ヨセ」ト呼フ者アリ)誰ガヨセト云フノダ——政府カラ旅費ヲ拂フ場合ニ於テハ數件喚出狀ヲ送達スル場合ニ道ガ一ツデアレバ、一回分拂フノミデアル、然ルニ人民ノ方カラ拂フ場合ニ於テハ二件アレバ三件ニ向ツテ旅費ヲ徴セラル、ハドウ云フ譯デス、ソレカラモウ一ツハ郵便送達ノ點ニ付テ、何モ答辯ガナカツタ、何故郵便送達ヲヤラヌ、端書デヤレバ一錢五厘、速達郵便デヤツデモ六錢デ濟ム、然ルニ執達吏ノ送達ニ依ルト、チヨット澁合位ダト一圓五十錢位取ル、ドウ云フ譯デ政府ハ必ズ郵便送達ニスルト云フ方法ヲ採ラヌノデアルカ、此點ニ付テ司法省ノ意見ヲ聽キタイ

(政府委員法學博士齋藤十一郎君登壇)

○政府委員(法學博士齋藤十一郎君) 郵便速達ト云フ仰セデアリマスルガ、ソレハ

裁判所が郵便ニ付スルヲ相當ト認メタモノハ、郵便ニ付シテ居リマス、ツレカラ執達吏本人ヲシテ送達セシムルコトヲ相當ト認メタモノハ執達吏ニ依ツテ送達致シテ居リマス、ツレカラ裁判所が給スル旅費ハドウ云フコトデゴザイマスカ

○高木益太郎君　旅費ヲ裁判所カラ拂フ場合ニハ、執達吏一人ニ對シテ一日一回シカ旅費ヲ渡サス、然ルニ人民カラ取ル場合ニハ各件毎ニ取ルト云フノハドウ云フ譯デア

ルカ

○政府委員(法學博士齋藤十一郎君)　ツレハ裁判所カ一事件ヲ執達吏ニ命ジマシ
タ場合デアリマセヌカ、然ラザレバ……
高木益太郎君　御承知ナイノデスカ

○政府委員（法學博士齋藤十一郎君）能ク知ツトリマス、裁判所が數件ヲ命ジマシタ場合ニハ、ヤハリ數件ニ就テ旅費ヲ給シテ居リマス

○高木益太郎君　ワシナコトハアリマセヌ
○菅原傳君　本案ハ直ニ三讀會ヲ開キ、三讀會ヲ省略シテ委員長報告通リ決定セ

○高木益太郎君 緊急動議アリマス、本案ハ最モ貧乏ナル人間ニ伺ッテノ増稅案デアルカラ、果シテ増稅ノ必要ガアル案デアルカ百カラ審査スルニハ、少クトモ四十三年度

ニ於ケル執達吏ノ收入統計表ト云フモノハ政府カラ提出ガナケレバ、唯闇雲ニトシテ此案ヲ通スト云フコトハ出来ナイ、審査ヲスルダケノ材料ヲ供シ、果シテ増税ノ必要ガア

ルマデハ本案ハ可否ヲ決定スルコトハ出来ナイノデアルカラ、之ヲ延期スルト云フ勸議ヲ提出致シマス

〔賛成々々〕ト呼フ者アリ
○菅原傳君 唯今高木君ヨリ延期ノ御意見ガアリマシタ、調査ノ不十分トシテ――併

○議長（長谷場純孝君） 緊急動議ニ賛成ガアリマスカ

〔賛成々々〕ト呼フ者アリ
○議長（長谷場純孝君） 賛成ガアルト認メマスカラ、緊急動議カラ採決致シマス、高木君ノ脱却ヲ延期ト云フコトニ賛成ノ者君ハ起立

起立者 少數
○議長(長谷場純孝君) 少數、討論終結デ御異議アリマセヌカ

○議長(長谷場純孝君) 御異議ナイト認メマスカラ、是ニテ討論、終結致シマス、而シテ本案ヲ直ニ二讀會ニ多シ、委員長ノ報告通り三讀會ヲ省略シテ決定シタイト云フ

菅原君ノ勳議ニ御異議アリマセヌカ
〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(長谷場純孝君) 御異議ナイト認メマスカラ直ニ讀會ヲ開キマス、議案全部ヲ議題ニ供シマス

○議長(長谷川純孝君) 御異議ナシト認メマスカラ、委員長ノ報告通り三讀會ヲ省
 執達吏手數料規則中改正法律案(政府提出)
 (異議ナシ)「委員長報告通」ト呼フ者アリ
 確定議

略シテ本案ハ是ニテ確定致シマス、日程第六乃至第八ハ同一委員ニ付託セラレタル議

案ナルニ依リ、併シテ委員長ヨリ報告致サヘマス、日程第六、軍人恩給法中改正法律案、日程第七、明治三十三年法律第七十六號中改正法律案、日程第八、明治三十三年法律第七十五號同三十五年法律第二十九號準用ニ關スル法律案、第一讀會ノ續——委員長伊藤大八君

第六 軍人恩給法中改正法律案（政府提出）

第一讀會ノ續（委員長報告）

第七
明治三十三年法律第七十六號中改
正法律案(政府提出)
第一讀會ノ續(委員長報告)

第八
明治三十三年法律第七十五號同三
十五年法律第二十九號準用ニ關スル
法律案(政府提出)
第一讀會ノ續(委員長報告)

〔伊藤大八君登壇〕
○伊藤大八君 諸君、本案ノ委員會ノ經過竝ニ結果ヲ御報告致シマス、委員會ニ於

出來得ルダケノ優待ヲ致シタイト云フ考ヲ以チマシテ、十分慎重ニ審議ヲ致シマシテ、陸海軍ノ政府委員ニ就キマシテ質問應答ヲ重ネマシタルコロ、政府ガ提出致シマシタルコロ

ノ此改正案デハ遺憾ナガラ世間ノ當院ニ訴ヘテ參リマシタルコロノ請願、又吾々ノ手
許ヘ机上ニ堆クナル程參リマシタルコロノ書類等ニ付キマシテ審査ヲ致シマスルト、其訴

ヘテ參リテミダハルニシテ、**神皇正統記**ニカテテ、**源氏物語**ニ居ガイト云フニテ見出シマシムルニ立至リマシタ次第デゴザイマス、其詳細ノコトハ委員會ノ速記ニ譲リマシテ、唯大要

修正致シマシタルトコロノコトヲ申上ケテ御報告ニ代ヘヤウト思ヒマス、本案ハ諸君ガ御承知ノ如ク昨年官吏増俸ト云フコトニナリマシタカラ、陸海軍人モ同様ニ増俸ノ恩澤ニ與ツ

テ居ル以上ノ恩給モ功之ニ伴テ同一ノ恩濟ニ與リタルモノナレドモ、
レバナラヌ、斯ウ云フコトデアリマス、併ナガラ此政府ノ案ハ現今恩給ヲ得テ居ルトコロノ者
ニ―得ツ、アルトコロノモノニ齊シク均霑スルト云フノ案デハゴザイマセヌ、昨年増俸ニ

ナデ以來ノ恩給ヲ受クベキ軍人ニ恩給ノ増額ヲ致シタイト云フ案デゴザイマスル、是ハ
既往ニ遡ルト云フ譯ニナリマスカラ、均シク維新以來ノ恩給ヲ受取ル人ニ施スナラバ宜
シ、

給テ受クベキ人ニアルト云フコトニ修正致ス方ガ宜シイト云フコトデ、昨年一箇年遡ルト云

フコトハ削除致シマシタ、齊シク廻ルナラバ現今ノ恩給法ニ依リテ受ケテ居ルトコロノ人々ニ
均霑セシムルガ相當デハナイカト云フノ議論ガゴザイマシタガ、此ノ如ク致シマスルト云フ
ト實ハ致シタイノデアルケレドモ財政ガ許シマセヌ、丁度三百万圓以上モ斯樣ナコトニ

致スト要ルノデアリマス、故ニ是ハ溯ツテ恩給ヲ増シテヤルト云フ恩典ヲ蒙ラシムルト云フコトダケハ穩當ヲ缺イテ居ルト云フコトヲ見マシテ、委員會デハ修正ヲ施シマシテゴザイマ

受クベキヤウニ——其遺族ガ扶助料ヲ受クベキヤウニナリマスル、其ニ權利ヲ得ル人ハ此改正案ノ恩澤ヲ蒙ラシムルト云フコトニ修正ヲ致シテ居リマス、其外第二ハ日露戰役ノ

癸兵ハ三十九年ノ改正ニ依リマシテ恩給ヲ得ルヤウニナツテ居リマスルガ、其前ノ日清戰
争、北清事件ノ癸兵ニハ少シク薄クナツテ居リマスルガ故ニ、是等ノ權衡ヲ保ツタメニ
補恩給ノ額ヲ近アカシメルト云フコトノ方針ヲ以テ此改正ヲ致シタノガ第二デゴザイマ

ス、其外第三、佐賀、熊本、西南、臺灣等ノ役出マシタコロノ廢兵ニ對シテハ是亦

日露戰爭以後ノ癩兵トハ餘程其恩給ノ扶助ノ金額ガ違フテ居リマスルガ故ニ、是等ノ均衡モヤハリ保ツウニ致シマス、其外政府ノ改正案ニ於キマスレバ將校準士官ニハ二割五分、其外下士ハ二割、卒ハ一割五分、斯ウ云フ標準ヲ以テマシテ増額ヲ致シタイト云フ案デゴザイマス、是モヤハリ上將校ヨリ下兵卒ニ至ルマデ齊シク二割ト致スト云フコトニ致シマス、サスレバ此明治三十九年ノ改正ニ依ッテ——恩給法ノ改正ニ依ッテ下士ハ恩澤ヲ得テ居ルノデアリマス、ソレハ實際ハ下士以下ノ方ガ此委員會ニ於テ修正致シマスルコトニ致シマス、下士以下ノ方ニ重クナルコト云フ結果ニナルノデアリマス、大體改正ノ要旨ハ此ノ如キモノデゴザイマシテ、一言申シマスレバ當院へ訴ヘ參リマスルコトコロノ軍人軍屬ノ希望ヲ十分ハ參リマセヌガ、均霑ニ容レテヤルト云フ、是ハ最も都合ノ好ク出來ル修正案ト御承知ヲ願ヒタイノデアリマス、此段御報告ヲ致シマス、チヨット御報告ヲ落シマシテゴザイマスガ、政府ガ必ズ此修正ニハ同意ヲ表スルコト、存ジマス、ソレカラ明治三十三年法律第七十六號中改正法律案、是ハヤハリ諸君ノ御手許ニ回ッテ居リマス、修正テ明治四十三年四月一日以後本法施行ノ日マデニ於テ死去シタル者ノ遺族ニ給スヘキ扶助料ノ金額ハ本法ノ規定ニ依ル、此附則ノ末項ヲ削除致スト云フコトニ致シマス、此案ハ滿場一致ヲ以テ可決致シマス、又明治三十三年法律第七十五號、同三十五年法律第三十九號準用ニ關スル法律案、是亦何等ノ修正ヲ施サズシテ滿場一致ヲ以テ可決致シマス、此段御報告ニ及ヒマス

○議長(長谷場純孝君) 藏原惟郭君 即チ日程ノ第六、軍人恩給法中改正法律案第一讀會ノ續ヲ開キマス

第六 軍人恩給法中改正法律案

第一讀會ノ續

(藏原惟郭君登壇)

○藏原惟郭君 昨ハ唯今議場ニ問題トナッテ居ル軍人恩給法改正法案ニ對シテ反對ノ意見ヲ述ベマス、全體此案ハ委員長ヨリ報告ニナリマシタ通り吾々委員ハ十分ノ同情ト熱誠トヲ以テ審査ヲ遂ゲタデアリマス、其結果遺憾ナガラ委員長ノ報告ト反對ノ事實ヲ吾々ハ發見シタデアリマス、何事デアアルカト云フ、第一ニ此改正法案ハ甚ダ姑息デアルト云フ一事デアリマス、此點ニ付テハ當局政府委員ニ再三度兩黨共ニ質問ヲ試ミマシタコトコガ、政府委員ハ口ヲ極メテ姑息案デアルコトハ何處マデモ承知ヲ致シテ居リマス、云フ言明デアリマス、ソコデ私ハ進ンデ政府ハ此ノ如キ姑息案ハ撤回シテ更ニ完全ナル満足スベキコトコロノ成案ヲ具ヘルノ意思ハナイカト云フコトヲ質問シタデアリマス、之ニ對シテ政府ハ今日ノ場合此姑息ノ方法ヨリ外ニハ致方ガナイノデアルカラ他日或時期ニ於テ完全ナル改正法案ヲ提出スルカモ知レナイケレドモ、ソレハナカノ見込ガ付カナイノデアルト云フコトヲ以テ、彼ハ辛ウシテ此改正法律案ヲ維持セントシテ居ルノデアリマス、此ノ如キ不完全ニテ姑息ナル、且政府ガ十分ノヲ維持スルノ熱誠ヲ缺イテ居ルコトコロノ法案ヲ贊成シテ、之ヲ協賛スルコト云フコトハ愈々姑息ヨリ姑息ニ陷ルコト、信ズルノデアリマス、吾々ハ此改正法律案ハ反對ヲスルケレドモ、他日完全ナル法案ヲ政府ガ提出スルコトヲ條件トシテ反對ヲスルノデアアル、第一此法案ハ曩キニ委員長ヨリモ續々述ベラレタル通り上長官ニ厚ウシテ、所謂下士卒ニ薄イノデアリマス、是ハ一般ノ輿論デアッテ、委員會ニ於テハ一致同感デアッタデアアル、第二ニ於テハ此法案ハ公平ヲ缺イテ居ルノデアアル、何故ニ公平ヲ缺イテ居ルカ、若モ一般我軍人ノ國家ニ貢獻シタルコトコロノ者ニ對スルコトコロノ其公平ノ精神ヨリ出タコトコロノ法案デアリトシタナラバ、何故ニ政府ノ案ノ如ク四十二年ノ四月一日ニ遡ルト云フコトニ止ムルノデアリマス

カ、何故ニ明治維新以來國家ノタメニ血ト肉トヲ割イテ貢獻シタルコトコロノ幾多ノ悲惨ナル境遇ニ陷ッテ居ルコトコロノ此軍人——退職軍人並ニ其遺族ニ對シテ適當ナル満足ナル我同胞國民ガ誠ニ満足スルコトコロノ法案ヲ具ヘテ即チ天下ノ輿論ニ副フ方法ヲ講ゼヌノデアリマス、政府ガ此ノ如キ意思ヲ有シテ居リ、又之ヲ望ムト雖モ、今日國家財政ノ困難ハ已モコトヲ得ナイノデアルカラ涙ヲ吞シテ姑息ノ法案ヲ提出シテ居ルト云フノデアルケレドモ、政府委員ノ答辯スルコトコロニ依レバ、僅ニ百五十萬圓ノ經費ヲ以テ國家ノタメニ帝國ヲ建設スル上ニ於テ犧牲トナッタコトコロノ悲慘ナル同情スベキ多數軍人ノ此境遇ヲ救出スニ足ルト云フコトハ政府委員ガ答辯シテ居ルトコロデハナイカ、六億ニ垂ントスルコトコロノ國家ノ財政ヲ有シテナガラ僅ニ百六十萬圓ノ此少金額ヲ支出スルコトガ出來ヌト云フコトハ何等ノ怪事デアリマスルカ、我海陸軍ガ元費ヲ省ケコトヲ努ムルナラバ百萬元ニ二百萬元ノ金ハ立所ニ支出スルノ途ガ開ケルト云フコトハ何人モ決シテ私ハ疑ハザルトコロノ此忠勇義烈ナル軍人ノ窮狀ヲ救出スニ於テ、又之ニ對シテ慰安ノ途ヲ講ズル上ニ於テ、彼等ノ功勞ニ報ユル上ニ於テ、七千萬人ノ國民ガ僅ニ百五十萬圓ノ二百萬圓ノ金ヲ支出スルコト云フコトニ困ル程帝國ノ財政經濟ハ困却シテ居ルモノデハナイノデアリマス、然ラバ諸君、政府ハ誠意誠心帝國軍人ノ此全般ニ對スル恩給並ニ救助其他ノ方法ヲ講ズル意思ヲ有シテ居ラヌモノト認メルノデアアル、彼等ハ不公平ニモ唯其一部分ヲシテ満足セシメテ、其大部分ヲシテ總テ其不法ニ泣カシムルト云フ實際上ノ成行ニ陷ラシメル譯デアアル、是ニ於テカ、即チ軍人ノ間ニ涵養サレツ、アル又吾々ハ如何ナル犧牲ヲ拂ッテモ之ヲ擁護シ、之ヲ保護セバナラヌコトコロノ所謂軍人氣質、忠勇義烈ノ精神並ニ彼等ノ體面ヲ維持スルコト云フ此點ニ於テハ遂ニ政府ノ姑息ナル不公平ナル恩給法改正案ニ於テ或ハ其主ナル精神ハ漸ク破壊セラレ、漸ク不平怨嗟ノ聲ハ此忠勇義烈ナル軍人ノ間ニ於テ、其家族ノ間ニ於テ、私ハ漏ラサレントスルコトヲ憂フルノデアリマス、此ノ如クナルトキニ於テハ如何ニシテ政府ハ 陛下ニ對シテ奉テ責任ヲ負ッテ此我帝國軍人ノ面目ヲ一般ニ公平ニ維持スルコト云フコトガ出來ルノデアリマス、盡サレノデアリマスルカ、政府既ニ其案ノ姑息ニシテ不公平ナルコトヲ認メテ居ル以上ハ、暫ク忍ンデ我々、財政上ノ整理ヲ俟ッテ而シテ私ハ一般軍人ニ對シテ明治維新以來全部ニ對スルコトコロノ恩給法、改正ヲ大々的の根本的ニ之ヲ斷行シテ以テ我軍人社會ニ横ッテ居ルトコロノ此大問題ヲ解決スルコト云フコトハ政府並ニ議院ノ國民ニ負ヒ、且ハ 至上ニ對シテ奉ルノ私ハ大ナル責任デアラウト信ズルノデアリマス(君モ委員デヤナイカ、ナゼ修正シナイト呼フ者アリ)ソコデ政府ノ述べル一ツノ理由ハ、昨年ニ於テ文官ノ増俸ガ行ハレタメニ文官ト武官トノ均衡ガ取レナイノデアルカラ、即チ増俸ニ伴フコトコロノ恩給ヲ增加スルノ必要ヲ認ムルト云フテ居ル、而シテ現今ノ社會ハ生活上甚ダ困難ニ陷リ、物價ハ或ハ二割或ハ三割ヲ騰貴セシメタルガタメニ、軍人ノ困難一方ナラサルニ依リ、之ヲ救助スルノ途ハ即チ此俸給ヲ增加スルコト共ニ恩給其他ヲ增加スルノ方法ヲ取ラザルヲ得ナイト云フ上カラ來テ居ル、併ナガラ文官武官ト云フモノハ其根柢ニ於テ精神ヲ異ニシテ居ルノデアアル、試ミテ文官ハ即チ彼ガ役人ニ登用サレバ、已レノ私費ト己ノ費用トヲ以テ教育ヲサレ、技術ヲ練リ、而シテ專門ノ知識ヲ養成サレテ居ルノデアリマス、然ルニ軍人ニ於テハ諸君ノ御承知ノ通り或ハ幼年學校アリ、或ハ兵學校アリ、或ハ大學校アリ、何レモ皆即チ國家ノ費用ヲ以テ、公ケナル費用ヲ以テ教育サレテ居ルトコロノモノガアル、之ニ加フルニ或ハ優待ノ方法ガ多クアルノデアアル、然ルニ文官ノ俸給ガ彼是デアリ、文官ノ待遇ガ彼是デアリ、武官ニ於テモ此ノ如クナラザルベカラスト云フガ如キハ、文武ノ根本的精神ニ異ナルトコロガアリ又之ニ對スル社會ノ態度國家

が與フルトコロノ任務並ニ名譽上ノ異ナルトコロ、之ニ對スル即チ教育上ノ方法等ノ異ナルトコロヲ全然没却シテ無差別トナスモノデアル、是レ即チ政府ノ通辭ニ過ギナイトコロノモノデアル、我反對黨ノ諸君ハ種々改正ヲ施サレテ、修正ヲ施サレタノデアル、然レドモ姑息ナルコトハ一層姑息トナツテ居ルコトハ如何、姑息ナルトコロノ修正ヲ如何ニ諸君ガ努メタルト雖モ其姑息ナル精神、姑息ナル方法ノ範圍ヲ出ヅルコト能ハサルヲ私ハ悲シムデアル、恐クハ諸君ノ精神ハ甚ダ陋劣ナル點ニアリハセカト思フデアル、僅カ一部分ノ國民ノ同情ヲ頼發セシガタメニ諸君ハ心ナラザル修正ヲ加ヘテ政府トノ妥協以上ノ妥協ヲ遂ゲテ此不完全ナル不公平ナル、又姑息ナルトコロノ法案ヲ通過セントスルガ如キ、其陋劣ナル精神ヲ吾輩ハ政事家トシテ、又即チ帝國ノ議員トシテ、悲マザルヲ得ナイコトヲ茲ニ私ハ一言セザルヲ得ナイノデアリマス、併ナガラ若モ諸君ノ精神ガ吾輩ガ想像スルヨリモ高尚純潔デアラナラバ、吾輩ハ諸君ニ相當ノ敬意ヲ表スルコトニ躊躇シナイノデアリマス、併ナガラ此改正案ノ修正ノ結果ニ依ツテハ何等國家大多數ノ即チ軍人全體ニ對スルストコロノ諸君ノ熱情ハ進ッテ居ラヌノデアリマス、私ハ故ニ政府ガ過日時機ヲ待ツテ財政ノ整理ヲ行ヒ、行政ノ整理ヲ行ヒ、而シテ百五十萬圓二百萬圓ノ支出ノ途ヲ開イテ以テ我帝國全般ノ軍人ニ對シテ權利上相當受クベキトコロノ此恩典ヲ雨露ノ如ク均霑セシムルト云フコトニ至ルマデハ遺憾ナガラ此案ハ撤回サル、カ若クハ諸君モ吾輩ニ贊同シテ美事茲ニ否決シテ國家全體ノタメニ私ガ言フ如ク貢獻スルストコロガアツタナラバ、幾十萬幾百萬ノ軍人ハ諸君ノ公明正大ナルトコロノ判斷ニ大ニ謝スルトコロガアルデアラウト信ズル(拍手起ル)

○陸軍大臣(子爵寺内正毅君) 議長

○議長(長谷場純孝君) 寺内陸軍大臣

○陸軍大臣(子爵寺内正毅君) 諸君唯今ノザウ原君カラ——

○陸軍大臣(子爵寺内正毅君) 諸君唯今ノザウ原君カラ——

○藏原惟郭君 君ハ何ント言ハレルノデアルカ、無禮ナコトヲ言フナ、ザウ原トハ何ンダ

○陸軍大臣(子爵寺内正毅君) 藏原君ニ御答ヲ致シマス

○藏原惟郭君 前ノザウ原ヲ取消スカ

○陸軍大臣(子爵寺内正毅君) 改メテ申上ケマス

○陸軍大臣(子爵寺内正毅君) 改メテ申上ケマス

○陸軍大臣(子爵寺内正毅君) 改メテ申上ケマス

○議長(長谷場純孝君) 靜カニ——改メテ……

○陸軍大臣(子爵寺内正毅君) 改メテ申上ケマス

○藏原惟郭君 ザウ原ヲ取消スカドウカ

○議長(長谷場純孝君) 靜カニ——改メテ……

○陸軍大臣(子爵寺内正毅君) 改メテ申上ケマス

○議長(長谷場純孝君) 陸軍大臣ガ改メテ申スト云フノデ——靜カニ——

○議長(長谷場純孝君) 陸軍大臣ハ取消スカドウカ無禮ナリ無禮ナリト呼フ者アリ、議場騒然

○議長(長谷場純孝君) 靜カニ——議長ノ制止ヲ聽カヌカ靜ニ

○議長(長谷場純孝君) 藏原君著席ナサイ
○議長(長谷場純孝君) 藏原君ハ議場ニ登リ寺内陸軍大臣及議長ト應答ス
○議長(長谷場純孝君) 藏原君ハ議長ノ命令ヲ聽カヌノデスカ——守衛長守衛長藏原君ヲ退去サセ

○議長(長谷場純孝君) 陸軍大臣ハ演壇ヲ降ル、此時陸軍大臣ヲ懲罰ニ付セト呼フ者アリ

○議長(長谷場純孝君) ザウ原君ト言フタノヲ改メテ藏原君ト言ハレルノデアルカラ……靜ニ——唯今陸軍大臣ハ音讀シテザウ原ト云ッタノデアル、ツレヲ改メテ藏原君ト呼直サレシメ、ツレヲ失禮ナコトハナイト思フ

○藏原惟郭君 ツレデハザウ原ヲ取消シタルデアルカ

○議長(長谷場純孝君) 靜ニシテ議長ノ宣告ヲ御聽キナサイ、例ヘハ長谷場純孝ト云フヲ音讀シテ、長谷場ジュンカウト云フガ如キモノデ、言葉答メヲスル必要ハナイト思フ

○議長(長谷場純孝君) 靜ニ御聽キナサイ——若シツレニ對シテ御不同意アルナラバツレツレ成規ノ手續ヲ履シテ御提出ニナツテ然レベキモノト考ヘマス——寺内陸軍大臣ニ發言ヲ許シマシタ

○陸軍大臣(子爵寺内正毅君) 唯今ハ大分議場ニ混雜ヲ起サセテ不都合デアリマシタ、私ハ誤ッテザウ原君ト申シマシタガ改メテ藏原君ト申シマス、若シツレガ失禮デアッタト云フコトデアレバ更ニ改メテ申上ケマスカラ左様御承知ヲ願ヒマス(謝スベシ)ト呼フ者アリ、少シ御聽ク願ヒタイ、唯今藏原君カラ此軍人ノ恩給ニ對シテ否決スベキモノト云フ御提議ガアリマシタカラ一言辯シテ置キマス、ツレニシテ姑息ノ案デアルト云フコトノ御論旨ガアツタヤウデアリマスガ、目下ノ財政狀態ト致シマシテ此度委員長ノ報告セラレタトコロガ適當ト考ヘル、之ニ政府ハ同意致シマス、尙又一言附加ヘテ置キマス、ハ唯今藏原君ノ御説ノ如ク軍人ノ恩給ヲ満足スルタメニハ軍政ノ一部ヲ削ッテ之ヲ増スコトハ百萬圓、二百萬圓ハ容易デアルト云フヤウナ御考モアツタヤウデアリマスガ、吾々軍人ハ國家ニ對シテ固ヨリ一身ヲ捧ゲテ貢獻致シテ居リマス者デアリマスカラ、國家防衛上ノ必要ナル費用ヲ削ッテマデモ恩給ヲ増サウト云フヤウナ考ハ毛頭持チマセヌ、ノミナラズ此ノ如キ趣意ニ依ツテ増サレコトハ甚ダ快シトシテ居リマセヌ譯デアリマス、左様ナコトハ一向希望致シテ居リマセヌ、今日ノ財政ニ於テ適當ナリシテ改正セラレタケノコトハ至極適當デアラウト思ヒマス、尙又從來ノ勤メマシタ者ニ及バズ、將來軍人トシテ勤務ヲ執ル者ニ對シテ國家ガ優待ノ途ヲ示サレト云フコトハ誠ニ將來ノ軍人トシテ安シテ國家ニ貢獻サセルタメニハ必要デアラウト思ヒマスカラ、委員長報告ノ通り決定セラレコトヲ希望致シマス

○營原傳君 議事ノ進行ニ付テ御尋致シマス、唯今議長ヨリノ聲明ニ依リマスレバ、陸軍大臣ハ初メ藏原君ヲザウ原君ト音讀シテ讀マレタガ、之ガ間違デアッタカラ直シテ藏原君ト讀ンダト云フコトデアルノデアリマス、議長ノ聲明ニ依レバ然レニモ拘ラズ議長ノ許可ナクシテ壇上ニ推掛ケ、此議場ノ騷擾ヲ來スガ如キハ、最モ當ヲ得ナイコト、思フノデアリマスルガ(ヒヤ)ト呼フ者アリ、私モ議長ノ聲明サレタ如キ順序ト思ヒマスガ、議長ノ聲明サレタノハ私ノ御聽キスル通りデアリマスガ、其邊ヲ御聽質シマシマス、若シ議長ノ

聲明ノ如クシテ議長ノ許可ナクシテ壇上ニ登ツタコトハ甚ダ不穩當ノコト、認メルノデア
リマス

〔「ヒヤ」〕「ト呼フ者アリ」

○議長(長谷場純孝君) 私が其際ニ於テ注意シテ居リマスニコロニ依ルト、前ニ議長
が宣告致シマシタ通り陸軍大臣ハサウ原君ト音讀ヲシマシタ、直グ氣付カレタト見エテ、其
間ニ既ニサウ原トハ何事カト云フヤウナ何處カラカ聲ガ起ツタヤウデアリマス、ケレドモ何
人ガツレテ發シタモノカ議長ニハ能ク分リマセヌ、ツレカラ陸軍大臣ハ直グツレテ改メテ藏
原君ト斯ウ言ハレタノデアリマス、議長ハ確カニサウ聴イテ居ル何モ是ハ議長ハ決シテ故
意ニ出タモノデナイト思フ、例ヘバ私ノ姓名ガ長谷場ニミタカデアル、ツレテ
長谷場ニシテ始テ呼ビテ居リマス、サウ云フ例モアリマスカラ私カラ——議長カラ
見マシタラ故意デツレテ發シタ言葉デナイト云フコトヲ信ズルノデアリマス(其通リ)ト
呼フ者アリ唯如何ニセシ其間ニ議長ハ終ニ議長ノ命モ用井ズ藏原君ハ演壇ニ登ラレ
タカラ、ツレニ對シテハ議長ハ職權ニ依ツテ守衛ニ命ラ傳ヘテ藏原君ヲ退ケサセヤウト
斯ウ致シタノデゴザイマス、其他二三ノ人ガ來ラレタヤウニモ見エケマス、ケレドモ混雜中デ
ゴザイマス、ドナタガドウト云フコトハ議長確ッカリ見届ケマセヌ、是ガ事實デアラウト議長
ハ思ヒマス

〔「ヒヤ」〕「ト呼フ者アリ」

○菅原傳君 果シテ議長ノ聲明ノ如クシテ藏原君ノ行為ハ謝罪スベキ價ガアルト思ヒ
マス(「ヒヤ」)「ト呼フ者アリ」願クバ議長ヨリ藏原君ニ謝罪ヲ述ベラレルコ
トヲ要メラルヤウニ茲ニ希望致スノデアリマス

〔拍手起ル〕「怪カラヌ藏原君ノ平生ノ勇アラバ之ヲ拒ンデ見イ」〔男ナラ拒メ〕ト
呼フ者アリ

○議長(長谷場純孝君) 今菅原君カラ議長ニ向ツテノ注意ガゴザリマシタ、滿場ノ諸
君能ク御聽取リノ通リト存ジマス、此場合ニ於テ藏原君ハ相當ノ謝意ヲ御述ベニナル
方ガ議長モ議院ノ神聖ヲ保ツタメニ(誰ニ對シテ)ト呼フ者アリ議長ニ御述ベニナル方
ガ宜カラウト思フ

○藏原惟郭君 議長

○議長(長谷場純孝君) 藏原君

〔「餘リ詰ラヌコトヲ言フナ」議長ニハ謝スル價値ガアルト呼フ者アリ〕

○藏原惟郭君 唯今私ガ質問演説ヲ試ミタ場合ニ於テ寺内陸軍大臣ハサウ原ト云
フ呼ビ方ヲシテアリマス、未曾テ私ハサウ原ト讀ムタ人ヲ見ナイ(井上ツノ五郎君
ト云ツタ者モアル)ト呼フ者アリ賢明ナル寺内陸軍大臣一人デアル、寺ナイト呼ブト、
サウ原ト呼ブト云フコトハ同ジヤウナ意味ニ於テ滑稽侮辱デアルト思フヲノデアリマスカラ
議員ノ一人トシテ固ヨリ之ヲ問フハ當然ノ於テ諸君ガ飽クマデ同情ヲ表スルニコロデ
アリマス、ツレヨリ生シタルニコロノ行動ハ其源、寺内陸軍大臣ノデアリマスガ故ニ、寺内
陸相過ツテ之ヲ改ムルト云フ謝辭ヲ述ベラレル以上ハ、是ヨリ生シタル議長ニ於ケル結
果ニ對シテハ甚ダ遺憾デアルト云フコトヲ聲明致シマス

○菅原傳君 唯今藏原君ノ御述ベニナッタニコロハ本員ノ希望ト違フ事柄ノモノデアリ
マス、縱令初メ寺内陸軍大臣ノ言誤リヨリ起ツタコト、シテモ、演壇ニ推掛ケ此議場ノ
神聖ヲ冒シタ人ハ藏原君ト認メルノデアリマスカラ、藏原君自身ヨリ謝意ヲ表セラル、コ
トガ相當ト信ズルノデアリマスカラ、是非其途ニ依ツテ要メラレルコトヲ議長ニ要メルノデア
リマス

〔「横暴ダ」默レ、何ガ横暴ダト呼フ者アリ〕

○議長(長谷場純孝君) 私語ハ許シマセヌ、自ラ重シテ靜ニ……

○藏原惟郭君 議事ノ進行上意見ガアリマス、唯今ノ議場ノ紛擾ハ私ハ甚ダ以テ遺憾
ニ存ジマス、此紛擾ヲ起シタノモ多數ノ聲ハ政友會ヨリ起ツテ器々已マザルハ、實ニ私ハ遺憾
ト思ヒマス、議長ハ宜シク公平ナル精神ヲ以テ議場ノ神聖ヲ保タル、ト共ニ、先ヅ之ヲ
正サレシコトヲ希望スルノデアリマス

○議長(長谷場純孝君) 議長ハ即チ公平ナ精神ヲ以テ今ツレテ質シツ、アル——議
長ハ思フニ言語ノ上ノミナラス、藏原君ノ行動ハ甚ダ一時氣昂リ意激シタル餘リトハ云
ヘ、議場ノ神聖ニ對シテ穩カナラザル御行動ト認メマシタカラ、菅原君ノ御注意モアリ、御
注意ヲ致シマシタガ……(此時發言スル者アリ聽取スル能ハス)容レルトコロナラザリシ
ハ、甚ダ私ハ遺憾ニ思フ靜ニ思慮ヲメグラサレテ、藏原君ハ潔ク此議場ノ神聖ニ對シテ
一言謝辭ヲ述ベラレハ、相當デアラウト思ヒマスカラ、更ニ注意ヲ與ヘマス

○藏原惟郭君 甚ダ遺憾デアル、私ハ再三——再度ナガラ議場ノ紛擾ヲ來シマシタル
コトハ誠ニ遺憾トスルト云フ精神ハ、一點私ニ於テ少シモ裝飾スルトコロハナイデアリマ
ス、私ハ從來直行猛進スルト云フコトヲ以テ自分ノ性質又自分自ラ欺カザルトコロト
シテ居ルノデアアル、曩ニ於テ私ハ此紛擾ヲ醸シタルコトハ遺憾トスルト云フコトヲ聲明シタ
ルハ、固ヨリ謝スル意ニ外ナラヌノデゴザイマス、議長諸君ハ是ヲシモ尙且謝辭ト思ハレザ
ルノハ私ハ遺憾千萬ニ思フトコロデアアル、唯重ネテ同上ノ——以上ノ意味ヲ以テ爰ニ遺
憾デアッタコトヲ趣旨ヲ聲明スルノデアリマス、聲明スルトハ即チ謝意ヲ表スルノ意ト云フコト
ハ同一デアリマス(「ノウ」)「男ラシク言ヘ」ト呼フ者アリ私ハ謝意ヲ表スルト云フコト
ヲ諸君ニ聲明スル(拍手起ル)

○議長(長谷場純孝君) 今藏原君ノ精神ハ明カニサレマシタノデゴザイマスカラ、諸君
ハ御異議ノナイ答ト思ヒマス、是ヨリ即チ日程第六、軍人恩給法中改正法律案ニ付
テ討論ヲ續ケマス——吉植庄一郎君

〔吉植庄一郎君登壇〕

○吉植庄一郎君 唯今問題ニナツテ居リマス此軍人恩給法ノ改正ニ付キマシテ委
員會ノ修正ヲ贊成ノ意思ヲ表明致シマス、唯今ノ問題ニ付テ藏原君ハ滔々數千言ヲ費
シテ全部否決ノ御演説ガアリマシタ、併ナガラ歐羅巴亞米利加ニ跨ツテ大政事家大演説
家トシテ世界ニ餘リ評判ガ大き過ぎタセキカ、藏原君ノ御演説ハ吾々小サナル政事
家ニハチットモ分ラナイ、風呂敷ガ大き過ぎテ或ハ昨今流行ノ飛行機ノヤウニナツテ中空
ヲ迷ツテ歩ルイタノデナカラウカト自分ハ考ヘルノデアリマス、大體ノ論旨ト致シマシテ藏
原君ノ述ベラレマシタルニコロノモノハ、本案ハ姑息デアル、軍人優遇ノ途ニ於テ遺憾デア
ル、此二點ガ先ヅ議論ノ骨子ト云フモノガアリトスレバ、是ガ議論ノ骨子デアッタウト思
ヒマス、澤山ノ御言葉アッタケレドモ、先ヅ是ガ骨子ヲシ、諸君(ツマナラ議論ヲ反駁
スルナ)ト呼フ者アリ帝國議會ノ議席ヲ持ツテ居ルニコロノ藏原君ガ(何ヲ言ツテ居ルカ)
ト呼フ者アリ此案ニ對シテ軍人優遇ノ途ヲ盡スニ姑息ナリト云フ以上ニハ何ヲ苦ンデ
是ヨリ良イトコロ案ヲ御出シニナツテ、ナセ是ヲ御修正爲サヌノデアリマス、議會ハ徒
ラニ批評スルトコロ空論ノ府デハナイ、議員ノ職責ハ徒ニ爲サント欲スルトコロノ法律
案ヲ出サナイ、ナセ修正シナイ、一向之ヲ修正スルトコト能ハズシテ雲ヲ攫ムヤウナ話ヲシ
テ徒ラニ言議ヲ弄セラル、コトハ盛名アル藏原君ノタメニ深ク之ヲ惜ムノデアリマス、吾々
ガツレテ贊成スルトコロノ骨子ハ爰ニ申述ベテ藏原君ノ反答ヲ請ハント欲スル政府ノ聲明

ニ於テ恩給ヲ受クルコトガ出來ルガ如ク改正ヲ致シタルデアリマス、是ハ藏原君ナドノ常ニ好シテ言フガ如ク、國論ニ聽ク與論ニ聽クト云フコトデアルナラバ、恐クハ天下ノ廢兵ハ諸君ノ最モ輿論ヲ口ニセラル、トコロノ藏原君ナドノ机ノ上ニハ天下ノ廢兵ガ請願シテ書類ハ山ヲ爲シテデアラウト思ヒマス、此ノ如ク國民ノ聲ニ聽イテ此機會ニ於テ日清戰爭ニ於テ困難シタ廢兵ニ恩典ヲ與ヘルコトヲ努メタルデアリマス、ソレカラ又此改正ノ修正案ニ依リマスル、此修正案ニ依レバ古イ時代ノ即チ明治四十三年以前ノ軍人之ガ恩給ニ於テハ今日以後ノ此法律施行後ノ軍人トハ大分ニ等差ガ付イテ參リマスノデアルカラシテ、ドウカシテ此餘リニ甚シイトコロノ懸隔ヲ何等カノ手段ニ於テ緩和シ調和スルト云フコトニシナケレバナラヌト云フコトハ、頗ル議論ヲ致シタルデアリマス、ソコデ此修正案ニ於キマシテハ軍人ノ遺族——此法律施行後ニ於テ軍人ノ遺族ノ恩給ニ該當スベキ者ガ生ジタ場合ニハ總テ此新シキ此法律ニ依ツテ此法律以前ノ軍人モ此法律施行後ノ軍人モ總テ均霑——軍人ノ遺族モ均霑スルコトガ出來ルヤウニシタ、是ハ即チ軍人其人ハ此時代ニ依ツテ新舊ノ區別ニ依ツテ恩給ノ厚薄ヲ免レナイノデアリマスケレドモ、一度其者ガ歿シタルトキニハ此遺族ハ悉ク新法ノ恩典ニ浴スルト云フノ途ヲ開イタルデアリマス、之ガ即チ政治家ガ死中ニ活ヲ求ムルノ活手段デアアル、此ノ如キ方法ニ依ジテ甚シキ不權衡ト云フモノヲ調和シタルデアリマス、是ハ即チ吾ミガ考慮スルトコロニ依リマシテハ責任ヲ重シテ事實ニ於テ行ハルベイトコロノ途ヲ考ヘ、最善ノ途ヲ盡シタルモノデアルト、確信スルノデアリマス（拍手スル者アリ）是等ノ以外ニ尙巨細ニ論ズベキ點ハ澤山アリマスケレドモ、本案ノ如キ既ニ骨子ニ於テ反對黨ノ議論ハ全ク雪フ櫻ム如キモノデアリマスカラ、假設的ノ問題ヲ拵ヘテ私ガ茲ニ一々論駁スルノ必要ハナイ、先ヅ藏原君ガ單純ニ此姑息ナリト云フ一論ヲ以テ來タルデアリマスカラ、此姑息論デアルト云フコトノ根本ヲ打破レバ、枝葉ニ論及スルノ必要ハナイト思ヒマスカラ是デ壇ヲ降りマス

○菅原傳君 討論終結ノ動議ヲ起シマス

○議長（長谷場純孝君） 討論終結ノ動議ニ御異議アリマセヌカ

（異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ）

○議長（長谷場純孝君） 御異議ナケレバ是ニテ討論ハ終結致シマス——採決ヲ致シマス本案ノ二讀會ヲ開クヤ否ヤヲ採決致シマス、即チ藏原君其他ヨリ二讀會ヲ開クベカラズト云フ動議ヲ提出サレテアリマスカラ、先ヅ二讀會ヲ開クベシト云フ方ニ付テ採決ヲ致シマス、即チ本案ノ二讀會ヲ開クベシト云フニ御同意ノ諸君ハ起立

起立者 多數

○議長（長谷場純孝君） 多數

○菅原傳君 直ニ二讀會ヲ開キ、三讀會ヲ省略シ、委員長報告通リ確定セラレンコトヲ望ミマス

（贊成々々ト呼フ者アリ）

○議長（長谷場純孝君） 御異議アリマセヌカ

（異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ）

○議長（長谷場純孝君） 御異議ナケレバ直ニ二讀會ヲ開キ、議案全部ヲ議題ニ供シマス

（異議ナシト呼フ者アリ）

○議長（長谷場純孝君） 御異議ナイト認メマスカラ二讀會ヲ省略シテ全部特別委員長ノ報告通リ本案ハ是ニテ確定致シマス

（拍手スル者アリ）

○議長（長谷場純孝君） 日程第七、明治三十三年法律第七十六號中改正法律案、第一讀會ノ續

明治三十二年法律第七十六號中改正法律 第一讀會ノ續

第七 案(政府提出)

○菅原傳君 本案ニ對シ別ニ反對ノ御議論モナイヤウデアリマスカラ 直ニ二讀會ヲ開キ三讀會ヲ省略シ委員長報告通り確定セラレンコトヲ望ミマス

○議長(長谷場純孝君) 御異議アリマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(長谷場純孝君) 御異議ナケレバ唯今菅原君發議ノ通り直ニ二讀會ヲ開キ、議案全部ヲ議題ニ供シマス

明治三十二年法律第七十六號中改正法律案 確定議

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(長谷場純孝君) 御異議ナイト認メマスカラ三讀會ヲ省略シテ本案ハ是ニテ委員長報告通りニ確定シマス、日程第八、明治三十二年法律第七十五號同三十五年法律第二十九號準用ニ關スル法律案第一讀會ノ續

第八 明治三十二年法律第七十五號同三十五年 第一讀會ノ續

法律第二十九號準用ニ關スル法律案

○菅原傳君 本案モ直ニ二讀會ヲ開キ、三讀會ヲ省略シ委員長報告通り確定セラレンコトヲ望ミマス

(「贊成」ト呼フ者アリ)

○議長(長谷場純孝君) 御異議アリマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(長谷場純孝君) 御異議ナケレバ菅原君動議ノ通り直ニ二讀會ヲ開キ、議案全部ヲ議題ニ供シマス

明治三十二年法律第七十五號同三十五年法律第二十 確定議

九號準用ニ關スル法律案

○議長(長谷場純孝君) 御異議ナイト認メマスカラ三讀會ヲ省略シ、本案ハ是ニテ委員長報告通り確定致シマス

(「拍手スル者アリ」)

○議長(長谷場純孝君) 日程第九乃至第十一ハ同一委員ニ付託セラレタル議案ナリニ依リ、併セテ委員長ヨリ報告スルニ御異議ゴザイマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(長谷場純孝君) 御異議ナケレバ日程ノ第九ハ關稅法中改正法律案、日程第十ハ賣藥稅法中改正法律案、第十一ハ砂糖消費稅織物消費稅等ノ徵收ニ關スル法律案、第一讀會ノ續 委員長植場平君

第九 關稅法中改正法律案(政府提出)

第一讀會ノ續(委員長報告)

第十 賣藥稅法中改正法律案(政府提出)

第一讀會ノ續(委員長報告)

第十一 砂糖消費稅織物消費稅等ノ徵收

第一讀會ノ續(委員長報告)

(「植場平君登壇」)

○植場平君 唯今議長ノ御宣告ニ依リマシテ委員會ノ經過及結果ヲ御報告致シマ

ス、先ヅ日程ノ第九關稅法中改正法律案ノ方カラ報告シマス、本案ハ此改正ガ各所ニ互ッテ居リマスノデ、頗ル錯雜致シテ居リマシタメ、委員會ニ於キマシテハ親切丁寧ニ質問應答ヲ重ネ、政府委員ト委員諸君ト間ニ意見ノ折衝モ屢、致シタ譯デゴザイマス、其結果本案ノ八十二條ノ二、本條ノ但書ヲ修正シテ致シタデアリマス、其但書ハ既ニ報告書トシテ御手許ニ御同シテゴザイマスカラ御覽ニナツタコト、考ヘマスガ、斯ウ云フ文字ヲ入レマシタノデゴザイマスカラ、念ノタメ申シテ置キマス、但「下ニ」營業者ガ其ノ代理人又使用人ノ監督ニ付キ相當ノ注意ヲナシタルコトヲ證明スル場合又ハ「四十文字ガ入ルデアリマス、此四十文字ヲ挿入致シマシタ其理由ヲ簡單ニ申シマス、此關稅法ノ七十四條及七十五條七十六條此各條ニ據リマス輸出輸入ヲ營業者ノ營業者ノ代理人又使用人ガ本條ノ違反ヲ致シタ場合ニ直ニ營業者ヲ處罰スルコト云フコトニナツテ居ルデアリマス、之ガ即チ現行法律ノデアル、然ルヲコレハ餘リ酷シニテ穩當デアルマイト云フノデ、唯今申上ゲマシタ但書ヲ挿入致シマシテ、營業者ガ使用人代理人ニ對シテ相當ノ注意ヲ致シタルコトヲ證明致シマシタ場合ニハ、營業者ハ其處罰ヲ免カルルト云フコトヲ改正ノ主意デアアルデアリマス、其他ハ總テ原案ニ滿場一致ヲ以テ同意ヲ致シタ譯デアリマス、此報告ヲ申上ゲマス、次ハ日程ノ十デアリマス、賣藥稅法中改正法律案、此改正案ハ從來賣藥營業稅ナルモノハ、直接國稅ニ編入シテ居ナイノデアアル、コレバ此度ハ直接國稅ニ編入シテ所謂選舉權ノ擴張ト申シテ宜カラウカト思ヒマスガ、斯ウ云フヤウナコトニ相成リマス、茲ニ此本案ヲ改正シテ道府縣ノ此國稅ニ對スル附加稅率、町村ノ附加稅率ヲ定メ置クノ必要アリトシテ、本案ヲ提出致サレタデアリマス、段々委員會ニ於キマシテ審議ノ結果、イロ／＼御議論モアツタデゴザイマスガ、其議論ノアリシコトヲ簡單ニ一言致シマス、賣藥營業稅ナルモノヲ直接國稅ニ依リテ所謂納稅資格ヲ與ヘル選舉權ノ擴張ト相成ルナラバ、コレニ對シテハ滿場ノ委員ニ於テハ異議ハ更ニナカッタヤウデアアルデアリマス

(議長長谷場純孝君退席、副議長肥塚龍君議長席ニ著ク)

○植場平君 併ナガラ此場合ニ於テ附加稅率ヲ定メテ一種ノ增稅トデモ申ス嫌ノアルベキモノヲ探ルト云フコトハ如何デアラウカト云フ議論モアツタ、コレカラモウ一ツ御議論ハ賣藥營業稅ヲ直接國稅ニナスト云フコトニハ異議ハナイガ、其未ダ改メザル以前ニ於テ附加稅法ヲ定メルト云フコトハ甚ダ手續ガ順序ヲ缺イテ居リハセヌカ、先ヅ賣藥營業稅ナルモノヲ直接國稅ニ編入セシメテ、然後此案ガ出ルノガ順序デアラウト思フト云フ御議論モアツタデアリマス、段々御議論ノ未成程今日ノ場合ハ諸君ノ公課ノ重キ負擔ヲシテ居ル場合デアリマス、是等ノ稅ヲ更ニ取ルト云フコトニスルノハ成ベク避ケネバナラス次第デアルケレドモ、元來此營業稅ナルモノガ直接國稅ニ編入スル以上ハ此法案ノ必要ト云フコトハ無論ノコトデアルカラ、之ニ修正ヲシテ同意スルト云フコトニ致シタラドウデアルカト云フコトニナツタ、コレデ御手許ニ差上ゲテゴザイマス報告書ニモゴザイマス通り、修正ヲ致シタルデアリマス、其修正ハ北海道及府縣ハ賣藥營業稅ニ對シテ本稅ノ「百分ノ五以內」トアルヲ「百分ノ三以內」トシ「五」ヲ「三」ニ改メタルデアリマス、ソレカラ市町村及北海道沖繩ノ區ハ賣藥營業稅ニ對シテ本稅ノ「百分ノ十以內」トアルヲ「百分ノ五」ニ改メタルデアリマス、斯ク致シテ此本案ハ委員會ノ方ノ贊成ヲ得テ可決致シマシタ次第デアリマス、此旨報告致シマス、次ハ日程第十一デアリマス、砂糖消費稅織物消費稅等ノ徵收ニ關スル法律案デアリマス、本案ハ關稅法律ノ改正ニナリマシタ結果トシテ提出ニナリマシタデアリマス、故ニ大シタ議論モゴザイマセナツダガ、第三條ニ於テ少シ其議論ノアツタ譯デゴザイマスカラ、御紹介致シテ置カウト思ヒマス、第三條ノ砂糖消費稅法、織物消費稅法、石油消費稅法、又ハ骨牌消費稅法ニ

依リ税金ヲ徵收スルモノハ是ハ勿論輸入稅ヲ徵收スルノデアルカラ、法ニ依テ徵收スルト云フコトヲ明カニシタノデ、ツレカラ此申上ゲタ場合ヲ除ク外所謂密輸入ヲシタ場合ノコトガ規定ヲ缺イテ居ル、法ノ不備ニナリテ居リマス。此場合ハ勅令ヲ以テ規定ヲ定メルト云フコトニナリテ居ルノデゴザイマス、サウシテ其勅令案ヲ取寄セテ見マシタコトガ、是亦極ク單純且簡明ニ出來テ居ルノデゴザイマス、別段差支ナイヤウニナリテ居リマス、故ニ本案ハ審議ノ結果滿場一致ヲ以テ原案ニ可決致シタ次第アリマス、此旨ヲ御報告申上ゲマス。

○副議長(肥塚龍君) 日程第九、關稅法中改正法律案ヲ議題ニ付シマス
○菅原傳君 本案ハ直ニ二讀會ヲ開キ、三讀會ヲ省略シテ委員長ノ報告通り確定セラレンコトヲ望ミマス
〔贊成々々〕ト呼フ者アリ

○綾部惣兵衛君 私ハ通告ガシテアル

〔賣藥ハ第十ダ〕ト呼フ者アリ

○副議長(肥塚龍君) 日程第十ガアナタノ通告ニナリテ居ルノデアリマス、唯今ハ第九ダス。然ラバ菅原君ノ直ニ二讀會ヲ省略シテ三讀會ヲ開クニ御異議ハゴザイマセヌカ(笑聲起ル)

〔異議ナシ異議ナシ〕ト呼フ者アリ

關稅法中改正法律案

確定議

○副議長(肥塚龍君) 然ラバ日程第九關稅法中改正法律案ハ二讀會ヲ開キ、委員長報告通り確定致シマス。次ハ日程第十、賣藥法中改正法律案ヲ議題ト致シマス。綾部惣兵衛君

第十 賣藥稅法中改正法律案

第一讀會ノ續

〔綾部惣兵衛君登壇〕

○綾部惣兵衛君 諸君私ハ賣藥稅法中改正法律案ニ對シマシテ政府ノ提出シタル案ニモ委員長ノ報告ニモ反對ヲスルモノデゴザイマス、此賣藥稅法中改正法律案及關稅法中改正法律案及砂糖消費稅織物消費稅ノ徵收ニ關スル法律案ニ付キマシテハ、共ニ同一ノ委員ニ付託ニナリテ居リマシテ、自分モ委員ノ一人ト致シマシテ、九ノ日程及十一ニハ全然同意ヲシタノデゴザイマス、此反對ノ理由ニ付キマシテハ先刻委員長ヨリ御報告ノトキ反對ヲスルノデゴザイマス、此反對ノ理由ニ付キマシテハ先刻委員長ヨリ御報告ノトキニ其大要ヲ委員長カラ報告サレテ居リマス。餘リ私ハ諄々シイコトハ申シマセヌ、此賣藥ハ諸君モ御承知ノ通り衛生上最モ必要ナルモノコトノ品デゴザイマシテ、吾々ハ相成ベクハ斯様ナル代物ハ稅ヲ高クシタクタイノデアアル、成ベク斯様ナル品物ニ對シテハ出來得ル限り廉價ノ稅ヲ課シテ、而シテ多クノ人ニ衛生上ノ便宜ヲ與ヘテヤリタイト云フ考ヲ持ッテ居ルノデアアル、所ガ此賣藥ト云フモノニ付キマシテハ從來定價ニ對シテ一割ノ印紙ヲ課シ居ルニ賣藥營業稅ナルモノガアリマシテ、約一割ノ稅ヲ課シテ居ルノデゴザイマス、此印紙稅ト賣藥營業稅トヲ合算致シマス。云フト、一割ノ稅ヲ課セラレテ居ルノデアアル、即チ十錢ノ定價ノモノニ對シテハ一錢課稅ヲセラレテ居ル、二割ノ稅ヲ課セラレテ居ルノデアアル、隨分重イトコロノ稅デアル、若シ賣藥ガ化粧品其物ノ如ク奢侈品デアルナラバ二割ノ稅三割ノ稅モ萬已ムヲ得ナイカ知リマセヌ、彼ノ化粧品ニ課稅セザル今日ニ於テ、此賣藥ニ對シテ二割ノ稅ヲ課スト云フコトハ既ニ中産以下ノ人ノ衛生上ニ取テ大ニ妨害ヲ與ヘテ居ルノデアアル、然ルニ此賣藥ニ對シテ又ニ附加稅ヲ課セントスルニ至テハ本員反對スルノ已ムヲ得ナイノデアアル、此附加稅ナルモノハ從來全國ニ於

テ僅ニ四五ノ土地ニ於テノミヲ實行シテ居タノデアアル大阪府及高知縣ノ中村町、和歌山縣ノ新宮町、廣島市、富山市、此五箇所ヨリ外ニハ今日マデ附加稅若クハ特別稅トシテ課稅シテ居ル所ハナイノデアアル、而シテ其課稅ノ最モ高キモノハ大阪府デアル、大阪府ハ百分ノ十二ヲ課稅シテ居ルノデアアル、政府ノ提出シタルコトノ案ニ依リマス。云フト、府縣ニ於テ本稅ノ百分ノ五以內ノ附加稅ヲ課スルコトガ出來ル、市町村及北海道沖繩縣ノ區ハ本稅ノ百分ノ十以內ヲ課スルコトヲ得、斯様ニ原案ガ出テ居ルノデゴザイマス。カラ、若シ之ヲ最モ高キ現今ノ大阪府ニ於ケルコトノ課稅ト較ベマシテ一方ハ百分ノ十五、一方ハ百分ノ十五ニナル、一方ハ十二、斯様ナ現在ノ大阪府ノ稅額ニ比較シマス、原案ハ三分率ガ高クナル、修正案ニ依リマス。云フト現在ノ大阪府ノ稅額ハ稍廉クナリマス、免モ角モ全國ニ今マデ賣藥稅ノ特別稅、若クハ附加稅ト云フヤウナモノヲ課シタ所ハ唯今申上ゲタ土地以外ニナイノデアアル、然ルニ此度更ニ此改正案ヲ決議シマシテ、之ヲ實行スル場合ハナリマス。唯今マデ、此附加稅若クハ特別稅ヲ掛ケナイ所ニ於テモ、皆之ヲ課稅スルコトニナリテ居ル、其結果從來ノ印紙稅若クハ賣藥營業稅ノ外ニ重キ負擔ヲ賣藥ハシナケレバナラヌト云フ結果ニナリテ來テ、賣藥營業者ニ取ッテハ大ナル打撃ヲ與ヘルノデアアル、管ニ之ガ賣藥營業者其者デナイ、國民ノ衛生上ニ取ッテ尠カラザルコトヲ害ヲ與ヘル結果ト相成ルデアラウト本員ハ信ズルノデアアル、併ナガラ此發案者ノ意見ハ斯様ナコトヲ言フノデアアル、選舉權ヲ擴張スル結果トシテ、諸リ選舉權ヲ賣藥營業者ニ與ヘルタメニ、此從來ノ賣藥營業稅ヲ直接國稅ニ引直ス其結果茲ニ附加稅ヲ一ツ極メ置ク必要ガアル、是ガ發案者ノ理由デアルケレドモ、若モ直接國稅ニスルト云フナラバ、此點ニ於テハ敢テ本員ハ反對スル譯デナイ、直接國稅ニシテ之ヲ實行シテ而シテ後ニダ、各府縣ニ於テ附加稅ヲ無暗ニ課スル場合ニ於テ制限法ヲ設ケルト云フナラバ宜イノデス、所ガ今日現在ハ附加稅ト云フモノヲ課シテ居ラスノデアアル、僅ニ四五箇所シカ課シテ居ラスノデアアル、此以外ハ特別稅若クハ附加稅ガナイノ拘ラズ、此度ノ制限法ヲ茲ニ法律トシテ出シタ以上ハ無イ兒ニ智惠ヲ教ヘテ全國一般ニ此附加稅ヲ課スト云フ結果ニナリテ來ル、而シテ此率ノ範圍ニ於テ一般ニ掛ケテ來ルコトニナル、此ノ如キハ詰リ一方ニ當局者ハ選舉權ヲ與ヘ、若クハ制限ヲ與ヘテ課稅ヲ輕クスルト云フ恩典ヲ與フルガ如ク、見セカケテ、附加稅ヲ獎勵スルモノデアル、賣藥ニ重キ稅ヲ課シテ營業者ノ發達ヲ阻害シ、國家ノ衛生ニ害ヲ與ヘルノデアアル、私ハ斯様ナ意味ニ於テ反對スルノデアアル、若シ假リニダ之ヲ當局者ノ説明ノ如クスレバ、或一部ノ賣藥營業者ガ選舉權ヲ得タイト云フコトヲ先年出願シタ結果トシテ出シタ如ク説明サレテ居リマスガ、本員ノ聞クトコロニ依レバ是ハ富山市ノ或一部ノ賣藥營業者ガ其當時希望シタノデアアル、富山縣全體デハナイノデアアル、富山縣ニ於テモ郡部ニ於テハ絕對ニ反對ノヤウデアル、尙又私ノ見ルトコロニ依リマス。レバ其他ハ全然反對デアル、現ニ東京市ニ於ケルトコロノ賣藥營業者ノ如キハ此コトニ付テハ反對ノ請願書ヲ出シテ居ル事實ガアルノデアアル、尙之ヲ賣藥營業者ノ實際ニ就テ見マス。モ、賣藥營業者ノ多クハ副業デアル、藥種商ノ傍ニ之ヲ賣藥居ル者モアラウ、藥劑師ノ傍ニ營業シテ居ルモノモアラウ、其他種々ノ營業ノ傍ニ副業トシテ居ル者ガ多イノデアアル、而シテ選舉權ハ多クハ其本業ニ於テ持ッテ居ル、又ハ地方ニ於テハ自分ノ所有シテ居ル土地其他ノ財產ニ於テ直接國稅ヲ持ッテ居ルガ故ニ、其事實ニ於テハ毫モ選舉權ニ於テハ差支ハナイノデアアル、所ガ此案ヲ出スニ當ッテ選舉權云々ヲ利用スルノ重ニ或一部ノ營業者ノ中ノ或一部富山市ノ或一部ノ者ガ選舉權ヲ得タイガタメニ希望スルノデ、是ガタメニ全國ノ同業者ノ不利益ニナルコトヲ議決シ、而シテ多クノ人ノ衛生上ニ益スルコトヲ賣藥ノ價ガ高カラシムルト云フコトハ本員甚ダ遺憾トスルトコロデアル、私ハ此場合ニ於テ以上ノ理由ヲ以テ一言反對

ヲ述ベテ置キマス(拍手起ル)
○副議長(肥塚龍君) 上埜安太郎君

(上埜安太郎君登壇)

○上埜安太郎君 諸君、私ハ此問題ニ對シマシテハ委員長ノ報告ニ賛成スルモノデアリマス、唯今綾部君ノ御反對ガアリマシタカラ一言簡單ニ此案ニ賛成致シマスル理由ヲ述ベタイト思ヒマス、此案ハ賣藥者ニ向テ選舉權ヲ與フル準備ノタメニ提出サレタノデアリマス、而シテ此選舉權ヲ賣藥者ニ他ノ國稅納稅者ト同様ノ權利ヲ與ヘルト云フコトハ至極公平ナコトデアッテ、諸君ニモ異議ノナイコトデアラウト思ヒマス、殊ニ昨年ノ議會ニ於テ富山縣賣藥同業組合ヨリ 唯今ハ富山縣ニ反對ガアルヤウニ綾部君ガ申サレマシタケレドモ、是ハ富山縣ノ賣藥同業組合カラ成立テ居ルコトコロノ其組合カラ請願ヲ致シタノデアリマス、是非納稅ニ伴フコトノ權利ヲ付與シタイト云フ請願ヲシタノデアリマス、請願委員會ニ於テハ重大ナル案ト致シマシテ、殊ニ特別委員ヲ設ケテ調査ヲサレマシタ、國民黨ニ屬セラルコトコロノ武田貞之助君ノ如キ熱心ナル御賛成ガアリマシテ、遂ニ是ガ採擇トナリ、遂ニ本會ニ於テモ滿場一致ノ採擇トナッタノデアリマス、而シテ議長ヨリハ政府ハ此意見ヲ送付セラレテ、政府ハ其意見ヲ容レテ此案ヲ提出サレタモノデアルト私ハ思フノデアリマス、而シテ此賣藥者ニ權利ヲ與ヘマスルニハ、賣藥營業稅ヲ國稅ノ中ニ加ヘニヤナラヌノデアリマス、國稅ノ中ヘ加ヘマスレバ自然ノ結果ト致シマシテ多大ナルコトコロノ課稅ヲセラル、ノデアリマス、故ニ唯今綾部君ノ述ベマシタ如ク賣藥ハ隨分重大ナル重イトコロノ稅ヲ負ウテ居ルノデアリマス、此上サウ云フ重イモノヲ課シテハ不適當デアルトセラレテ即チ賣藥者保護ノタメニ此制限案ヲ出サレタモノデアルト私ハ思フノデアリマス、併ナガラ此制限案ハ私ハ満足ヲシテ居ラヌノデアリマシテ、ヤハリ過重ト思フノデアリマス、唯今委員長ノ報告サレタ如ク府縣ニ於テ百分ノ二、市町村ニ於テ百分ノ五ト云フ修正ガ甚ダ適當ナモノト信ジテ是ニ賛成シテ居ルモノデアリマス、又唯今綾部君ハ此權利ヲ得テモ、是ハ富山縣ノ富山市ノ一部ノ者ガ權利ヲ得ル外ノ者ハ副業ヲシテ既ニ權利ヲ得テ居ルカラト云フノデアリマシタケレドモ、私ハ決シテサウデナイト考ヘルノデアリマス、成程富山市ノ如キ專業ノ者ハ更ニ權利ヲ得マセウ、其他ノ兼業ノ人ニ於テハ既ニ權利ヲ得テ居ル、市町村會議議員ノ選舉ノ權利ヲ得テ居ルト云フ者ガ賣藥ノ權利ガ更ニ得ラレタメニ郡會議議員ノ選舉ノ權利ガ出來ル、又郡會議議員縣會議議員ノ選舉權ヲ得テ得ル者ガ、此賣藥ノタメニ權利ヲ得タガタメニ、衆議院議員ノ選舉權ヲ得ルコト云フコトニナリマシテ、一段々進ミマスカラ私ハ是ハ選舉權ノ擴張案デアルト信ズルノデアリマス、綾部君ノ言ハレタ如ク獨リ富山ノ者ノ利益ヲ得ルモノデアリマセウ、全國一般ニ是ハ及ブノデアリマス、而シテ綾部君ハ大層仰山サウニ論ゼラレマシタケレドモ、此修正案ノ極點マデ課稅スルモノト假定致シマシテモ、漸ク全國ニ於テ一万八千圓餘ノ金ガ殖エルケコトデアリマス、非常ニ何ンダカ大キイヤウニ綾部君ハ論ゼラレマシタケレドモ、僅ニ課稅ノ極點マデ取リマシテ一万八千圓ノ金デアリマス、左様ナ重イ問題デハ私ハナイト考ヘルノデアリマス、而シテ又茲ニ能ク考ヘナケレバナラヌコトハ現在ニ於キマシテ、綾部君ガ述ベラレタ如ク、既ニ大阪、廣島、和歌山其他ニ於テモ現ニ課稅シ、現ニ賣藥業者ニ特別ノ課稅ヲ居ルノデアリマス、現在ニ於テモ內務大藏兩大臣ノ認可ヲ得マシタナラバ百分ノ五十マデ是ニ課稅スルコトガ出來ルノデアリマス、唯今日マデ氣ガ付カズ、或ハ世ノ人ガ忘レテ居タノデアリマス、然ルニ斯ウ云フ問題ガ現ハレマシタ以上ハ賣藥業者カラ取テ宜シト云フコトニ氣ガ付タ以上ハ、課稅シテ宜イノデアリマス、極度マデヤラレタナラバ百分ノ五十マデ取ラレルノデアリマス、ソレデハ賣藥業者ト云フモノハ堪タモノデアナイノデアリマス、政府モ茲ニ此制限ヲ置イテ賣藥

業者ヲ保護シナケレバナラヌト云フコトヲ又私ハ深ク信ジテ居ル次第デアリマス、又政府ニ一言致シタイノハ政府ハ此修正ヲ以テ當席デハ御答ガアリマセヌケレドモ、委員會ヲ傍聽致シマシタトキニ、此修正ナレバ收入ヲ減ズルガ故ニ、現ニ徵收シテ居ル處ガ困ラデアラウト云フコトノヤウニ私ハ聽取ツタノデアリマス、左様ナ心配ハ又私ハ無用デアルト思フ、大阪ノ如キハ現在如何ホド附加稅ヲ取ツテ居ルカト言ヘバ千六百十五圓、廣島ハ僅ニ二百十圓、和歌山ハ五十二圓、ホソノ些細ナモノデアリマス、之ヲ全部取ラントシテモ、是等ノ地方ニ於テハ何ノ影響モナイト云フコトハ明カナルコト、信ジマスカラ、ドウゾ政府ニ於テモ此修正案ニ御同意アラシコトヲ切ニ希望シマス

○菅原傳君 討論ノ終結ノ動議ヲ提出致シマス

○副議長(肥塚龍君) 討論終結ノ動議ニ御異議ハアリマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○副議長(肥塚龍君) 然ラバ討論終結致シマス——直ニ日程第十二讀會ヲ開ク

○菅原傳君 直ニ二讀會ヲ開キ、三讀會ヲ省略シテ委員長報告通リ確定セラレンコトヲ望ミマス

(「贊成ト呼フ者アリ」)

○副議長(肥塚龍君) 三讀會ヲ省略シ二讀會ニ於テ確定ト云フコトニ御異議ハアリマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○副議長(肥塚龍君) 然ラバ日程第十八ハ委員長報告通リ確定致シマス(「反對ガアリマス」ト呼フ者アリ) 反對ガアリマシタカラ是ハ反對ノ決ヲ採ラナケレバナラマセウ、綾部君ヨリ反對ノ意見ヲ出サレタデアリマス、此反對說ノ決ヲ採リマス、即チ本案ヲ廢案スベシトスル委員長報告ニ反對、是ニ御同意ノ方ハ起立ヲ請ヒマス

起立者 少數

○副議長(肥塚龍君) 少數デアリマス、委員長報告通リ御異議ハアリマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○副議長(肥塚龍君) 然ラバ委員長報告通リ三讀會ヲ省略シテ確定ト致シマス——ツレカラ次ハ日程第十一、砂糖消費稅織物消費稅等ノ徵收ニ關スル法律案ヲ議題ト致シマス

第十一 砂糖消費稅織物消費稅等ノ徵收ニ關スル法律案

○菅原傳君 本案ニ對シテハ別ニ御議論モナイヤウデスカラ、直ニ二讀會ヲ開キ、三讀會ヲ省略シテ委員長報告通リ決定セラレンコトヲ願ヒマス

○副議長(肥塚龍君) 菅原君ノ發議通リ別ニ御異議ハアリマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

砂糖消費稅織物消費稅等ノ徵收ニ關スル法律案 確定議

○副議長(肥塚龍君) 然ラバ二讀會ヲ開キ、三讀會ヲ省略シテ確定ト致シマス——次ハ日程第十二、東京市區改正條例中改正法律案 委員長戸水寛人君

第十二 東京市區改正條例中改正法律案

第一讀會ノ續 (委員長)

(法學博士戸水寛人君登壇)

○法學博士(戸水寛人君) 諸君、東京市區改正條例中改正法律案、是ニ付テ一言申シマス、是ハ市區改正ノタメニ支出シ得ベキ金額ヲ從前ノ二倍トスル案デアリマス、委員會ニ於テハ全會一致ヲ以テ可決致シマシタ、此段御報告致シマス

○菅原傳君 本案ハ極メテ簡單ナヤウナ案デアリマス、直ニ二讀會ヲ開キ、三讀會ヲ省略シ、委員長報告通リ決定セラレンコトヲ望ミマス

○副議長(肥塚龍君) 菅原君ノ御發議ニ御異議ハアリマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

東京市區改正條例中改正法律案

確定議

○副議長(肥塚龍君) 然ラバ本案ハ二讀會ヲ開キ、委員長報告通リ即チ原案ノ通リ確定ト致シマス

○菅原傳君 此場合日程變更ノ動議ヲ提出致シマス、日程ヲ變更シ、朝鮮銀行法案ニ對スル特別委員長報告及直ニ之ヲ議題ニ供セラレンコトヲ望ミマス

(「贊成」ト呼フ者アリ)

○副議長(肥塚龍君) 日程變更ノ動議ニ御異議ハアリマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○副議長(肥塚龍君) 然ラハ日程ヲ變更シテ朝鮮銀行法案ノ一讀會ノ續ヲ開キマス

委員長野田卯太郎君

朝鮮銀行法案(政府提出)

第一讀會ノ續 (委員長)

(野田卯太郎君登壇)

○野田卯太郎君 朝鮮銀行ノ委員會報告ヲ致シマス、本案ハ多少ノ修正ヲ致シテ可決致シマシタ、其修正ハ御手許ニ配付シテ置キマシタカラ略シテ宜シケレバ略シタイト思ヒマス(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)此理由ハ主ナル事項デアリマス、條項ト云フ方ガ宜シウゴザイマセウ、是ハ政府ガ直接ニスル方ガ宜イト云フ理由ヲ以テ第三條、第四條、第九條、第二十八條ハ其理由ヲ以テ修正致シマシタ、第二十七條ハチヨット辯明シテ置キマス、是ハ文字ノ修正デアリマシテ、趣意ニ於テハ政府案ヲ贊成シタ譯デアリマス、是モ配付シテアル通リノコトデアリマスガ、原案ニハ「株主ニ對スル利益配當額カ一年拂込資本ニ對シ一年百分ノ十二ノ割合ヲ超過スル時ハ朝鮮銀行ハ該超過額ノ二分ノ一ヲ政府ニ納付スヘシ」斯ウシテアリマスガ、此拂込額ニ對シ是ニハ「百分ノ十二」トアリマスガ、一割二分ヲ配當シテ其上ニ配當スルトモ「百分ノ一」ヲ政府ニ納メルムカト言ヘバ、サウデハナシ、總テノ利益——純益ノ中ヨリ法定積立ナシ、重役ノ賞與ヲナシタ其殘リヲ此拂込金額ニ割當テ一割二分以上ニ當ルトキハ配當ノ如何ニ拘ラズ二分ノ一ヲ納附サセルト云フ意味デアルト、斯ウ政府ガ申シマスカラ、ソレデハ文字ガ惡ルイ、ソレヲ修正シテ「株主ニ對シ配當シ得ヘキ利益金額カ」ト斯ウ修正シテゴザイマス、アトハ何モゴザイマセヌカ、今申シタ理由ヲ以テ修正ヲ致シマシタ、是ハ滿場一致ヲ以テ委員會ハ

通過致シマシタ(「ノウ」ト呼フ者アリ)ドウカ御贊成アラントラ希望シマス、而シテ此修正ノ外ニデス、ノウト云フ早速君カラ修正ノ意見ガアリマス、ソレカラ富田君ニモアリマス、併ナガラ多少數デ潰レテ居リマスカラ、此段御報告申シテ置キマス

○早速整爾君 議長……

○副議長(肥塚龍君) 早速君修正意見デスカ、二讀會ヲ開クト云フコトヲ決シテカラ直ニ二讀會ヲ開クニ御異議ハアリマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○副議長(肥塚龍君) 然ラハ直ニ二讀會ヲ開キマス——早速整爾君

朝鮮銀行法案

第二讀會

(早速整爾君登壇)

○早速整爾君 此朝鮮銀行法案ニ對シマシテ唯今委員長カラ修正ノ御意見ガゴザイマシタ、其中テ數箇條ニ互リマシテ此「朝鮮總督」ト云ヘル文字ヲ「政府」ト改メルト云フ御修正ガアツデアリマス、此朝鮮總督ノ文字ヲ改メラレマシタル理由ハヤハリ此銀行ノ業務ノ監督上朝鮮總督ニ之ヲ一任スルヨリモ、政府ノ監督ノ下ニ置ク方ガ得策デアルト考ヘテ、修正ヲセラレタデアラウト思フノデゴザリマス、此點ニ於キマシテハ勿論此委員會ノ修正意見ハ誠ニ御尤モデアルガ、唯何故ニ此主義ニ於テ他ノ箇條ニ於ケル修正ヲ加ヘラレナカッタカト云フコトヲ疑フデアリマス、此法律案中「朝鮮總督」ノ文字ハ各條ニ互リマシテ居ラレテ居ルデアリマス、其中ニハ勿論其文字ヲ必ズ改メナケレバナラスト云フ其必要ヲ感ズナイ點モ多イ、併ナガラ委員會デ修正ニナリマシタル主義ノ上カラ申シマスルト、唯アノ數箇條ヲ修正ノコトニ止マリマシテハ此法律案ハ不具ニナル、尙改ムベキ點ガ多クアルノデゴザリマスカラシテ、私ハ茲ニ簡單ニ申述ベマスルガ、第二條ニ於ケル「朝鮮總督」ノ文字ヲ改メタイ、ソレカラ第十條——イヤ、第十條ハサウデハゴザイマセヌ、第十七條ニ於ケル此「朝鮮總督」ノ文字ヲ改メタイ、ソレカラ第十八條、並ニ第二十條ニ於ケル文字モ「政府」ト改メタイ、ソレカラ二十一條モ同ジデアリマス、二十二條ニ至リマシテハ此第二項ニ於テ後ノ分ノ「朝鮮總督」ハ委員會ニ於テ「政府」ト改メラレタノデゴザイマスルガ、前ノ分ノ「朝鮮總督」ト云フ文字ガ其儘ニナツテ居リマスカラシテ、是モ「政府」ト改メタイ、ソレカラ二十五條ノ「朝鮮總督」ノ文字モ是モヤハリ「政府」ト改メタイ、ソレカラ二十九條、三十條、三十一條、三十二條 此各條ニゴザリマス「朝鮮總督」ノ文字モ同ジク之ヲ改メタイト思フノデアリマス、是ハ先刻モチヨット申シマシタルガ如ク委員會デ修正ニナリマシタル主義ヲ擴張スルデアル、委員會ノ修正ニナツタ主義ニ從ツテ此各條ノ文字ヲ修正致サナケレバ折角ノ委員會ノ御修正ト云フモノ、趣意ヲ貫クコトガ出來ナイト思フカラデアル、財政上ノ統一ヲ期シマスルタメニ、金融機關ノ統一ヲ期シマスルタメニ、免ニ角此銀行ニ對スル監督、ソレカラ銀行ノ總テノ此業務ヲ支配スルモノハ成ルベク之ヲ一ニ歸セシムルト云フ必要ガアル、一方ハ日本ノ政府ガ監督ヲスルト云フハナガラ、他ノ一方ニ於キマシテハ朝鮮總督ノ權限ヲ以テ之ヲ支配スルト云フコトニ相成リマシテハ銀行ノ監督上決シテ其統一ヲ期スル譯ニハイカナイデアル、勿論些々タル事柄ニ關シマシテハ何レニナツテモ差支ハナイデアル、從來此特種銀行ニ對スル法律ノ規定ハ、或場合ニハ主務大臣トアリ、或場合ニハ政府トアル、今回委員會ノ修正ハ外ノ臺灣銀行ナドニアルトコロノ「政府」トアルトコロハ之ヲ「政府」ト改メテ、外ノ銀行法ニ

アル「主務大臣」ト云フコロハ「朝鮮總督」ト云フ文字ヲ其儘ニ使シテ云フヤウ
ナ意味ニ相成リテ居ルノデゴザイマセウガ、併ナガラ是ハ「主務大臣」トゴザイマスレハ銀行
ノ監督上ニ差支ナイ、「政府」トゴザイマシテモ「主務大臣」トゴザイマスレハ左程ノ差支ヲ
見ナイノデゴザイマスガ、一方ニハ「政府」トアリ、他方ニハ「朝鮮總督」トゴザイマスレハ、此
金融機關ノ統一ヲ圖ル上ニ於キマシテハ非常ナル差支ヲ生ズルコト、私ハ思フノデア
例ハ此委員會ノ意見ニ依テ二十二條ニ於テ「朝鮮總督」ヲ文字ヲ改メラレタ
行稅ノ歩合ヲ定メル場合——割合ヲ定メル場合ハ朝鮮總督ノ命ズルコトニ依ル
タノヲ「政府」ト改メラレタノデア、然ルニ此銀行券ノ制限外ノ發行ヲ許ス場合ハ
誰ガ許スカト云フト朝鮮總督ガ之ヲ許スト云フコトヲ其儘認メラレテ居ル、制限外ノ發
行ヲ許スト云フコトヲ其權利ヲ朝鮮總督ニ與ヘテ置イテ、唯其發行稅ノ割合ヲ定
ト云フコトニミテ政府ノ權限ニ歸セラレト云フコトハ如何ニモ此委員會ノ修正ガ鈞
合ヲ得テ居ラス、委員會ノ修正ト云フモノガ全ク不具ニナッテ居ル、其他營業上ノ不法
ヲ制止スルコトカ、或ハ銀行券ノ割引法利子歩合等ノ制限ヲ定メルコトカ、國債證券等
ノ買入ヲスルコトカ、或ハ一般ノ此規定外ノ業務ヲ定メル法律ニ記載シテアル以外ノ業務
ヲ此朝鮮銀行ニ營業マシムルコト云フヤウナ是等ノ規定ト云フモノハ總テ朝鮮總督ガ勝手ニ
出來ルコトニナッテ居ル、一方ニハ業務監督ヲ政府ニ一任スルコト云フ修正ヲシナガラ、唯
今申シマスル如ク此營業上ノ總テ監督ニ關係アルモノハ依然トシテ朝鮮總督
ノ權限ニ一任スルコト云フコトニ相成リマシテハ是コソ銀行法ノ——朝鮮銀行法ノ統一ト
云フコトヲ保ツコトガ出來ナイノデア、私ハ朝鮮銀行ハ朝鮮ニ於ケル特種ノ銀行トシテ
當分ノ間ハ之ヲ設立スル必要アリト認ムルモノデゴザイマスルガ、併ナガラ日本ノ此國
中ニ帝國ノ中ニ設立セラレル銀行ト致シマシテハ、ドモ此財政上ノ統一ヲ期スル
メニ成ベク之ヲ監督スル頭ハ之ヲ一ツニシテ論者アル然ルニ、折角委員會ハ統
一ヲ認メテ——統一ノ必要ヲ認メテ「朝鮮總督」ヲ文字ヲ改メニ拘ラズ、其
改方ガ足ラナイ、修正ガ不足ナル（簡單ナ）ト呼フ者アリ）主ナル點ニ於テ修正
ガ不足デゴザイマスルカラシテ、委員會ノ決定セラレタコロノ主義ヲ擴張致シテ、サウ
シテ此擴張ニ於ケル「朝鮮總督」ヲ文字ヲ重ナル點ニ於テ總テ之ヲ「政府」ト改メマシ
テ、サウシテ此銀行ノ監督ノ統一ヲ保チ、帝國ノ財政上ノ統一ヲ保チ得ルヤウニ致シ
ト思フノデゴザイマスル想フニ此事ハ政府ト雖モ御異存アルベキ筈ハナイ、金融機關ヲ監
督スル上ニ於キマシテ不統一ヲ其儘ニスルコト云フコトハ政府トシテモ決シテ之ヲ得策ト
ハ認メラレナイノデゴザイマスルカ、本員ノ修正ニ對シテハ實ハ政友會ノ諸君ト雖モ御異
存アルベキ筈ハナイト私ハ思フノデゴザイマス、諸君ノ御同意ヲ求メマス（拍手起ル）

（西村丹治郎君登壇）
（拍手起ル）

○西村丹治郎君 私人委員長ノ報告ニモ贊成シ、唯今ノ早速君ノ御修正ニモ贊成
スル一人デアリマス、尙更ニ一ツノ修正ヲ茲ニ提出シテ皆様ノ御贊成ヲ仰ギタイト思ヒ
マス、ソレハ第二十二條ニ於ケル保證準備發行高ノ三千万圓トアルノヲ二千万圓ト修
正致シタイト云フ意見デアリマス、私ハ政府ガ現在ノ韓國銀行ニ規定シテアルコロノ
保證準備發行高ノ二千万圓ヲ一時三千万圓ニサレト云フコトニ付テハ何カ此間ニ
秘密ガ蟠ッテ居リハセヌカト云フコトヲ疑フ一人デアリマス、ソレ故ニ此疑ヲ質シテ皆様ノ

御判斷ヲ煩シタイト思フデアリマス、極ク簡單ニ述ベマスルガ、保證準備ノ發行高ト
云フモノハ如何ナル程度ニ定ムベキカト云フコトハ、頗ル是ハ重要ナル問題デアルト思ヒ
マス、學者ハイロ／＼ナコトヲ申シテ居リマスケレドモ、私ノ考ヘマスルトコロハ詰リ朝
鮮ニ於ケル紙幣ノ需用高ハ幾何デアルカト云フコトヲ見テ、朝鮮ニ於ケル紙幣需用高ノ
最低度ヲ標準トシテ、ソコニ此保證準備發行制限高ヲ定メルノガ適當デアルト思フ、而
シテ朝鮮ニ於ケル目下ノ紙幣流通高ハイクラデアアルカト申シマスレバ、昨年十二月末日
ノ發行高ト云フモノハ二千万圓内外ヲ上下シテ居ルデス、然ラバ朝鮮ニ於ケル目下ノ
紙幣需用高ト云フモノハ二千万圓内外ト見ルノガ最モ適當デア、然ラバ朝鮮ニ於ケ
ル朝鮮銀行ノ保證準備發行高ト云フモノモ此今ノ流通高ノ最高度ヲ標準トシテ定
メテモ、マダ私ハ多イ位ニ思フノデア、併ナガラ現在ノ韓國銀行條例ニ二千万圓トナッ
居リマスカラ、即チ此二千万圓ニ修正シタノガ適當デアラウト思フ、外國ノ例ヲ見マスル
ノニ英蘭銀行ノ如キ、アレダケ大ナル銀行デアッテモ——殆ド世界ノ金融機關ト云ハレ
ル位ナ銀行デスラ、其保證準備發行高ト云フモノハイクラデアアルカト云ヘバ、僅ニ千八百
四十五萬磅ニナッテ居ル、即チ一億八千四百五十萬圓ハカリ、ソレカラ獨逸中央銀行
ハイクラニナッテ居ルカト申シマスレバ、是モ四億五千萬圓ニナッテ居ル、更ニ日本ノ中
央銀行ノ發行制限高ハ、保證準備制限高ハイクラニナッテ居ルカト申シマス、僅ニ一
億二千萬圓デア、ソレカラ更ニ朝鮮ニ於ケル——朝鮮デアアリマセヌ、臺灣ニ於ケル
臺灣銀行ノ保證準備發行高ハイクラニナッテ居ルカト云ヘバ、僅ニ一千万圓デア、其儘
ニ一千万圓ニナッテモ諸君モ御承知ノ通り昨年ノ議會ニ於テ始メテナッテアル、昨
年前ハドウデアッタカト云フト、臺灣銀行ノ設立ヨリシテ昨年ノ四月頃ニ至ルマデハ、ヤ
ハリ五百萬圓ニ過ギナカッタノデア、而シテ臺灣ニ於ケル臺灣銀行ノ紙幣發行高ハ
クラデアアルカト申シマスレバ、正貨準備保證準備兩方合シテ詰リ臺灣銀行ノ紙幣發行
高ハ一千二百萬圓ヲ往來シテ居ル、一千二百萬圓ヲ往來シテ居ル、其流通高ガ
其位アルニモ拘ラズ此保證準備ノ發行高ハ五百萬圓ニ限定サレテ居タノデア、ソレガ
漸クニシテ昨年は一千万圓トナッテアル、併ナガラ尙臺灣ニ於ケルコロノ保證準備
紙幣流通高ハ一千二百萬圓アッテ、其保證準備發行高ヨリハ三百萬圓マダ上ニア
ル、二三百萬圓上ニアル位ナトコロニ定ッテ居ル、日本銀行ハドウデアアルカト云フト詰リ
保證準備發行高ハ一億二千万圓デア、一億二千万圓ナルニモ拘ラズ日本銀行兌換
券發行高ハ現在イクラデアアルカト云ヘバ、三億有餘萬圓ニナッテ居ルト確ニ記憶シテ居
リマス、現ニ昨年十二月末日ニハ確ニ四億萬圓ヲ凌駕シテ居ッヤウニ思フデス、時
シテハ四億萬圓ヲ凌駕シ、一番少ナイ時分デモ近來三億圓ヲ下ッタコトハナイノデア
マス、兌換券ノ發行高ハ其一番少ナイ時分ト雖モ二億圓ヲ下ッタコトガナク、多クハ四
億萬圓位デア、斯ク多大ノ兌換券ヲ發行スルニ拘ラズ保證準備ノ制限高ト云フモノ
ハ僅ニ一億二千万圓ニナッテ居ル、然ルニ此ノ如ク外國ノ事例ヲ見テモ、日本ノ日本
銀行ノ事例ヲ見テモ、臺灣ニ於ケル臺灣銀行ノ事例ヲ見テモ、免ニ角其區域其國家
ニ現在需用シテ居ルコロノ紙幣發行高ヨリハ更ニ多ク保證準備發行高ヲ定メテ居ル
ト云フ國ハ恐ラク一ツモ無イノデア、要ラナイトコロノ、其國ニ需用シナイ高ニ持ッテ行ッ
此保證準備ノ發行高ヲ置クト云フ國ハ朝鮮以外ニハ無イノデア、即チ今將ニ行ハント
スル此法案コソ要ラザルトコロノ金ヲ無暗ニ注込メントスルトコロノ法案デア、朝鮮ノ國

家ハドウナル、朝鮮ノ地域内デハ一昨年アタリハ僅ニ一千四百五十五萬圓ノ紙幣ヲ要シテ居タルニモアル、昨年末ニ至リテモ漸ク二千萬圓ニ足ルカ足ラナイカ位ノ紙幣シカ要求シナイノナル、朝鮮經濟社會ハ二千萬圓内外ノ紙幣ガアタラ是デ澤山ナルト云フコトヲ要求シテ居ルナル、然ルニ拘ラズ要求以上ニ茲ニ俄ニ二千萬圓モ多ク無理ニ之ニ向テテ前達ハ食ヘ、所謂是デケノモノハ是非發行シルト云フヤウナ此法案ヲ提出スルニ至ッテハ、私ハ何カ其間ニ一ツノ秘密ガ蟻デ居ルハナイカト云フノハ、即チ此故ナル、道路風説ヲ今同政府ハ朝鮮事業公債トシテ五千六百萬圓デアリマシタカ、其數能ク記憶シテ居リマセヌガ、確カニ五千幾百萬ノ金ヲ事業公債ヲ募ルト云フコトニナッテ居ル、ソコデ此事業公債ヲ募ルノ途ハ最早内地ニ於テ求ムルコトハ出來ナイ、ソレ故ニ朝鮮銀行ニ此發行高ヲ一千万圓増加シテ而シテ此朝鮮銀行ニ命令シテ所謂強制シテ此事業公債ノ募集ニ應ジサセヤウト云フ意味合カラシテ、斯ク増加シタノデアルト云フコトヲ道路風説シテ居リマス(拍手スルモノアリ)私ハ前來ノ理由ニ依ッテ如何ニ此風説ヲ辯護セントスルモ能ハズナル、朝鮮ノ經濟社會ニ何等要ラナイ金ヲ政府ガ無暗ニオ前ハ必ズ二千万圓マデハ保證準備ヲ高メタルカラ發行シロト云フヤウナコトヲ強ニ至ッテハ——強ニ至ッテハ此道路ノ風説確ニ眞ナリト云フコトヲ斷言スルニ私ハ憚ラナイノナル、ソレデ之ヲ事業公債ニ用ユルニシテモ何ニシテモ、私ハウシナコトハ一向構ハヌ、サウ云フ趣意デ殖ヤスノガ其趣意ノアルトコロハ何處ニアツテモ一向構ヒマセヌガ、此要ラサル一千万圓ノ兌換券ヲ朝鮮銀行ニ強制シテ發行セシメテ、之ヲ財政上ニ利用スルト云フ其結果ヲ見タナラバ、誠ニ私ハ寒心ノ至リニ堪エヌコト、思フノナル、何故ナレバ要ラザル貨幣此朝鮮ノ區域内ニ一千万圓投出シタナラバ、ドンナ結果ヲ呈スルカ、直ニ諸君物價ノ騰貴ト云フコトハ免レナイノナル、要ラザル金ヲ此經濟社會ニ一千万圓、所謂五割ノ要ラザル金ヲ朝鮮ノ流通社會ニ發シサシタナラバ、若シ之ヲ數理的ニ必ズ影響スルモノトスレバ、五割ノ物價騰貴ヲ來スト云フコトハ明カナル、併ナガラ直ニサウトハ申シマセヌガ、免モ角此ノ要ラザル一千万圓ノ經濟市場ニ向ッテ増發サシタ結果ハ直ニ朝鮮ニ於ケル經濟社會ニ一大打撃ヲ與ヘルモノナル、朝鮮ノ經濟及財政ノ紊亂ヲ惹起サシムルモノナルト云フコトヲ斷言スルニ私ハ憚ラナイノナル、ソレ故ニ願クハ此三千万圓ヲ二千万圓ニ減ズルト云フ提案ニ付テ切ニ皆様ノ御贊成アラソコトヲ御願致シマス次第デゴザイマス

○副議長(肥塚龍君) 粕谷義三君

(粕谷義三君登壇)

○粕谷義三君 唯今問題トナッテ居リマス朝鮮銀行法案ニ對シマシテハ委員會ノ修正即チ委員長ノ報告ニ對シマシテハ既ニ反對黨ノ諸君モ滿腹ノ同意ヲ表セラレテアリマスルカラ、之ニ對シテハ彼此辯ヲ費ス必要ハナイト思ヒマス、唯更ニ早速君及西村君ヨリノ御修正ガ提出ニナッテ居リマスカラシテ、此修正ニ對スル吾々ノ反對ノ意見ヲ茲ニ表明致シタイト思フノデアリマス、早速君ノ御修正ハ要スルニ政友會否ナ、委員會ニ於テ加ヘマシタトコロノ修正ガ物足りナイ、マデモツツ今ノ「朝鮮總督」ト云フコトノ文字ヲ「政府」ト換ヘタイ、斯ウ云フ御説デアル、誠ニ是ハ他愛モナイコトナル、一口ニ申シマシレバ程度問題デアル、早速君ノ御説ハ即チ程度問題否々ハ此法案ノ中ニ於テ最も重要ナリト認ムルトコロノモノヲ唯今委員長ノ報告ノ如クニ修正ヲ致シタノナル、然ルニ

早速君ノ修正ハ殆ド此法案ノ全部ニ互ッテ居ルト申シテモ宜シ位ナル、其一例ヲ此處ニ舉ゲテ申シマスレバ、第二條ニ於テ朝鮮總督ガ朝鮮ノ内ニ此朝鮮銀行ノ支店ヲ設ケルトカ、或代理店ヲ置クトカ、サウ云フ權能マデモ一々政府ノ認可ヲ受ケナレバナラヌト云フヤウナ御意見ノヤウニ承ルノデアリマス、早速君モ大體ノ吾々ノ修正ニ對シテハ反對ノ御意見ハナイノナル、唯早速君ガ憂ヘラレルトコロノモノハ、要スルニ斯ウ云フ點ニ歸著シテ居ルヤウニ思ハレル、諸君モ、修正ノ通りデハ甚ダ不安心ナル、金融機關ノ統一ノ上若クハ銀行監督ノ上カラ言ッテ、マデノ、斯様ナ修正デハ足りナイ、モツツ修正スル方ガ宜シイト云フヤウナ御懸念デゴザイマスルガ、決シテ是ハ御心配ニハ及バナイ、何故ナレバ此第二十八條ニ於テ吾々ノ加ヘマシタトコロノ修正ハ原案ニハ「朝鮮總督ハ朝鮮銀行ノ業務ヲ監督ス」ト斯ウアルノヲ政府ハ朝鮮銀行ノ業務ヲ監督ス」斯ウ修正ニナッテ居リマス、即チ此朝鮮銀行ニ對シマシテハ大體ノ監督權ト云フモノハ即チ政府ガ之ヲ握ッテ居ルノデアリマスガ故ニ、此吾々ノ修正ノ如ク致シテ置キマシタコトデ、何等朝鮮總督ガ專横ノコトヲスルコトモ出來ナイノデアリマス、又金融機關ノ統一上決シテ茲ニ何等支障ヲ生ズルトコロノ虞ハナイモノデアリマス、ソレカラ又其他ノ箇條ニ對シマシテハ一々討論ヲ費シテ居リマシタナラバ、非常ナ長時間ヲ要シマスカラ多辯ヲ費シマセヌガ、要スルニ早速君ノ御修正ト云フモノハ先ヅ此類ナル、極ク細カナルコトニマデモ政府ノ監督權ヲ及ボサウト云フコトナル、ソレハ詰リ吾々ノ考ヘルトコロニ依リマスルコトサウ云フ風ノ細密ナル、支店ヲ設ケルトカツナ細カナルコトニマデ立入ル必要ハナイ、ソレ等ノコトハ朝鮮總督ニ一任シテ可ナリト思フ、唯茲ニ少シ早速君ノ御説ニ付テ聽クニ足ルベキトコロノモノハ何デアルカト云ヘバ、即チ此制限外ノ問題デアル、早速君ハ此制限外ノ發行ノ權能ヲ朝鮮總督ニ一任シテアルノガ宜シクナイ、是ハ一應御尤ニ應ジマス、併ナガラ此制限外ノ發行ト云フコトガ如何ナル場合ニ於テ起ルモノデアリマセウ、多クハ此節季デアル、益デアルトカ、暮デアルトカ、何レモ金融ノ非常ニ逼迫スル時期ニ於テ始メテ此制限外ノ發行ノ必要ヲ感ズルノナル、而シテ其瞬間ハ實ニ危機一髪ナル、其場合ニ於テ此制限外ノ發行スルコトヲ一々政府ノ認可ヲ經ナケレバナラヌト云フコトデアッタト致シマシタナラバ、果シテ能ク是ガ金融機關ノ任務ヲ盡スコトガ出來マセウカ、(電報ニ「三時間」ト呼ブ者アリ)イヤ、サウ云フ譯ニ行キマセヌ、要スルニ此事タル制限外ノ發行ト云フモノハ頗ル急ヲ要スルトコロノモノナル以上ハ、之ヲ朝鮮總督ノ權能ニ一任スルノハ固ヨリ當然デアルト思フ、殊ニ此制限外ノ發行ト云フモノハサウ何時デモ之ヲ出シテ置クモノデヤナイ、縱令之ヲ發行スルト致シマシテモ、忽チニシテウレハ回收スベキモノデアリマス、此ノ如キトコロノモノデアル以上ハ、此權能ヲ朝鮮總督ニ一任シテ置キマシタトテ、何等ノ懸念ハナイト吾々ハ信ズルノナル、ソレカラ又西村君ノ御説ハ保證準備ニ依ル銀行券ノ發行高ヲ俄ニ擴張シタノガ宜シクナイ、此裏面ニハ定メテ何カ魂膽ガアルデアラウ、朝鮮總督府ニ於テ何カヤラウト云フノデアラウ、斯ウ云フ風ニ御想像ナドハ承知致シマセヌガ、免ニモ角ニモ此擴張ト云フコトハ吾々ノ見ルトコロニ依リマスレバ、全ク必要ナルトコロノ擴張デアリマシテ、今茲ニ此事實ヲ證明ヲ致シテ見マスレバ、朝鮮銀行ニ於テ明治四十一年ヨリ四十二年マデ毎年ニ於ケルトコロノ銀行ノ發行高ガ四十一萬四千三百八十八萬圓、四十二年ガ千二百四十三萬圓、四十二年ハ二千十六萬圓、斯ウ云フ風ニ漸次増加ヲ致シテ居ルノデアリマス、此増加ノ有様ヲ見マスルト

如何ニモ急激ナルトコロノ増加ヲシテ居ルノデアル、又貿易ノ關係ヨリ見マシテモ實ニ此朝鮮ノ最近ノ發達ト云フモノハ驚クベキモノガアル、殊ニ昨年ノ八月韓國ガ合邦ニナリマシテヨリ以來ト云フモノハ朝鮮ニ於ケルトコロノ經濟上ノ發達ト云フモノハ更ニ長足ノ進歩ヲ致シテ居リマシテ、其貿易高ノ如キモノモ今此處ニ數字ヲ舉ゲテ申シマスレバ、四十二年八月ヨリ十一月マデノ増額ガ九百十四萬幾ラト云フモノデアリマシタノガ、昨年即チ四十二年ノ八月カラ十一月マデノ貿易ト云フモノハ二千三百餘萬圓ト云フ高ニ上リテ居ル、僅カ四箇月ニ於テ貿易額ノ増加シテ居リマスルコトガ千四百萬圓ニ達シテ居ルノデアリマス、此ノ如キ有様デアル、而シテ此朝鮮ハ將來ニ益々發達スベキトコロノ運命ヲ持ッテ居ル國デアリ、又御同様此朝鮮ノ開發ヲ圖ラナレバナラヌノデアル、此ノ如クニ考ヘテ見マスレバ成程此二千萬圓ノ保證準備ノ發行ノ制限ト云フモノハ今日ニ於テハ或ハ十分カモ知レマセヌノデス、併ナガラ此駭々トシテ進ミツ、アル朝鮮ノ狀況ヨリ考ヘテ見マレバ、此三千万圓ノ制限額ト云フモノハ決シテ多キニ過ギルトコロノ心配ハナインノデアル、若モ此朝鮮ノ進歩ト云フモノヲ認メナイナラバ、或ハ二千万圓デモ宜シイト云フ議論モ立チマセウガ、朝鮮ノ將來ハ愈々發達スベキコトハ明瞭デアリマスカラ、茲ニ二千万圓ノ制限ヲ三千万圓ニ擴張シテ置クト云フコトハ決シテハ不當ノコトデハナイト私ハ思フ、唯今西村君ガ或ハ英蘭銀行、若クハ獨逸ノ中央銀行、或ハ内地ノ日本銀行ノ例ヲ御引キニナッテ、是等ニ較ベテ見テモ朝鮮ノ銀行ノ保證準備ノ發行高ト云フモノハ頗ル多キニ過ギル、斯ウ云フ御論デゴザイマシタ、併ナガラ是ハ蓋シ此經濟界ノ一面ヲ見テ他ノ一面ヲ御覽ニナラナイトコロノ御論デアラウト思フ、凡ソ一國ノ通貨ノ需用ノ大小ト云フモノハ其國ノ經濟上ノ發達ノ程度如何、殊ニ其國ノ信用制度ノ發達如何ト云フコトガ與ッテ力アルトコロノモノデアリマス、若モ經濟界ガ非常ナル發達ヲシテ、サウシテ又信用取引、信用制度ガ非常ニ發達シテ居ル國デアリマスレバ、通貨ノ需用ト云フモノガ極メテ小ナイノデアル、之ニ反シマシテ信用制度ノ發達シナイトコロノ國デアリマスレバ、其人口ノ割合カラ言ッテ見テモ其經濟上ノ程度ニ比較シテ見テモ、必ズヤ比較的兌換券即チ通貨ヲ多ク要スルト云フコトハ是ハ明カノ事實デアル、而シテ朝鮮ノ國情ハドウデアリマス、朝鮮ハ御承知ノ通り遺憾ナガラ今日デハ十分信用ノ發達シタ國デアルト云フコトハ言ヘヌノデアル、此國ニ於テ比較的多クノ兌換券ヲ要スル、即チ通貨ヲ要スルト云フコトハ是ハ經濟上明カノ道理ト思ヒマス、(現在二千万圓使ッテ居ラス)ト呼フ者アリ、居リマス、斯様ナ譯デアリマス以上ハ此二千万圓ヲ三千万圓ニ増加スルト云フコトハ朝鮮ノ現狀及將來ニ考ヘマシテ固ヨリ當然ノコトデアルト吾ハ信ズルノデアリマスカラシテ、唯今ノ西村君ノ御修正等ニハ吾ハ絶對ニ反對ヲ表明致スノデアリマス(討論終決)ト呼フ者アリ

○副議長(肥塚龍君) 御議論ガナイヤウデゴザイマスカラ決ヲ採ル順序ヲバ斯様ニ致サウト思ヒマス、修正ガ早速整爾君、西村丹治郎君、兩君カラ出テ居リマス、第一ニ早速君ノ修正ニ付テ決ヲ採リ……

(政府委員荒井賢太郎君登壇)

○政府委員(荒井賢太郎君) 特別委員會ノ修正ニ付キマシテハ政府ノ同意ヲ表シマス

○副議長(肥塚龍君) 第一ニ早速君ノ修正ニ付キ決ヲ採リ第二ニ西村君ノ修正ニ

付テ決ヲ採リ、最後ニ委員長ノ報告ニ付テ決ヲ採ラウト思ヒマス、修正又ハ朗讀ヲ致シマセヌ、早速君ノ修正ニ付テ同意ノ諸君ハ起立

起立者 少數

○副議長(肥塚龍君) 少數デゴザイマス、次ハ西村丹治郎君ノ修正、是モ朗讀ヲ省キマス、西村君ノ修正說ニ同意ノ諸君ハ起立

起立者 少數

○副議長(肥塚龍君) 是モ少數デゴザイマス、次ハ委員長報告ニ付テ御異議ハアリマセヌカ

(「異議ナシ異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○副議長(肥塚龍君) 然ラバ委員長報告通り第二讀會ヲ決シマス

朝鮮銀行法案

第三讀會

○菅原傳君 三讀會ヲ省略シ第二讀會決定通り即チ委員長報告通りニ決定セラレシコトヲ望ミマス

(「異議ナシ異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○副議長(肥塚龍君) 御異議ガナイヤウデゴザイマスカラ直ニ三讀會ヲ省略シテ委員長報告通り確定ヲ致シマス、次ハ日程第十三、治安警察法中改正法律案第一讀會、議案ノ朗讀ハ省略シマス、日野國明君

第十三 治安警察法中改正法律案(日野國明君外三 第一讀會 名提出)

警察法中改正法律案

治安警察法中左ノ通改正ス

第二條第四項中「選舉權ヲ行フヘキ者及被選舉權ヲ有スル者ニ限リ」ヲ「公衆ヲ」ニ改ム

第四條中「屋外ニ於テ公衆ヲ會同シ」ヲ「第二條ノ集會ニ非スシテ屋外ニ於テ公衆ヲ會同シ」ニ改ム

第五條第一項中第七號ヲ削ル

同條第二項ヲ左ノ如ク改ム

(日野國明君登壇)

○日野國明君 本員ハ治安警察法ニ對シマスル改正案ヲ提出ヲ致シテ居リマス、同法ノ第二條、第四條、第五條、此三箇條ニ互ニ修正デアリマス、第二條ニ於キマシテハ御承知ノ通り政談集會ハ開會ノ三時間前ニ屆出ルコトニナッテ居リマスガ、其第四項ニ於キマシテ特ニ法令ヲ以テ組織シタトコロノ議會ノ議員選舉ノ準備ノタメニストコロノ集會ハ選舉人トサウシテ被選舉人トガ集ル場合ニ限ッテハ投票ノ日ヨリ五十日以前ハ屆出ラセシテ開會ガ出來ルト云フコトニナッテ居ルノデアリマス、即チ更ニ言換ヘマスルナラバ、選舉準備ノタメニ法令ヲ以テ組織シタトコロノ議會ノ議員選舉準備ノタメト云フコト、ツレカラ投票前五十日ト云フコトツレカラ集マル者ガ選舉人ト被選舉人ト

アルナラバ、無居テ政談集會が出来ルト云フコトニナッテ居ルノデアリマスガ、此ノ二ツノ條件ノ中カラシテ選舉人被選舉人ニ限ッテ集マルト云フコトヲ取除キタイト云フノガ、第二條ノ修正ノ趣意デア、即チ法令ヲ以テ組織シテ居ルコトノ議會ノ議員選舉ノ準備ノタメデア、投票前五十日デアアルナラバ、ソレニ集マル者ハ必シモ選舉人ト被選舉人ニ限ラズシテ無居テ開會サレシトス様ニ考ヘルノデアリマス、是ハ深ク理由ヲ述ベル必要アルマイト思ヒマスガ、選舉人デ選舉スル場合ニハ申スマデモアリマセズ選舉權ヲ有スル者ノ意見ヲ代表サスベク選舉スルノデハナイ、選舉人以外ノ人ノ意向モ尊重セネバナラヌデアリマス、從ヒマシテ或選舉ヲ行フ場合ニ於キマシテ其候補者ノ選定ヲ爲シ、或ハ候補者ノ意見ヲ聽クトカ云フ場合ニ於キマシテ、選舉權ヲ有シテ居ルナイ者モ之ニ加ハルト云フコトガ私ハ必要デアルト斯ウ考ヘテ居ルノデア、是ガ今申シマシタ第二條ニ修正ヲ加ヘタイト云フ理由デアリマス、ソレカラ第四條ニ修正ヲ加ヘタイト存シマスノハ、第四條ニ於キマシテハ現行ノ治安警察法ハ屋外集會ノコトニ就テ規定シテ居ル、屋外ニ集社ヲ爲シ若クハ運動會ナドヲ催シマスル者ハ十二時間前ニ届出スルコト云フコトニナッテ居ルノデアガイマス、所ガ今日ノコロデハ政談集會ハ事實上ニ於キマシテ屋外デ是ハ禁止サレテ居ルト云フノハ、女子デアルトカ、未成年者ナド云フモノハ、政談集會ニ會同スルコトガ出来ヌコトニナッテ居リマスカラシテ、屋外集會ヲ取締ル上ニ於テ實際出來ナイ譯デアリマスカラシテ、此屋外集會ハ政談集會ニ於テ一切行ハレテ居リマセヌ、居リマセヌガ私ハ此ノ五條ニ於テ女子モ未成年者モ政談集會ニ會同スルコトニシタイト思ヒマスニ付キマシテハ、是非モ政談集會ヲ容易ニ屋外ニ於テ開キ得ル途ヲ設ケタイト思フ、ソレハ諸君ニ於キマシテモ御承知ノコト存シマスガ、集會ヲ致シマスルニハ適當ナ場所ヲ得マセヌコトガアリマス、或ハ或場所ヲ選定シテ集會ヲ致シマシテモ、聽衆ノ非常ニ多イカタメニ屋外ニ溢ル、ト云フヤウナコトモアリマス、或ハ政黨政派ノ相爭フ場合ニ於キマシテハ一ノ會場デア、ガタメニ、他ノ者ハ會場ヲ得ルコトガ出来ナイト云フヤウナコトモアリマス、ソレデ便宜上此屋外集會ヲナスコト云フノ途ヲ開クト云フコトハ憲政ノ發達上必要デア、斯ウ考ヘマスルニ付キマシテハ、政談集會ニ限ッテハ十二時間前ニ届出ヲセズトモ開會シ得ルコトニシタイト云フノガ、第四條ニ對スル改正ノ趣意デアリマス、第五條——第五條ハ今モチヨット申シマシタ通り第五條ノ第二項ニ於キマシテ女子トサウシテ未成年者ハ政談集會ニ會同スルコトガ出来ナイ、ソレカラ發起人ニナルコトガ出來ナイト、斯ウナッテ居リマスノヲ私ハ未成年者ハ政談集會ノ發起人ニナルコトハ出來ナイト云フデケニ致シマシテ、未成年者モ女子モ政談集會ニ會同スルコトハ差支ナイ、又女子ハ其發起人ニナルコトモ差支ナイ、斯ウ云フコトニシタイト云フ意味デアリマス(齋藤二郎君「女子ヲ頻リニヤルナ」ト呼フ)ナニ女子ヲヤル

○副議長(肥塚龍君) 私話ハイケマセス

○日野國明君 齋藤君ガ私ガ女子ト云フコトヲ言フノガ非常ニ耳ニ能ク御入リニナッテ居リマスガ、女子ト未成年者ト必ズ一ツ括付ケテアル、ソレデ私ハ一國ノ政治ノ進歩ト云フコトハ一國ノ人民ノ成ベク多クノ者ガ政治上ノ知識ト道德ニ於テ進歩シナケレバナラヌト考ヘマスニ付キマシテハ、女子ト未成年者ヲシテ政治ノ會同ニ會合セシメヌナドト云フコトハ時代後レデアルト思フデアリマス、或ハ斯ウ云フ者ヲシテ政談集會ニ會合

セシムレバ危險デアルト云フ考ヲ持ッテ居ル者モアルヤウデアリマスガ、ソレハ甚ダ間違ッタ意見デア、成ベク政治上ノ集會ニハ女子モ未成年者モモンノト出シテ實際ノ政治問題ニ於ケル知識ト道德ヲ養フハシテ置ク方ガ宜イト私ハ思ッテ居ル、ソレデ或ハ今ノ危險ガ之ニ生ズルト云フヤウナ意味デ禁止シテ居ル現行法デアアルナラバ、ソレナラバ其目的ハ完全ニ達シ得ラレカト申シマス、御覽ノ通りニ斯ウ云フ議會ニハ女子モ傍聴ニ來ラレル、未成年者モ來ルコトニナッテ居ルヤウデア、ソレカラ女子ハ政談集會ニハ出テ言論ヲスルコトガ出来ナイケレドモ、筆ヲ執テ女子ガ新聞雜誌ニ政治論ヲ書クコトハ少シモ差支ナイ、未成年者ガ筆ヲ執ッテ之ヲ論ズルコトハ差支ナイ、又未成年者ヤ女子ハ實際政治運動ヲナスコトモ今日ハ許サレテ居ルノデア、有名ナル政友會ノ領袖鳩山君ノ夫人ノ如キハ即チ選舉ニ於テ有名ナモノデア、斯様ナ譯デアガイマスカラシテ此政談集會ニ於テ女子モ未成年者ノ集會ヲ禁ズル或ハ女子ヲシテ發起人タラシムルコトヲ禁ズル如キハ、時代後レノ甚シイモノト考ヘテ居ルノデア、是ガ第五條ノ第二項ノ修正ノ趣意デアリマス、ソハデ第五條ノ第一項中第七號ヲ削ルト云フ如キハ唯制權公權ヲ停止公權ヲ受ケテ居ル者ヲシテ政談集會ノ政社ニ入ルコトヲ禁ッテ居ルト云フヤウナ條項ハ餘リ必要ガナイモノト思テ加ヘタノデアリマス、是ハ餘リ重要ナ事項デナイノデアリマス、要スルニ重ナル箇條ハ今申シタヤウナ三ツノ點、理由ハ今述べタ通りデアリマス、ドウカ此案ニ付キマシテハ十分ナ慎重ナ御調査ノ上通過スルヤウニ御議決ヲ願ヒタイデアリマス

○松田源治君 本案ハ議長指名ノ特別委員九名ニ付託セラレンコトヲ望ミマス

○副議長(肥塚龍君) 議長指名九名ノ委員ニ付託スルコトニ御異議ハゴザイマセヌカ

(「異議ナシ異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○副議長(肥塚龍君) 然ラバ左様ニ致シマス、日程第十四、印紙稅法中改正法律案ノ第一讀會ヲ開キマス、議案ハ朗讀致シマセヌ、提出者岡田泰藏君

第十四 印紙稅法中改正法律案(岡田泰藏君提出) 第一讀會

印紙稅法中改正法律案

印紙稅法中左ノ通改正ス

第四條第五條及第十條中「賣買仕切書」ヲ「仲立又ハ問屋營業ニ係ル賣買仕切書」ニ、「送狀」ヲ「運送營業ニ係ル運送狀」ニ改ム

附則

本法ハ明治四十四年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

○岡田泰藏君 簡單アスカラ、自席カラ説明致シマス、此案ハ印紙稅法ニ規定シテアル賣買仕切書并ニ送狀トアルノ前者ハ「仲立又ハ問屋營業ニ係ル賣買仕切書」後者ハ「運送營業ニ係ル運送狀」ト改正致シタイト云フノデアリマシテ、要スルニ現行ノ儘ニテハ文字ノ上ニハ判明シテ居リマスガ、實際ノ上ニハ頗ル曖昧ニナッテ居リマス、タメニ稅務官吏ノ見解ト人民ノ法律ヲ解釋スルノ違ッテ、常ニ刑事上ノ訴追ヲ受ケル場合ガ始終アリマス、ソレデ此法文ノ意義ヲ明カニシテ法ヲ實行ノ範圍ヲ正確ニシテ置キタイト思ヒマシテ、本案ヲ提出シタ次第デアリマス、ドウカ御贊成ヲ願ヒマス

○松田源治君 本案ハ議長指名ノ九名ノ特別委員ニ付託セラレンコトヲ望ミマス

(「異議ナシ異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○副議長(肥塚龍君) 松田君ノ説ニ御異議ガナイト認メマスカラ議長指名九名ノ委員ニ付託スルコトニ致シマス

(「異議ナシ異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○副議長(肥塚龍君) 然ラバ左様ニ致シマス、次ハ日程第十五、煉乳原料砂糖戻税法中改正法律案ノ一讀會ヲ開キ、議案ノ朗讀ハ省キマス、山本悌二郎君

第十五 煉乳原料砂糖戻税法中改正法律案(山本悌二郎君外三名提出) 第一讀會

煉乳原料砂糖戻税法中改正法律案

附則第二項ヲ削ル

○齋藤二郎君 私モ提出者ノ一人デゴザイマスルカラ、本案提出ノ理由ヲ述ベヤウト思ヒマス、頗ル簡單デアリマス、是ハ明治四十一年三月法律第二十七號ヲ以テ發布セラレタ其法律案附則ヲ改正シタイト云フ趣旨デアリマス、即チ此戻税ニ係テ是ニ改正ヲ加ヘナケレバ本年ノ七月十日カラシテ此戻税法ニ依テ返シテ貰フト云フコトガ出來スト云フ結果ヲ見ルデアリマス、是ニ付テハ隨分今日マデ歴史モアリ、又之ヲ廢スルガ宜イトカ、或ハ改正スル必要ガナイト云フヤウナ議論ニ付テハ政府ト吾ト其見ルトコロヲ異ニシテ居ルトコロガアルカモ知レマセヌ、併ナガラ其詳シイコトハ委員會ニ讓リタイト思ヒマス、唯茲ニ御參考ノタメニ後ト見テ置イテ戴キタイト思ウノハ、砂糖戻税法廢止後ニ於ケル内外産煉乳負擔額ノ比較表デアリマス、是ハ政府者ノ見ルトコロト違デ居ルトコロヲ證スルノガアリマシテ、煉乳内外國生産費比較對照表ト云フモノヲ造ッデアリマス、是ハドナチガ正シイカ分リマセヌガ、之ヲヤハリ速記ニ付ケテ戴イテ、委員會ナリ其他ノ參考ニ供シタイト思ヒマス、提出ノ理由ハ是ダケデアリマスカラ、御賛成ヲ願ヒマス

(參照)

砂糖戻税法廢止後ニ於ケル内外産煉乳負擔額比較

内國産煉乳百斤ノ負擔額

一金四圓九十二錢四厘

(備考) 容器共百斤ノ煉乳ハ正味九十六斤此砂糖含有量四十%トシテ三十八斤四分ナリ而シテ砂糖百斤ノ消費税ハ九圓ニシテ此海關稅四圓六十五錢ナレト舊海關稅八十二錢六厘ヲ差引ケハ三圓八十二錢四厘ノ重加トナリ消費稅ト合シテ十二圓八十二錢四厘也即之ニ煉乳百斤ノ用量三十八斤四分ヲ乘シテ其新負擔額ヲ算出ス

外國産煉乳百斤ノ負擔額

一金四圓二十九錢

(備考) 外國産煉乳ノ輸入海關稅ハ現行率金五圓五十五錢(百斤ニ付)ナレト舊海關稅一圓二十六錢ヲ控除シテ此新負擔額ヲ算出ス

差引金六十三錢四厘 内國産ノ負擔超過額

煉乳内外國生産費比較對照表(但一罐ノ見積價格)

關稅改正前ノ外國品			關稅改正後ノ外國品		
生 產 費	一三・〇〇〇 ^錢		生 產 費	一三・〇〇〇 ^錢	
輸入運 險料	二・五〇〇		輸入運 險料	二・五〇〇	
海關 稅	四・七〇〇		海關 稅	一・〇二五	
計	二〇・二〇〇		計	一六・五二五	

關稅改正前ノ內國品			關稅改正後ノ內國品		
生 產 費	一七八二・〇〇 ^錢		生 產 費	一七八二・〇〇 ^錢	
砂糖消 費稅	二・八一〇		砂糖消 費稅	二・八一〇	
同上增 率額	一・二九五		同上增 率額	一・二九五	
計	二・八二五		計	一七八二・〇	

差引内國品ノ外國品ニ超過スルコト一錢六厘二毛五朱即四打入一函ニ付金七十八錢ノ超過

砂糖海關稅改正前後ノ比較對照表

協定稅率ニ據ル關稅額

百斤ニ付 八十二錢六厘

煉乳一函(四打 入)十五斤分 十二錢四厘

一罐ノ用量割當 二厘五毛強

差引砂糖價值ノ騰貴スル割合一罐ニ付一錢一厘九毛強

○松田源治君 本案ハ第十四ノ議事日程ニアリマス印紙稅法中改正法律案ト同一ノ委員ニ付託セラレンコトヲ望ミマス

○副議長(肥塚龍君) 松田君ノ説ニ御異議アリマセヌカ

(「異議ナシ異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○副議長(肥塚龍君) 然ラバ日程第十四ノ印紙稅法中改正法律案ノ委員ニ付託スルト云フコトニ致シマス、日程第十六、明治三十四年法律第二十七號中改正法律案ノ一讀會ヲ開キマス、議案ノ朗讀ハ略シマス、提出者根本君

第十六 明治三十四年法律第二十七號中改正法律案 第一讀會

(根本正君外七名提出)

明治三十四年法律第二十七號中改正法律案

第三項ノ次ニ左ノ一項ヲ加フ

本法ニ依リ免除セラレタル地租ニ對シテハ附加稅ヲ課スルコトヲ得ス但シ既納ノ稅金ハ之ヲ還付セス

○高久倉藏君 私カラ根本君ニ代ッテ説明致シマス
○副議長(肥塚龍君) 高久倉藏君

(高久倉藏君登壇)

○高久倉藏君 諸君、私ハ本案ヲ提出致シタル一人トシテ此案ノ理由ノ大要ニ付テ聯申述ベヤウト存ジマス、而シテ御手許ニ差上ゲテアリマスルガ、改正ノ趣旨ハ明治三十四年法律第二十七號中第三項ノ次ニ左ノ一項ヲ加ヘルノデアリマス、本法ニ依リ免除セラレタル地租ニ對シテハ附加稅ヲ課スルコトヲ得ス但既納ノ税金ハ之ヲ還付セシメ是ガ本案ノ骨子ニナツテ居リマス、而シテ諸君モ既ニ御承知ノ如ク昨年度ノ洪水ハ實ニ近古未曾有ノ水害デアリマス、其損害ノ甚ダ大ナリシハ今更ニ之ヲ繰返スノ必要ハアリマセヌ、而シテ此水害ニ依リマシテ田畑ノ收穫ガ皆無ニ歸シタル各府縣ニ於ケル被害田畑ハ明治三十四年法律第二十七號ノ規定ニ基キマシテ地租ノ免除ヲ得ルノ特典ニ浴スルコトヲ得ルノデアリマス、然ルニ之ニ反シテ各府縣ニ於テハ附加稅トシテ府附加稅ヲ賦課シタルガ、甚ダ其當ヲ得ルコト、私ハ信ズルノデアリマス、何トナレバ是等災害地方ノ田畑ニ對シテハ國家ハ既ニ地租ヲ免除スルノ特典ガアリマスルニモ拘ラス、是ガ附加稅タル府縣稅ヲ賦課徵收スルハ、唯ハ其本末ヲ轉倒スルノミナラス、國家ガ地租ヲ免除シタル趣旨ニ背反スルモノト斷言スルニ憚ラヌノデアリマス、故ニ收穫ガ皆無ニ歸シタル田畑ニ向ッテハ地租ヲ免除シタル以上ハ即チ之ト均シキ附加稅タル府縣稅ヲ免除スベキハ固ヨリ當然ノ結果デアルト信ズルノデアリマス、然ルニ現行法ニ於テハ斯ル場合ニ於テモ未ダ府縣稅ヲ免除スル規定ナキガタメニ、是等ノ災害ヲ被リタル田畑ニ向ッテモ依然トシテ府縣稅ヲ徵收スルガタメニ之ガ負擔ノ苦痛ヲ感ズルコトハ極メテ大ナルモノデアリマス、故ニ地租ヲ免除シタル田畑ニ對シテハ附加稅タル府縣稅ヲ免除スルヲ以テ至當ト考ヘルノデアリマス、是レ本案ヲ提出シタル所以デアリマス、論者ハ或ハ言フデアリマセウ、今日特ニ本法ノ如キ法律ヲ制定シタルモ既ニ府縣制ニ於テ即チ府縣制ノ第一百十三條「府縣稅ノ減免若クハ納稅ノ延期ハ特別ノ事情アルモノニ限リ府縣知事ハ府縣參事會ノ決議ヲ經テ之ヲ許スコトヲ得」ト規定シテアリマスルカラ、此條文ヲ適用シマスレバ之ヲ處辨スルニ足リルコトアルカラシテ、敢テ新ニ此法律ヲ設クルノ必要ヲ認メナイデハナイカ、蓋シ論者ノ説ハ一應其理由ハアルヤウデアリマス、併ナガラ從來各府縣ニ於テ收穫ガ皆無ニ歸シタル田畑ニ對シテ能ク本法ヲ適用シテ遺憾ナカリシカ、否ナ、斯ル場合ニ於テハ多少ノ輕減ヲナシタル事例アルヲ認メマスルガ、未ダ全然免除シタルヲ聞カナイノデアリマス、加之附加稅ノ減免ニ付テハ各府縣共ニ區々ニ出デマシテ均一デナイノデアアル、例ヘバ乙ノ縣ニ於キマシテハ地租十圓以上納ムル者ニ向ッテハ課稅ヲナシ、又甲ノ縣ニ於テハ地租十五圓以上ヲ納ムル者ニ向ッテ課稅ヲスルト云フヤウナ譯デ、均シク災害地トシテ收穫ノ皆無ニ歸シタル被災地方ニ於キマシテモ甲乙各縣稅ノ此ノ如ク減免程度ニ於キマシテ多少輕重ノ區別ガアルノデアリマス、是ハ現行法ノ不備缺點ト云ハナケレバナラヌト思フノデアリマス、更ニ又府縣稅ヲ免除シタルラ當該府縣ハ其財源ヲ失フガタメニ府縣經濟上ニ大ナル影響ヲ及ボスデハナイカ、尙延イテハ府縣ノ自治ヲ危殆ニ陷ラシムルデハナイカ、是モ亦一應ノ理由ガアリマス、併ナガラ畢竟是等ハ所謂杞人ノ憂ニ過ギヌノデアッテ、國家ガ收穫皆無ノ田畑ニ對シテ地租ヲ免除シマ

シタルラバ、國家ノ財政ヲ如何セント主張スルト一般デアルト思ヒマス、然ルニ國家ハ未ダ是ガタメニ財政ノ困難ヲ告ゲナイノデアリマス、唯國家ノ大ナル府縣ノ小ナルトハ到底比較スルコトハ出來マセヌ、併ナガラ是等ノ災害地方ト致シマシテ、全ク收穫皆無ニ歸シタル範圍ハ各府縣下共ニ甚ダ廣大デハナイノデアリマス、故ニ縱令府縣稅ヲ免除シマシテモ敢テ府縣ノ經濟ヲ紊亂スルヤウナコトハ斷ジテナイノデアリマス、加之災害地方ノ如キハ一年間ニ於ケル生活上ニ大ナル困難ヲ來シタルデアリマス(「簡單」ト呼フ者アリ)而モ動モスレバ家族離散ノ悲境ニ沈淪スル等、極メテ悲惨ノ狀態ニ陷リ居ルノデアリマス、是レ吾ミガ彼等被害民ニ向ッテ滿腔ノ同情ヲ表シ、之ヲ救済セント欲スル意思デアリマス、要スルニ災害ニ依リマシテ收穫ガ皆無ニ歸シタル田畑ニ向ッテハ地租ヲ免除スルト共ニ、府縣稅ヲ免除スルハ之ヲ理論上ヨリ見マシテモ、亦被害民ノ悲境ナル狀態ヨリ察シマシテモ、本案ヲ制定スルノ必要ガアルコトヲ認メマス、幸ニ滿場一致ヲ以テ本案ヲ可決セラレンコトヲ希望致シマス

○松田源治君 本案ハ印紙稅法中改正法律案ト同一委員ニ付託セラレンコトヲ望ミマス

○副議長(肥塚龍君) 御異議ハアリマセヌカ

(「贊成々々」ト呼フ者アリ)

(「異議ナシ異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○副議長(肥塚龍君) 然ラバ印紙稅法中改正法律案ノ同一委員ニ付託スルコト、致シマス、次ハ日程第十七、鐵道敷設法中改正法律案ノ第一讀會ノ續ヲ開キマス、委員長報告、望月右內君

第十七 鐵道敷設法中改正法律案(中村 第一讀會ノ續(委員長報告))

○望月右內君 本案ニ付キマシテハ是マテ本會ニ於キマシテモ累年建議ヲシテサウシテモウ本議ノ殆ト極ツテ居ル問題デアリマス、ソレヲ委員會ニ於キマシテモ無論滿場一致ヲ以テ本案ヲ是認致シマシタ次第デアリマス(「贊成」ト呼フ者アリ)加ヘテ政府ノ意見モ聽キマシタガ、政府ニ於キマシテモ此改正案ニハ全然同意デアリマス、且貴族院衆議院トモ請願委員會ニ於テモ可決シテ居ル問題デアリマス故ニ、定メテ一名ノ異議者モアルマイト存ジマスカラドウカ滿場一致ヲ以テ御贊成アラントヲ希望致シマス

(「贊成々々」ト呼フ者アリ)

○松田源治君 本案ハ直ニ二讀會ヲ開キ、三讀會ヲ省略シテ委員長報告通り確定アラントヲ望ミマス

(「贊成々々」ト呼フ者アリ)

鐵道敷設法中改正法律案 確定議

○副議長(肥塚龍君) 松田君ノ御意見ニ御異議ハナイト認メマスカラ、直ニ二讀會ヲ開キ、三讀會ヲ省略シテ確定致シマス、次ハ日程第十八、所得稅法中改正法律案ノ第一讀會ノ續ヲ開キマス、委員長報告、委員長川原茂輔君

(「贊成々々」ト呼フ者アリ)

鐵道敷設法中改正法律案 確定議

○副議長(肥塚龍君) 松田君ノ御意見ニ御異議ハナイト認メマスカラ、直ニ二讀會ヲ開キ、三讀會ヲ省略シテ確定致シマス、次ハ日程第十八、所得稅法中改正法律案ノ第一讀會ノ續ヲ開キマス、委員長報告、委員長川原茂輔君

鐵道敷設法中改正法律案 確定議

○副議長(肥塚龍君) 松田君ノ御意見ニ御異議ハナイト認メマスカラ、直ニ二讀會ヲ開キ、三讀會ヲ省略シテ確定致シマス、次ハ日程第十八、所得稅法中改正法律案ノ第一讀會ノ續ヲ開キマス、委員長報告、委員長川原茂輔君

鐵道敷設法中改正法律案 確定議

○副議長(肥塚龍君) 松田君ノ御意見ニ御異議ハナイト認メマスカラ、直ニ二讀會ヲ開キ、三讀會ヲ省略シテ確定致シマス、次ハ日程第十八、所得稅法中改正法律案ノ第一讀會ノ續ヲ開キマス、委員長報告、委員長川原茂輔君

鐵道敷設法中改正法律案 確定議

○副議長(肥塚龍君) 松田君ノ御意見ニ御異議ハナイト認メマスカラ、直ニ二讀會ヲ開キ、三讀會ヲ省略シテ確定致シマス、次ハ日程第十八、所得稅法中改正法律案ノ第一讀會ノ續ヲ開キマス、委員長報告、委員長川原茂輔君

鐵道敷設法中改正法律案 確定議

○副議長(肥塚龍君) 松田君ノ御意見ニ御異議ハナイト認メマスカラ、直ニ二讀會ヲ開キ、三讀會ヲ省略シテ確定致シマス、次ハ日程第十八、所得稅法中改正法律案ノ第一讀會ノ續ヲ開キマス、委員長報告、委員長川原茂輔君

鐵道敷設法中改正法律案 確定議

○副議長(肥塚龍君) 松田君ノ御意見ニ御異議ハナイト認メマスカラ、直ニ二讀會ヲ開キ、三讀會ヲ省略シテ確定致シマス、次ハ日程第十八、所得稅法中改正法律案ノ第一讀會ノ續ヲ開キマス、委員長報告、委員長川原茂輔君

鐵道敷設法中改正法律案 確定議

○副議長(肥塚龍君) 松田君ノ御意見ニ御異議ハナイト認メマスカラ、直ニ二讀會ヲ開キ、三讀會ヲ省略シテ確定致シマス、次ハ日程第十八、所得稅法中改正法律案ノ第一讀會ノ續ヲ開キマス、委員長報告、委員長川原茂輔君

鐵道敷設法中改正法律案 確定議

○副議長(肥塚龍君) 松田君ノ御意見ニ御異議ハナイト認メマスカラ、直ニ二讀會ヲ開キ、三讀會ヲ省略シテ確定致シマス、次ハ日程第十八、所得稅法中改正法律案ノ第一讀會ノ續ヲ開キマス、委員長報告、委員長川原茂輔君

鐵道敷設法中改正法律案 確定議

○副議長(肥塚龍君) 松田君ノ御意見ニ御異議ハナイト認メマスカラ、直ニ二讀會ヲ開キ、三讀會ヲ省略シテ確定致シマス、次ハ日程第十八、所得稅法中改正法律案ノ第一讀會ノ續ヲ開キマス、委員長報告、委員長川原茂輔君

鐵道敷設法中改正法律案 確定議

○副議長(肥塚龍君) 松田君ノ御意見ニ御異議ハナイト認メマスカラ、直ニ二讀會ヲ開キ、三讀會ヲ省略シテ確定致シマス、次ハ日程第十八、所得稅法中改正法律案ノ第一讀會ノ續ヲ開キマス、委員長報告、委員長川原茂輔君

鐵道敷設法中改正法律案 確定議

○副議長(肥塚龍君) 松田君ノ御意見ニ御異議ハナイト認メマスカラ、直ニ二讀會ヲ開キ、三讀會ヲ省略シテ確定致シマス、次ハ日程第十八、所得稅法中改正法律案ノ第一讀會ノ續ヲ開キマス、委員長報告、委員長川原茂輔君

第十八 所得稅法中改正法律案(齋藤宇一 第一讀會ノ續(委員長 郎君外四名提出))

(拍手起ル)

○川原茂輔君 本案ハ齋藤宇一郎君、守屋此助君其外ヨリ御提出ニナリマシタ所得稅法中改正法律案アリマシテ、其内容ハ昨年ノ政府案ト餘リ大シタ差異ハナイノデアリマス、ケレドモ法人ノ所得ヲ甲乙ヲ廢シテ、即チ千分ノ六十二半トスルガ如キ、又所得稅ノ最少限度三百圓ヲ四百圓トナスガ如キガ(簡單ニ願ヒマス)「ト呼フ者アリ」昨年ト異ナル點アリマス、此法案ノ如ク致シマスト金額ノ上ニ於テ約八百萬圓收入ヲ減ズルト云フ譯ニナルデアリマス、所得稅ノ改正ハ御承知ノ如ク昨年一度政府ガ提出ヲ致シテ取調ノタメニ撤回サレタ問題デアリマシテ、委員會ニ於テモ鄭重ニ審議ヲ開イテ、都合四回ノ委員會ヲ開イタノデアリマス、デ政府ニ向テ説明ヲ求メ、且贊否ヲ問ヒマシタトコロガ、政府ハ全然同意シ兼ネルト云フコトデアリマス、併シ所得稅ト云フモノヲ即チ改正ヲシナケレバナラヌト云フコトハ政府ト雖モ諸君ニ讓ラナイノデアル、唯此財源ヲ奈何セント云フ議論ニ歸著スルノデアリマス、是ハ財源ガ許セバ何人ト雖モ所得稅ヲ改正シテ國民ノ負擔ヲ輕減セシメルト云フコトニ付テハ異議ハナイノデアリマス、ソコデ政府ガ同意シ兼ネルト云フ財源ノ計算ノ一二ヲ此處デ御紹介致シマスレバ(「モウ宜イタナ」又「簡單」ト呼フ者アリ)簡單デスカ、是ハ(詳細ニ報告ヲ願ヒマス)「ト呼フ者アリ」ナカク大問題カラサウ簡單ニハ往キ兼ネルト(速記ニヤッタ宜イダラウ)「ト呼フ者アリ」ソコデ明治四十三年ト四十四年トノ財源ノ計算ヲ比較シテ見レバ、即チ前年度ヨリ本年度ノ歳出ノ減少シタル高ガ五千萬以上デアリマス、歳入ノ減少シタル高ガ殆ド四百萬圓デアリマス、ソコデ差引減少スルノガ四千九百九十三萬五千八百八十八圓ト云フモノガ減少スルノデアリマス、所ガ歳出ノ増加スルモノガ大部分ゴザイマスガ、其中ノ主ナルモノヲ舉ゲマスレバ、普通經常費ニ於テ二千萬餘リ真繼續ニ於テ殆ド二百万、準繼續ニ於テ二百万圓餘、其他繼續費等ノ増加ガ一千八百四十九萬圓餘、合計二千八百五十萬圓カカリト云フ數字ニナルノデアリマス、ソレカラ緊急已ムヲ得ザル新規費途、又ハ増加スルトコロノ金額ガ朝鮮ノ恩賜公債ノ利子ニ於テ百五十萬圓、軍艦水雷艇補充基金繰入ガ百三十一萬圓餘、治水事業費ガ一千五百五十萬圓、海軍ノ軍備補充費ガ殆ド一千五百萬、斯ウ云フヤウナモノヲ段々計上シテ往キマス、ツマリ歳出ト歳入トノ均衡上金ガ足ラナイノガ二千七百七十一萬二千四百四十七圓金ガ足ラナクナッテ來ル、此足ラナイノガ即チ前年度ノ剩餘金ヲ以テ之ヲ支辨スルノ計畫ト、斯ウ云フ先ツ財政ノ計畫ニナッテ居ルコトハ豫算會當時ニ於テモ諸君ガ御承知ノ次第デアリマス、デ所得稅ヲ改正スルト云フコトノ其趣意ニ於テハ敢テ政府ハ讓ラナイケレドモ、以上ノ如キ財政計畫ニナリマス以上ハ、即チ本案ニ賛成スルコトハ出來マセト、斯ウ云フ意味ニ外ナラヌノデアリマス、ソコデ委員會ハ段々討議ノ末、尙歳出ノ節約スベキモノハ之ヲ節約シ、政府ハ即チ昨年ノ公約ニ從ッテ、成ルベク速ニ此所得稅ノ改正法律案ヲ提出シテ貫ヒタイト云フ意味デ、本案ニハ即チ反對ト云フコトニ極ツタノデアリマス、之ニ向テ少數意見ヲ提出セラレマス、是モ併セテ御報告致シマス

○副議長(肥塚龍君) 富田幸次郎君
○齋藤宇一郎君 私が代テ致シマス
(齋藤宇一郎君登壇)

(「簡單ニ願ヒマス」ト呼フ者アリ)

○齋藤宇一郎君 私ハ少數意見ヲ代表シテ聊其理由ヲ述ベタイト思ヒマス、極ク簡單ニ其要旨ケラ述ベタイト思ヒマスガ、此委員會ノ狀況ハ即チ委員長カラ譯シク報告サレマシタノデ諸君ノ御了承ニナッテ居ルコト、思ヒマス、要スルニ唯今委員長ガ報告サレマシタ通り、財源問題如何ト云フコトニ歸著スルノデアリマス、吾々モ此財源問題ニ付キマシテハ決シテ考慮ヲ盡サナイノデアリマス、故ニ此提案、豫算案ノ決定以前ニ提出シタノニモ拘ハラズ、明年度カラ即チ四十五年度カラ實施スルト云フ附則ヲ以テ提出シテアルノデアリマス、然ルニ政府ノ意嚮ハ唯今委員長カラ報告サレマシタ通り、政府ガ此所得稅法ヲ改正セントスルトコロノ意思ハ決シテ提出者ニ劣ラヌノデアル、最モ熱心ニ研究シテ居ルノデアルガ、財源ガナイカラ同意ガ出來ナイト云フノデアリマス、又此案ニ反對セラレルトコロノ委員諸君ノ御意見モ財源問題ニ歸著スルノデアリマシテ、案ノ内容ニ付テハ別ニ反對ハナカッタノデアリマス、然ルニ唯今委員長カラ報告セラレマシタトコロノ此金ガ足りヌト云フコトハ、ツマリ政府ガ財源ナシト云フ意見カラ割出シタトコロノ計算デアッテ、若シ此政府ガデス、財源ガアルカラシテ此改正案ヲ出スト云フマデ待ッテ居ルト云フコトニナリマスレバ、何時此大切ナルトコロノ改正ガ實現スルカト云フコトハ甚ダ疑ハシイノデアリマス、何トナレバ昨年ニ於キマシテハ、來議會ニ於テ必ズ提出スルカラト云フ公約ガアルニモ拘ハラズ出サナイノデアル、而モ本年度ノ——四十四年度ノ豫算ヲ見マスルト云フト、必シモ此公約アルトコロノ改正案ヲ提出スルコトノ出來ナイト云フ程、緊急ナルモノト認ムルコトノ出來ナイ、新事業モ計上サレテ居ルヤウニ見エルトデアリマス、果シテ此ノ如キデアルトスレバ、豫算ノ編成ノヤリ方ニ依リマシテハ、此改正ニ要スル經費ト云フモノハ、必ズ產出スコトガ出來ナイトモ限ッテ居ラナイノデアリマス、故ニ私共ハ明年度ヨリ豫算計上ニ於テ大ニ稅制ヲ整理シ、又行政整理ヲ行ヒ、他ノ總テノ點ニ向ッテ整理改正ヲ施シタラバ、此公約アリ、又一般ガ歡迎スルトコロノ大切ナル稅制ノ整理ノ一部分タルトコロノ、此所得稅ノ改正ト云フコトハ必ズ實施スルコトガ出來ルデアラウト信ズルノデアリマス、政府ニシテデス、誠意誠心此案ノ實施、即チ改正ヲ爲サルト云フ考ガアリマスラバ、必ズ爲シ得ルト云フコトハ前述ベタ通りデアリマスガ、此改正ノ意思ナキトコロノ政府ニ委カセテ、金ガ剩ラ故ニ此改正ヲスルト云フコトヲ言出スマデ待ッテ居ルト云フコトハ出來ナイノデアリマスカラ、ドウカ諸君ニ於キマシテモ、案其モノニ於テハ反對ノナイ、唯此豫算ノ組方ニ依ッテ是位ノ金ガ出來ルト云フコトガ明カデアル以上ハ、此四十五年度カラト云フ條件ノ下ニ本案ニ賛成セラレテ、ドウカ民力休養ノ一助トセラレンコトヲ希望致シマス

(奧繁三郎君登壇)

○副議長(肥塚龍君) 奧繁三郎君

○奧繁三郎君 諸君、閉會ノ時間ガ切迫シテ居リマスケレドモ、是ハ隨分大問題デアリ、且議會閉會後ニ於テハ天下ニ於テ或ハ大問題トナルカモ分ラヌノデゴザイマス

ラ、私共ガ此問題ヲ否決スル理由ノ二三ヲ簡單ニ説明シテ置キマス、尤モ吾々トモ此問題ヲ否決致シマシタノハ、絶對的ノ考ヘナインデ、所謂緩急デアル、今茲ニ明カニ財源ヲ捉ヘズシテ之ガ建議案ナラバ格別、明後年ヨリ之ヲ行フト云フ法律デアルノデアル、故ニ緩急ヲ圖リテ反對スルノ已ムヲ得ヌ出デタノデアリマス、反對黨ノ諸君ハ唯今時間ヲ惜マレテ十分ニ説明ヲサレヌケレドモ、委員會ナドニ於テ言ハレル主張ヨリ推測スルト、六億圓カラ豫算デアル、故ニ八百萬圓位ノ減額ハ政府ガ誠意ヲ以テ考ヘタナラバ出來ルト云フ御推測カラ財源ガアルト云フノデアル、ケレドモ財源トカ云フノハ單ニ之ハ數字ノ問題デ、他ニ具體的ノ説明ヲサレルナラバ格別、單ニ六億圓デアルガ故ニ、八百萬圓ノ金ヲ生ズルト云フコトハ、是ハ何等理由ハナインデアル、一カラ一ヲ引ケバ零デア、百カラ百ヲ引イテモ零デア、サリナガラ百ノ中カラ百ヲ引イタナラバ幾ラカ殘ルデアラウト云フヤウナ誤解デアル、大キナ數カラモイルダケ同數ヲ引ケバ無クナルト云フコトガ分ラナイノデアル、是等ノ誤解カラ財源ハアルデアラウト推測サレルノガ一ツ、尙一ツハ先般石橋君ノ御演説ガアリマシタ、陸軍ナドノ兵器製造所ナドハ使ヒ切レナイ程費用ガ置イタル八百萬圓モ千萬圓モアルト云フコトヲ言ウテ居ラレル、ソレ等ヲ以テ充テタナラバ充テラレルト云フ御考デアリマセウガ……

○副議長(肥塚龍君) 時間が定刻ニ達シマシテゴザイマスガ、此日程第二十四マデ即チ法律案ヲハ讀了致シマスルマデ時間ヲ延長シタイト思ヒマス、御異議アリマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○副議長(肥塚龍君) 然ラバ左様致シマス

○奥繁三郎君 政府ノ豫算ノ中ニハ使ヒ切レナイモノガアル、故ニソレ等ヲ以テ充テレバ宜シイト云フコトデアル、諸君、假ニ使ヒ切レナイモノガ千萬圓アッテ、ソレガ翌年ニ繰入レラレ、又其翌年ニ繰入レラレテ居リマス、併シ其金ハ縱シアルニシマシタトコロガ、千萬圓ハ一回シカ使ヘナイノデアル、ソレガ使ヘナイカラ毎年々々送りニナッテ居リマス、一度使ッテシマッタ翌年カラ無クナッテシマウト云フコトガ分ラナイノデアル、此八百萬圓ノ減額ト云フモノハ、一回限リノ減額ニアラズシテ、ヤレバ連年——後年モ襲フテ往クノデアアルガ、然ルニ一度シカ使ヘナイ金ガ數年ニ使ハレルモノカノ如ク、誤解サレテ居リマス、ソレカラ尙一ツ甚シキハ過日豫算案ノ議案ニ反對黨ヲ代表シテ、武富君ノ演説ハ政府ハ前年度ニ於テ公債ノ借換ヲシタガ、償還ハ一切シテ居ラナイ、何トナレバ七千萬圓程ノ金ヲ繰入レテ居ルト云フ御演説ガ堂々トアッテ、反對黨ノ諸君ハ大賛成サレテ居ッノデアアル、諸君此等ハ銀行ノ丁稚デモ分ッテ居ル、昨年六千萬圓カラノ公債ノ償還サレテ居ル、七千三百萬圓ノ金ガ繰入レニナッテ居ルハ佛國ノ公債ガ其金ガ四分利附ノモノト借換ヘタ故ニ、繰入レナッテ居ルノデアル、昨年六千萬圓償還サレテ居ルニモ拘ハズ、償還サレズシテ斯様ナ金ガアルト云フヤウノハ大誤解デ、公債償還ヲ實地ニ於テ扱ハナイ人ナラバ格別、十二三歳ノ銀行ノ小僧デモ分ッテ居ルヤウナコトヲ堂々タル大政黨ノ代表者ガ誤解シテ七千萬圓カラノ金ガアル如ク思ハレタノデアアル、全ク斯ルニ二三ノ誤解カラ財源ガアルト考ヘテ此案ヲ提出サレタノデアリマス、諸君「大キナ丁稚」ト呼フ者アリ吾々ハ眞ニ財源ガアルナラバ、無論此案ニ賛成致シマス、單ニ國政ヲ議スル者ガソレ等ノコトヲ調ベズシテサウシテ、財源ガアルト云ヘバ或ハ八百萬圓ガ——昨年ノ四百五十萬圓ノ金ハ容易ニ出ルト云フノデ、徒ラニ空論ニ基イテ——基礎ノナイ計畫ニ基イテ、此

案ヲ賛成スルコトハ出來マセヌ、故ニ眞ニ財源ノアルトキヲ見附ケテ、或ハ後日之ヲ賛成スルコトガアラウト思フ、而シテ政府ノ意向ヲ委員會ニ於キマシテ十分確メマシタノニ、政府ハ本年度ノ豫算ニ於テモ四百五十萬圓ノ財源ヲ造ラント欲シテイロノトソレダケノ財源ヲ取除ケマシテ、此改正案ヲ出サント云フ意思ハ豫算ノ閣議ニ於テ極マル最後マデ有シテ居ッノコトヲ委員會ニ於テ説明サレテ居ルノデアル、然ルニ海軍軍備ノ擴張或ハ水害善後策此等ノタメニ遺憾ナガラ取除ケテ置イタトコロノ四百五十萬圓ノ財源ハ使ヒ切ラシテシマッタ故ニ、遺憾ナガラ出スコトガ出來ナイノデアル、明年ト期スルコトハ出來ナイケレドモ、他年ヲ期シテ——併シ出來ラナラバ近キ他年ヲ期シテ提出スル意思ヲ持ッテ居ルト云フ誠意ヲ以テ吾々ニ説明サレテ居リマス故ニ、吾々ハ其誠意ノアルトコロヲ多シテ遺憾ナガラ財源ナキヲ知ッテ此案ニ反對シタ所以デアリマス

○副議長(肥塚龍君) 本案ニ付テ二讀會ヲ開クヤ否ヤニ付テ決ヲ採リマス

(「討論終結」通告ガアリマスヨ「ト呼フ者アリ」)

○松田源治君 討論終結ノ動議ヲ出シマス

(「贊成々々」贊成ノ通告ガアルデハナイカ「ト呼フ者アリ」)

○副議長(肥塚龍君) 討論ヲ續ケタイト云フノデアリマスガ、御許シニナッテハ如何デアリマスカ

○松田源治君 ソレデハ一人ダケ簡單ニ願ヒマス

(「簡單々々」ト呼フ者アリ)

○富田幸次郎君登壇

○富田幸次郎君 本員ハ少數意見ニ賛成ヲ致スモノデアリマスガ、既ニ簡單ト云フ内交渉モ先刻來アッテ居ルヤウナ次第デアリマスシ、討論終結ト云フ動議モ起ラントシテ居ルヤウナ譯デアリマスカラシテ、極メテ簡單ニ申上ゲマス(「謹聽」ト呼フ者アリ)先刻川原委員長カラノ報告ノ中ニ附加ヘマシテ財源云々ノ御話ガアリマシタ、數字ヲ讀上ゲテノ御話デアリマスガ、彼ノ委員長ヨリ此壇上ニ於テ御話シニナリマシタトコロノ數字、即チ政府苦心ノアルトコロノ數字ト云フモノハ、是レ本年度ノ豫算ヲ編成スル場合ニ於テノ御苦心ノトコロデアアル、然ルニ吾々ガ提出シテ居リマストコロノ改正案ハ明後四十五年度ヨリ實施スルスト云フコトニナッテ居ルノデアリマスカラシテ、本年度ノ豫算トハ餘リ深イ關係ガナイノデアリマス、即チ本年度ニ於テハ已ムヲ得ナイ經費モアッタアラウ、又豫算ヲ決定シタ後デアアルカラシテ、明後即チ四十五年度ヨリ之ヲ實施スルスト云フコトニアリマスカラ、此明後四十五年度ノ豫算ヲ編成スル場合ニ於テ政府ガ其財源ヲ生出スナラバ、一向差障リガナイモノデアリマスカラ、其場合ニ委員長ノ讀上ゲマシタ數字ハ何等此本案ト關係ガナイト見テ差障リガナイト思フノデアリマス、サウシテ又唯今奥君ヨリシテ此財源ノコトニ付キ御話ガアリマシタ、財源ニ於テ御話ガアリマシタガ、此財源ニ付キマシテハ固ヨリ私共ハ無論アルト云フ考デアリマス(「何處ニアル」ト呼フ者アリ)ソレハ決シテ此私ノ私見デハナイ、前日政友會ヲ代表セラレテ豫算辯護ノ演説ヲセラレタトコロノ井上角五郎君スラモ之ヲ認メテ居ル、ソレハドウデアアルカト云ヘバ井上君ノ言ウノニ、此武富君ノ言ハレタ斯ウ云フコトガアル「定額ノ繰越ガ多クテ困ル、實ニ定額ノ繰越ヲ多クスルト云フコトハ、財政ヲ緊縮セザルヲ得ザル所以デアルト云ハレタ、私モ同感デアアル、同感デアアルカラ大藏省前年度繰越ノコトヲ頻リニ論ジテ居ルノデアアル、吾々ハ之ニ警告ヲ與ヘ

云々」詰り此財政ノ緊縮セザルベカラザル事柄ハ井上君モ之ヲ認メラレテ、武富君ノ
說ニ同意ヲ表サレテ居ル、此繰越ト云フ事柄ハ無論滿場ノ諸君ニ於テモ誰モ異議ノナイ
コトデアラウト思ハレルガ、是ハ政府ニ於テモ無論是認——施行セラレテ居ルコトデアリ
マスカラ、此繰越ニ向テ政府ガ幾分タリトモ此緊急ノ——財政緊縮ノ手加減ヲ加ヘマ
シタナラバ、一千万圓位ノ金ハ易々トシテ出來ルノデアリマス、果シテ然ラバ一所得稅ノ
改正何カアラシナル、七八百万圓ノ金額何カアラシナル、而シテ此政府ガ所得稅
改正ニ反對デアルト云フコトナレバ是ハ別デアリマスケレドモ、實ハ政府モ是ニハ至極贊成
デアッテ、明年ニモ實ハ實行シタイト云、テ居ル、サウシテ又所得稅ハ治水事業トカ、或ハ
製鐵所ノ擴張トカ、或ハ海軍ノ充實トカ云フコトニモ政府ノ側カラ見レバ劣ナリ、主要
問題デアルト云フコトヲ明言シテ居ル、政府委員ガ——政府ニシテ其明言シ公言スル
通りニ誠意誠心ニ之ヲ認メテ居ルト云フナラバ、明後年即チ四十五年度ヨリシテ之ヲ
實行スルト云フコトニ何ノ躊躇スルコトガアル、サウシテハ億二近イコトコロノ大歲計中カラ
七八百万圓ヲ絞出ス上ニ付テハ何ノムツカシイコトガアル、現ニ昨年水害ノタメニ俄ニ多
大ノ復舊費ヲ要スルコトニナッテ、サウシテ府縣ノ復舊費ニ對スル補助ヲシテ居ルモノガ七
八百万圓以上アリマス、ソレハ何カラシテ居ルト云フニ、剩餘金ノ中カラヤッテ居ル、政府
ハ剩餘金ハ近年極ク少クナッテ、到底サウ云フ財源ニハ用井ルコトハ出來ナイト云ッテ居
ル口ノ下カラ、七百万圓ト云フ剩餘金中ヨリ治水補助費ニ充テ、居ル、サウ云フヤウ
ナ次第デアリマスカラ、財源ニ緊縮サヘ加フレバ、剩餘金以外ニ縛ヤッテ餘裕アルコト
ハ、是ハ本員ノ認ムルコトコロナルノミナラズ、井上君ノ如キ、武富君ノ如キ、皆既ニ豫算
會議ニ於テ認メテ居ルトコロアル、況ヤ政府ハ財政緊縮ト云フコトヲ政綱ノ第一ニ掲
ゲテ居ルト云フ譯デアリマスレバ、其政綱ヲ實行シサヘスレバ、所得稅ノ改正ハ實行スル
コトハ出來ル譯ニナラウト思フデアリマス、終リニ望シテ一言申シタイノハ何シアルカト
云フト、畏多クモ 陛下ニ於キマシテハ皇室費三分ノ一、即チ百五十万圓ヲ御割キナ
サレテ、サウシテ窮民ノ施藥救療ノ資ニ充テサセラレテ居ルデアリマス、陛下ノ此民
ヲ慈ミ給フ大御心ヲ顧ミタナラバ 陛下ノ政府ニ仕ヘテ居リマスルコトノ官僚ノ人ミト
云フモノハ、自ラ増俸ヲ得タシテ、喜シテ安閑トシテ居ル場合デナカラウト思ヒマス、而
シ此増俸タルヤ、一面ニ於テ所得稅或ハ通行稅ヲ犧牲ニ供シテ得タト云フ案デゴザイマ
スカラ 陛下今般ノ思食ヲ顧ミ給ハ、恐懼慚愧ノ情ヲ起シテ、振ッテ行政ノ整理ヲ致
シ、財政ノ緊縮ヲ致シテ、サウシテ公約ヲ實行シテ以テ國民休養ノ一部ニ充テラレルト
云フコトガ、所謂輔弼ノ臣タル者ノ盡スベキ至當ノ道デハナイカト思ヒマス、是ハ政友會
ノ方ニ於キマシテモ、政府當局者ニ於キマシテ猛省一番セラレンコトヲ願フデアリマス

○松田源治君 討論終結ノ動議ヲ提出致シマス

〔贊成々々〕ト呼フ者アリ

○副議長(肥塚龍君) モウ討論モナイヤウデアリマスカラ、本案ニ付テ二讀會ヲ開クヤ
否ヤノ決ヲ取リマス、本案ニ付テ二讀會ヲ開クベカラズト云フ說ニ御同意ノ諸君ハ起立
ヲ請ヒマス

起立者 多數

○副議長(肥塚龍君) 多數デゴザイマス、然ラバ本案ハ二讀會ハ開カヌコトニ致シマス、
次ハ日程第十九第二十八同一委員三附託セラレタル議案デアリマスガ、第二十八撤回ニ

ナリマシテ、第十九ダケガ殘ッテ居リマスカラシテ、委員長ヨリ御報告ヲ願ヒマス、大岡育造君

第十九 營業稅法中改正法律案(守屋此 第一讀會ノ續(委員長 報告))

○吉植庄一郎君 委員長ガ居リマセヌカラ理事ノ私カラ御報告ヲ致シマス、是ハ既ニ
御手許ヘ回シテアリマスカラ諸君御承知ノコトデアリマス、委員長報告通り御贊成アラ
シコトヲ願ヒマス

〔贊成々々〕ト呼フ者アリ

○松田源治君 本案ハ直ニ二讀會ヲ開キ、三讀會ヲ省略シテ委員長報告通り可決
アラシコトヲ望ミマス

○副議長(肥塚龍君) 然ラバ本案ハ三讀會ヲ省略シ、二讀會ニ於テ確定致シマス、
次ハ日程第二十、鐵道國有法中改正法律案、是ハ撤回ノ申出ガアリマスガ、御異議
アリマセヌカ

〔異議ナシ異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○副議長(肥塚龍君) 然ラバ本案ハ三讀會ヲ省略シ、二讀會ニ於テ確定致シマス、
次ハ日程第二十、鐵道國有法中改正法律案、是ハ撤回ノ申出ガアリマスガ、御異議
アリマセヌカ

〔異議ナシ異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○副議長(肥塚龍君) 然ラバ本案ハ三讀會ヲ省略シ、二讀會ニ於テ確定致シマス、
次ハ日程第二十、鐵道國有法中改正法律案、是ハ撤回ノ申出ガアリマスガ、御異議
アリマセヌカ

〔異議ナシ異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○副議長(肥塚龍君) 然ラバ本案ハ三讀會ヲ省略シ、二讀會ニ於テ確定致シマス、
次ハ日程第二十、鐵道國有法中改正法律案、是ハ撤回ノ申出ガアリマスガ、御異議
アリマセヌカ

〔異議ナシ異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○副議長(肥塚龍君) 然ラバ本案ハ三讀會ヲ省略シ、二讀會ニ於テ確定致シマス、
次ハ日程第二十、鐵道國有法中改正法律案、是ハ撤回ノ申出ガアリマスガ、御異議
アリマセヌカ

〔異議ナシ異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○副議長(肥塚龍君) 然ラバ本案ハ三讀會ヲ省略シ、二讀會ニ於テ確定致シマス、
次ハ日程第二十、鐵道國有法中改正法律案、是ハ撤回ノ申出ガアリマスガ、御異議
アリマセヌカ

〔異議ナシ異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○副議長(肥塚龍君) 然ラバ本案ハ三讀會ヲ省略シ、二讀會ニ於テ確定致シマス、
次ハ日程第二十、鐵道國有法中改正法律案、是ハ撤回ノ申出ガアリマスガ、御異議
アリマセヌカ

第二十三

借地ニ關スル法律案(鳩山和夫 第一讀會ノ續(委員長) 君外四名提出)

(法學博士戸水寛人君登壇)

○法學博士戸水寛人君 諸君、借地ニ關スル法律案、是ハ大ニ世間ヲ騒ガシテ居ルコトコソ法律案デアリマス、私ハ能ク演壇へ出テ來タ譯デアリマス(「簡單々々」ト呼フ者アリ)簡單ト言フデモ、サウ無暗ニ簡單ニハ出來マセヌ(「謹聽シマス」ト呼フ者アリ)此案ニ付キマシテ政府ノ意見ヲ尋マシタコトコソガ、政府ノ意見ハ要領ヲ得タヤウデアデ、要領ヲ得ナイ、要領ヲ得ナイヤウデアデ要領ヲ得テ居ル、政府ノ言ハレルノニハ地主ト地借人トノ利害關係ヲ雙方トモ能ク考慮シテ法律ヲ拵ヘルト云フコトハ、非常ニ困難デアル、ガカラ此案ヲ見テ更ニ一ツ考ヘルト此案ニ書イタルノヨリモ更ニ好イ考ガ起ルカモ知レヌガ、直ニ之ニ同意ヲ表スルト云フコトハ言ハレナイ、雙方ノ利害ヲ能ク較ベ合セテ、雙方トモニ保護スルト云フコトハ贊成デアアル、主意ハ贊成デアアルケレドモ、細カイコトハ何トモ言ハレナイト云フコトハ、實ハ贊成シナイト云フテ居ルヤウデアアル、ケレドモ其事ハ贊成シテ居ルト私ハ解釋シテ居ルデアアル、委員會ニ於テハ全會一致ヲ以テ之ヲ可決致シマシタ、多數決ト云フコトナク、全會一致デゴザイマス、此點ヲ報告致シマス

○松田源治君 本案ハ直ニ二讀會ヲ開キ、三讀會ヲ省略シテ委員長報告通リ可決アラシコトヲ望ミマス

○副議長(肥塚龍君) 此案ハ修正意見ガ出テ居リマスカラ、一讀會ニ於テ修正意見ガ出ルコトナリマス先ヅ二讀會ヲ開クヤ否ヤニ付決ヲ取リマス、二讀會ヲ開クニ御異議ハアリマセヌカ

(「異議ナシ異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○副議長(肥塚龍君) 然ラハ直ニ二讀會ヲ開キマス、入江武一郎君

借地ニ關スル法律案

第二讀會

(入江武一郎君登壇)

○入江武一郎君 本案ニ對シマシテ本員ガ修正ヲ致シタイト考ヘマスル點ハ、本案ヲ東京市ノ範圍ニ限リテ之ヲ(「ノウノウ」東京市デケデヤナイ)ト呼フ者アリ)適用スルト云フコト、一是ガ修正意見ヲ今言フ、ソレカラモウ一箇條ハ本案ニ對シテ民法ハ百十二條ノ規定ヲ適用シナイト云フノ一ノ條項ヲ加ヘル、此二ツノ修正意見デアリマス、ソレデ先ヅ第一ノ本案ヲ東京市ニ限リテ之ヲ施行シテ全國ニ及ボサヌト云フ點ニ付テ、理由ヲ簡單ニ述ベル積リデアリマス、此使用權ナリ、賃借權ナリ、何レニ致シマシテモ、現行ノ法律ニ於テ本員共ノ見ルトコロニ於テハ此地主ソレカラ借主ノ間ニ於テ更ニ障礙ガナイモノト本員ハ認メテ居ルデアリマス、所ガ此法案ノ起リマシタノハ即チ如何ナル動機カラ此法案ガ起リテ來タコトニナツタカト考ヘテ見マスルト、即チ是ハ東京ニ於テ最モ有名ナル地震賣買ト云フ點カラ此法案ガ由ツテ起リタコトニナツテ居ルデアリマス、即チ之ハ借地人ヲ保護スルト云フコトガ先ヅ主要ナル點ニナツテ居ルデアリマス、所デ借地人ヲ保護スル點ガ主要ナル點ニナツテ居リマス、此法案ヲ見マストドウ云フコトニナツテ居ルカト云フ、即チ此使用權ニ付キマシテハ昨年限ヲ延長スルト云フニ止ツテ居リマスガ、此賃貸借ニ付キマシハ如何ナル點ガ主タル點ニナツテ居ルカト云フ、先ヅ本文ト

致シマシテハ此賃貸借人ガ賃借權ノ期限ノ終了ヲナシタル際ニ於テ繼續ヲ請求スル權利ヲ認メルト云フコトガ、即チ此案ノ骨子ニナツテ居リマス、ソレカラ附則ニ至リマシタドウ云フコトガ骨子ニナツテ居ルカト云フ、却テ本文ヨリ法案ノ附則ノ方ガ骨子ト云ウテモ宜カラウト考ヘテ居リマス、此附則ニ依ッテ見マスルト、此附則ノ第二項ニ於キマシテ「本法ハ第四條ノ規定ヲ除クノ外本法施行云々」即チ本法施行前ノ行為ニ付キマシテモ、亦此效力ヲ及ボス、斯ウ云フコトニナツテ居ルデアリマス、デアリマスカラ致シマシテハ所謂本員ガ申述ベルマデモアリマセヌガ、法ハ既往ニ遡ル、即チ遡及ノ效力有セヌト云フコトガ原則デアルニモ拘ラズ、是ハ例外ノ甚シキモノヲ茲ニ規定サレテアルデアル、テ其結果ト致シマシテ此地主ガ其土地ノ使用目的ニ依ッテサウシテ賃貸借契約ヲ結ンデ居ル、其場合ニ於テ本法ヲ直ニ實施スルト致シマシタラバ、即チ既往ニ遡ルデアリマス、地主ハ非常ナ迷惑ヲ感ズルト云フコトハ論ヲ俟タズシテ既ニ明カナ問題デアラウト考ヘマス、即チ是ハ地主イデメノ法案デアルト、一名名ヲ付ケテモ差支ナイカト本員ハ信ジテ居ル次第デアリマス(「分リマシタ」ト呼フ者アリ)極ク簡單ニ申シマス、ソレカラ第二條ニ於キマシテ、此繼續權ヲ賃借人ハ認メテアリマスケレドモ、是等ノコトハ先ヅ東京市ノ如キハ特別ノ事情ガアルトシテモ、地方ニ至ッテハ即チ全國一般ニ至ッテハ此ノ如キ法文ヲ作ラナクテモ差支ガナキノミナラズ、之ヲ作ルト云フコトハ即チ地主イデメノ法案デアルト斷言シテ憚ラヌデアリマス、何トナレバ此民法ノ六十九條ヲ見マシテモ明カニ繼續スルコトガ出來ルト云フコトガ書イタル、其繼續スルコトハ即チ地主ト借主ト意思ノ相一致スル場合ニ於テ繼續スルダケノコトヲ認メテアルデアリマス、デアリマスカラソレニモ拘ラズ此法律ヲ以テ地主ノ意思ニ反シテサウシテ以テ此借地人ニ重大ナル權利ヲ與ヘルト云フヤウナ事柄ハ、是ハ甚ダ不當ナル規定デアルト考ヘルデアリマス、デアリマスカラ致シマシテ本案ノ如キハ是ハ大體ニ於テ本員共ハ贊成シナイデアリマス、併ナガラ先ニモ申シマスル如ク東京市ハ特別ノ事情ガアルト云フ事柄ハ、是ハ昨年以來高木君ナドガ堂々ト述ベラレテ居リマスカラ致シマシテ、此東京市ニ此法律ヲ適用スルト云フコトハ格別ト致シマシテ、全國ニ及ボスト云フコトハ最モ不當ノ甚シキモノト本員ハ信ズルデアリマス、又終リニ臨ンデ——此點ニ付テノ最終ニ臨ンデチヨト諸君ノ御贊成ヲ願ハウト思ヒマスルノハ、昨年本案ハ高木益太郎君ノ提案トシテ出シマシタモノデ、昨年出マシタ時分ニ、委員會ニ於テハ即チ高木君ノ案ハ丁度本案ノ如ク全國ニ通シテ施行スルノ案デアッタ、是ニ對シテ委員會ノ經過ハ如何デゴザイマシタ、即チ全國ヲ通シテ施行スルト云フコトハ甚ダ宜シクナイ、東京市ニ特別ノ事情ガアルナラバ東京市ニ限ッテ施行スルガ宜カラウ、斯ウ云フ理由ヲ以テ政友會ノ諸君ノ委員ハ即チ其説ヲ以テ高木君ノ全國ニ及ボスト云フ案ヲ否決サレタノデハナイカ、ソレガ即チ昨年デアル、所ガ昨年ハ既ニ否決ヲサレマシタ、即チ昨年ノ事情ト本年ト僅カ一年ノ間ニ全國ニ此法律ノ效力ヲ及ボサナケレバナラヌト云フ事情ハ如何ナル變態ヲナシテ居リマス、毫モ變態ノナキニモ拘ラズ、昨年ハ之ヲ否決シ、本年ハ之ヲ可決シナケレバナラヌト云フヤウナ事柄ハ實ニ矛盾ノ甚シキモノデアルト本員ハ信ズルデアリマス(拍手起ル)旁々以テ此東京市ニ限リ之ヲ施行スルト云フコトヲ御贊同ヲ願ハウト考ヘマス(拍手起ル)ソレカラ次ニハ此第五條トシテ建物ノ所有ヲ目的トスル土地ノ賃貸借ニ付テハ民法第六百十二條ノ規定ヲ適用セス」此法文ヲ加入ヲ致シタイト云フ修正案デアリマス、是ハ何デアルト申シマ

スルト、是ハ申シマスルマデモアリマセヌガ、此賃借主ガ自分ノ借ッテ居ル土地ノ上ニ建物ヲ建設スル、即チ借リテ居ル土地其モノヲ他人ニ復貸シマスル、轉貸ヲ爲ス、此轉貸ヲ爲スト云フ場合ニ、地主ノ承諾ヲ經ナケレバナラヌ、若シ地主ノ承諾ヲ經ズシテ他ヘ轉貸スル、或ハ使用ヲ許ス場合ニハ、賃貸契約ヲ取消ス、即チ解除スルコトガ出來ルト云フ特權ヲ地主ニ與ヘルト云フ注文アリマス、若シ此法案ヲ東京市ニ施行スル場合ニ於テ、此注文ヲ缺イテ居ル場合ハ、無論民法六百十二條ノ適用ヲ受ケルコトハ論ヲ俟タヌノデアリマスカラシテ見レバ、偶、借地人ヲ保護スルコト云フ精神ノ上ニ此法律ヲ作ラレノハ、此ノ如キ重要ナル即チ賃借人ガ復貸シ、轉貸使用ヲ許サウト云フ場合ニ、地主ノ承諾ヲ得ナケレバナラヌト云フナラバ、此條項ヲハリ適用サレルト云フコトナラバ、本文ハ即チ空文ニ屬スルデアリマセヌカ、即チ地主ガ此場合ニ地震賣買ノ目的ヲ達スルコトガ出來ナケレバ他ヘ復貸ヲスルト云フヤウナコトニ對シテ、地主ガ賃借人ヲイザメテ自分ノ我慾ヲ逞シウスルト云フコトハ既ニ明カナコトデアリマスカラ、本法ノ精神トシテ借地人ヲ保護スル上ニ於テ此六百十二條ノ適用ヲシナイ、此條文ヲ加ヘルト云フ事柄ハ此法案ヲ提出サレマシタ精神ト主義トノ上ニ於テ缺クベカラザル必要ノ條項デアルト本員ハ信ジテ居ルデアリマス、先ヅ私ノ修正ノ條項ハ此ノ如ク二箇條デアリマス、サウシテ其修正ヲスル理由ニ至リマシテハ以上申述ベマシタ次第デアリマス、尙申述ベタキコトハ法律上ノコトニ付テ多少援引シテ申上ゲタイト考ヘマスガ、先ヅ理由ハ以上申述ベタキ點テ實ニ明カナコト居ラウト思ヒマスカラ、ドウカ御賛成アラント希望致シマス

○松田源治君 本員ハ今ノ修正意見ニ向ヒマシテ、當席カラ反對ノ理由ヲ明カニシテ置キタイト思ヒマス、第一ハ本法ヲ東京市ニ限ッテ施行シタイト云フコトデゴザイマスガ、本法ハ民法ノ補充法デアリマスカラシテ、東京市ノミニ限ルト云フコトハ理由ガナイノデアリマス、而シテ地震賣買ハ東京市ノミナラズ、其他ノ都會其他ノ所ニモ行ハレテ居ルノデゴザイマスカラシテ、東京市ニ限ルト云フコトハ民法補充法デアルト云フコトガ第一ノ理由、第二トシテハ地震賣買ハ各地ニ行ハレテ居ルト云フ理由ニ依ッテ、毫モ謂ハレナイトコロノ修正意見ト思フノデアリマス、尙第二ハ賃借人ガ賃貸ガ自由デアルト、ソレコソ地主ノ權利ヲ蹂躪スルモノデアリマスカラシテ、此點ハ吾々ハ規定ヲ要サナイト思フノデアリマス、本案ノ趣意ハ要スルニ賃貸借ノ期間ニ付テ其繼續ヲ許シ、繼續ニ付テ爭ノアル場合ニハ裁判所ガ之ヲ公平ニ鑑定ヲ致シマシテ、建物ノ構造、用法、狀況其他契約當時ノ事情ヲ斟酌致シマシテ、相當ノ年限ヲ極メ、地主ガ必要アル場合ニ於テハ、其期間ニ拘ラズ相當ノ時價ヲ提供シテ建物ヲ買取ル時分ニハ直ニ明渡シガ出來ルト云フコトデアリマシテ、吾々ハ借地人ノミヲ保護スルニアラズ、地主ヲ征伐スルニアラズ借地人ト地主ノ間ニ於テハ幾多ノ紛爭ガアリマシタ、其紛爭ヲ止メサセル趣意ニ外ナラヌノデアリマスカラ、地主ニ片寄ラズ、借地人ニ片寄ラズ、公平ニ民法ノ不完全ヲ補フト云フ本法ノ趣意デアリマスカラ、修正案ハ直ニ否決セラレンコトヲ望ミマス

(賛成「ト呼フ者アリ」)
○副議長(肥塚龍君) 本案ニ付テ決ヲ採リマス、入江武一郎君ノ修正ノ外ニ修正ハゴザイマセヌカ、修正文ノ朗讀ハ略シマス、入江武一郎君ノ修正說ニ同意ノ諸君ハ起立
起立者 少數

○副議長(肥塚龍君) 少數デゴザイマス、委員長報告通り御異議ハゴザイマセヌカ
(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)
○副議長(肥塚龍君) 然ラバ委員長報告通り決定致シマス
○松田源治君 直ニ三讀會ヲ開キ、二讀會通り決定セラレンコトヲ望ミマス
○副議長(肥塚龍君) 松田君ノ發議ニ御異議ハアリマセヌカ
(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

借地ニ關スル法律案

第三讀會

○副議長(肥塚龍君) 然ラバ直ニ三讀會ヲ開キマス、御異議ナキモノトシテ確定致シマス、ソレカラ日程第三十四
○高木益太郎君 本案ハ唯今本院ニ於テ全國ニ對スル借地法ガ可決ニナリマシタ以上ハ、是ト大體同一精神同趣意ニ基ク東京市ニ關スル借地法案ハ議決ノ必要ハナイコト、存シマスカラ撤回致シマス
○副議長(肥塚龍君) 御異議ハアリマセヌカ
(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○副議長(肥塚龍君) 然ラバ撤回ト云フコトニ致シマス——今日ノ日程ハマダ大分殘テ居リマスケレドモ、法律案ハ是テ決定致シマシテゴザイマスカラ、今日ハ是デ散會致シマス、報告ガアリマス、諸君ニ御報告申シマス、答辯書ガ大分來テ居リマスガ、是ハ速記録ニ載セテ諸君ノ御手許ヘ差上ゲマス
(書記朗讀)

一政府ヨリ提出セラレタル議案左ノ如シ
(第四號)明治四十四年度歲入歲出總豫算追加案
一議員ヨリ提出セラレタル議案左ノ如シ

水道補助ニ關スル建議案
提出者 矢 島 中君 菅 原 傳君 庄野金十郎君

京都市立陶器試驗場ヲ農商務省直轄ト爲スノ建議案
提出者 阪本彌一郎君 小橋榮太郎君 中安信三郎君
濱岡 光 哲君 淺 羽 靖君 木村 省 吾君

木村 良君
借地ニ關スル法律案ニ對スル修正案
提出者 入江武一郎君

鑛業試驗所設置ニ關スル建議案
提出者 宮古啓三郎君 吉植庄一郎君 守屋 此助君
福井 三郎君

民事爭訟勸解法案
提出者 高木益太郎君
史蹟及天然記念物保存ニ關スル建議案
提出者 井上 敏夫君 宮古啓三郎君 福井 三郎君

一政府ヨリ左ノ質問書ニ對シ答辯書ヲ送付セラレタリ

關稅定率法改正ニ關スル質問主意書(桂大藏大臣、小村外務大臣)

大平洋方面ノ政策ニ關スル質問主意書(桂大藏大臣、小村外務大臣、平田內務大臣、大浦農商務大臣、後藤遞信大臣)

關稅定率實施ニ關スル質問主意書(桂大藏大臣、小村外務大臣)

醫藥分業ニ關スル質問主意書(平田內務大臣)

正金銀行營業業務監督ニ關スル質問主意書(桂大藏大臣)

鐵道改善ニ關スル質問主意書(桂內閣總理大臣)

市町村制ニ關スル質問主意書(平田內務大臣)

朝鮮穀物移入稅ニ關スル再質問主意書(小村外務大臣、桂大藏大臣、大浦農商務大臣)

朝鮮民團議員任期延長ニ關スル質問主意書(桂內閣總理大臣)

貴族院令第六條ニ關スル質問主意書(桂內閣總理大臣)

衆議院議員清水市太郎君提出關稅定率法改正ニ關スル質問ニ對シ別紙答辯書差進候也

明治四十四年三月十六日

衆議院議長長谷場純孝殿

內閣總理大臣侯爵桂太郎

(別紙)

衆議院議員清水市太郎君提出關稅定率法改正ニ關スル質問ニ對スル答辯書

辯書

質問ハ新關稅定率法改正ノ問題ヲ起點トシテ數項ニ敷衍セラレタル處新關稅定率法ノ改正ニ關シ英國政府ヨリ何等交渉アリタルコトナク又政府ニ於テ右改正ノ議アルコトナシ

右及答辯候也

明治四十四年三月十六日

衆議院議長長谷場純孝殿

大藏大臣侯爵桂太郎

外務大臣伯爵小村壽太郎

衆議院議員阪本彌一郎君提出大平洋方面ノ政策ニ關スル質問ニ對シ別紙答辯書差進候也

明治四十四年三月十六日

內閣總理大臣侯爵桂太郎

衆議院議長長谷場純孝殿

(別紙)

衆議院議員阪本彌一郎君提出大平洋方面ノ政策ニ關スル質問ニ對シ別紙答辯書

スル答辯書

一政府ハ通商貿易ノ發展ヲ期スル爲メ財政ノ許ス範圍內ニ於テ出來得ル限リノ施設經營ヲ爲サントス

二港灣ニ對スル鐵道ノ設備ハ港灣ノ修築ニ伴ヒテ之カ設備ヲナスヘキモノナリ而シ

テ我帝國ノ太平洋岸ニ於ケル鐵道ニ付テモ此方針ニ從ヒ之カ設備ヲ爲スヲ怠ラス既ニ神戸大阪名古屋橫濱室蘭ノ各港ニ於テ海陸聯絡ニ關スル施設及計畫ヲ了シタリ四日市釧路函館ノ諸港ノ如キモ各其設計及工事ノ進捗ヲ待テ適當ノ時機ニ於テ之カ聯絡設備ヲ計ラントス而シテ港灣ニ關シテハ港灣調查會ヲ設ケ其施設經營ニ付精細調査中ナレトモ現時ノ狀態ニ於テハ特ニ太平洋方面ニ對スル貿易ノ爲メ新ニ開港ヲ設クルノ必要ヲ認メス又航路標識ノ設備ニ關シテハ一般ニ船舶交通ノ繁閑ト地勢ノ如何トニ依リ其緩急ヲ審査シ財政ノ許ス限リ銳意之レカ増設ニ努ム

右及答辯候也

明治四十四年三月十六日

大藏大臣侯爵桂太郎

外務大臣伯爵小村壽太郎

內務大臣伯爵平田東助

農商務大臣男爵大浦兼武

遞信大臣男爵後藤新平

衆議院議員千田軍之助君提出關稅定率法實施ニ關スル質問ニ對シ別紙答辯書差進候也

明治四十四年三月十六日

內閣總理大臣侯爵桂太郎

(別紙)

衆議院議長長谷場純孝殿

衆議院議員千田軍之助君提出關稅定率法實施ニ關スル質問ニ對スル答辯書

辯書

新關稅定率法ハ昨年勅令第三二三號ノ定ムル所ニ依リ本年七月十七日ヨリ實施スヘシ

日英新條約ニ關スル交渉ニ至テハ政府ニ於テ未ダ之ヲ公ニスルノ時機ニ達セス

右及答辯候也

明治四十四年三月十六日

大藏大臣侯爵桂太郎

外務大臣伯爵小村壽太郎

衆議院議員綾部惣兵衛君提出醫藥分業ニ關スル質問ニ對シ別紙答辯書差進候也

明治四十四年三月十六日

內閣總理大臣侯爵桂太郎

(別紙)

衆議院議長長谷場純孝殿

衆議院議員綾部惣兵衛君提出ノ醫藥分業ニ關スル質問ニ對シテ答辯書

醫藥分業ハ我邦病者受療ノ實況ニ鑑ミ政府ニ於テハ現時法令ヲ以テ之ヲ強制スルノ意思ナシ

右及答辯候也

明治四十四年三月十六日

內務大臣法學博士男爵平田東助

衆議院議員水野正己君提出正金銀行營業業務監督ニ關スル質問ニ對シ別紙答辯書差進候也

明治四十四年三月十六日

衆議院議長長谷場純孝殿

內閣總理大臣侯爵桂太郎

(別紙)

衆議院議員水野正己君提出正金銀行營業業務監督ニ關スル質問ニ對スル答辯書

大藏大臣ハ橫濱正金銀行ニ對シ同行監理官ヲ派シテ其事務ヲ監査シ必要ト認ムルトキハ同行ヲシテ諸般ノ書類ヲ提出セシメ又ハ取締役會議及株主總會ニ出席シテ意見ヲ陳述セシメ營業上不都合ノ事項アリ又ハ改正ヲ要スルモノアリト認ムルトキハ之ヲ具申セシム

右ノ外大藏大臣ハ特派員ヲ派シテ同行營業ノ實況ヲ検査又觀察セシムル等常ニ監督ノ實ヲ舉ゲンコトヲ期ス

大藏大臣ハ正金銀行ヲシテ我貿易業者ニ對シ其信用ノ程度ニ應ジ公平且適切ニ資金ノ融通ヲ爲シ或ハ其貸付利率ノ低減ヲ爲スニ努メシメ一般取扱振ニ在リテモ成ル可ク營業者ニ利便ヲ與フル様注意セシム

明治四十四年三月十六日

大藏大臣侯爵桂太郎

衆議院議員水品平右衛門君提出鐵道改善ニ關スル質問ニ對シ別紙答辯書差進候也

明治四十四年三月十六日

內閣總理大臣侯爵桂太郎

衆議院議長長谷場純孝殿

(別紙)

衆議院議員水品平右衛門君提出鐵道改善ニ關スル質問ニ對スル答辯書

一、既定ノ計畫ノ如ク確水鐵道ノ原動力ヲ電氣裝置ニ變更セハ輸送力ニ於テ現今ニ比シ略五割以上ヲ増加シ速度ニ於テ現今ノ一時間六哩ヲ十哩ニ増加スルヲ得ヘク更ニ補充ノ費用ヲ投セハ一層輸送力ヲ増進スルコトヲ得ヘシ富直線ノ全通ハ多少確水ノ貨客ヲ増加スヘシト雖モ他方ニ於テ中央線及岩越線ノ全通ハ確水ノ負擔ヲ輕減スヘシ依テ廣軌改築ノ場合遭ハ遇セハ格別近キ將來ニ於テハ確水鐵道ニ對シ根本的改築ノ必要ヲ認メス

一、直江津長野間ハ豐野荒井間ノ勾配四十分ノ一ヲ其儘トスルモ信號所及側線ノ増設並ニ強力ナル機關車ノ使用ニ依リ列車回數並ニ一箇列車ノ輸送量ヲ現今ヨリモ遙カニ増加スルコトヲ得ヘシ而シテ尙將來輸送數量ニ甚大ナル増加ヲ來スコトアリトモハ其際線路ノ増設勾配ノ緩和等適當ノ改良ヲ施ス見込ナリ

(三)

一、西條明科間ハ地質不良ニシテ線路ヲ變更スルモ果シテ全然崩壞ヲ防クニ足ルヤ否ヤ明白ナラサルモ比較的良好ニ導クノ目的ヲ以テ地質最モ不良ノ區間線路變更ノ計畫ヲ立テ既ニ其豫算ハ成立シ居レリ

一、信越線中央東線ニ於テモ旅客貨物ノ數量ニ適應スル列車回數ヲ運轉シ居レリ使用客車ハ年來之ガ改善ニ意ヲ盡セルモ多數ノ隧道其他線路ノ狀況ハ是等客車ヲ他線路ニ於ケルカ如ク清潔ニ保ツ能ハサルヲ遺憾トス尙今後漸次之ガ改善ヲ圖ル方針ナリ乘客及貨物ノ取扱方ニ關シテハ掛員ノ訓練ニ意ヲ注キ他線路ト何等ノ差異ヲ認メス

右及答辯候也

衆議院議員大橋賴模君提出市町村制ニ關スル質問ニ對シ別紙答辯書差進候也

明治四十四年三月十六日

內閣總理大臣侯爵桂太郎

衆議院議長長谷場純孝殿

(別紙)

衆議院議員大橋賴模君提出市町村制ニ關スル質問ニ對スル答辯書

第一 本問ノ如キ場合ハ事體重大ナリト認メタルニ由ル

第二 改正案町村制中郡參事會ノ權限ニ關スル事項ヲ規定セサルモ別ニ郡參事會其モノヲ必要ト認メタルカタメニ非ス

第三 改正案町村制第七條市制第九條ニ六年ノ懲役又ハ禁錮以上ノ刑ニ處セラレタル者ニ公民權ヲ附與セシメサルノ規定ヲ設ケタルモ終身復權ヲ得セシメサルノ趣旨ニ非サルヲ以テ復權ニ關シテハ別ニ其途ヲ開カントスル見込ナリ

第四 質問ニ係ル(一)ノ場合ハ改正案ニ於テハ請負ヲ常業トスル者ニ被選舉權ヲ有セシメサルノ趣旨ナルヲ以テ設例ノ如キ場合ニ於テ單ニ一回ノ請負ヲナシタルカ爲議員ヲ失職セシムルモノニ非ス

(二)前號答辯ノ趣旨ニ依リ了解セラレタシ

(三)被選舉權ナシ

(四)被選舉權ナシ

(五)其ノ要求ヲ拒絕セハ議員ノ資格ニ何等影響ナシ

(六)金庫事務ノ取扱ヲ爲ス法人ノ取締役及監査役ハ被選舉權ナシ

第五 市又ハ町村ノ營造物ノ管理ヲ囑託セラレ之カ爲メ報酬ヲ受クルコトアルモ市町村會議員ノ被選舉權ヲ有スルモ市町村會議員ノ被選舉權ヲ有スルニ何等妨ケナシ又財產保管ノ囑託ハ意義稍明瞭ヲ缺クノ嫌アルモ假ニ市町村ノ委員カ財產ノ管理ヲナス場合トスレハ營造物管理ノ場合トモ異ナルコトナシ其他一個人カ市町村ヨリ財產ノ保管ヲ囑託セラレタル場合ニ於テ假令手當ヲ受クルコトアルモ金庫事務ノ取扱ヲ爲ス者ニ非サル限り之カ爲メ被選舉權ヲ失フコトナシ

第六 改正案町村制第三百二十條第一項ニ所謂協議トハ組合內各町村會ノ議決ヲ要スルノ趣旨ナルヲ以テ質問ニ係ル設例ノ如キ場合ニ於テ公益上必要アラハ同條末項ノ手續ニ依ルヘキモノトス

第七 事務ノ一部ヲ共同處理スルタメ設ケタル町村組合ニ於テハ組合規約ノ規定

ニ依リ組合内ノ町村長ヲ以テ組合長トナス場合ハ更ラニ府縣知事ノ認可ヲ要セサルモ特ニ組合長ヲ置キタル場合ハ町村ノ例ニ依リ府縣知事ノ認可ヲ受クルヲ要シ助役ニ付テモ亦然リトス

第八 市税特別税トシテ家屋割税ト戸數割税トヲ併課スルハ穩當ナラサルヲ以テ許可セサル方針ナリ

第九 家屋税ノミヲ賦課スル市ニ於テ家屋ヲ有セサル者ニ對シテハ戸數割若ハ居住税ヲ賦課スルヲ得サルモ家屋税ノ賦課ヲ受ケサル官舎等ニ居住スル者ニ對シテハ特別税戸別割ヲ賦課スルヲ妨ケス

第十 市内ニ住所ヲ有セス又土地家屋ヲ所有セス三月以上市内ニ滞在スルコトナキ者ト雖モ質問ノ如キ場合ニ於テ其行商卸小賣業ニ對シ府縣税ノ賦課ヲ受ケ居ラハ其ノ附加税トシテ市税ヲ賦課スルコトヲ得ヘク否ラサレハ其行爲ニ對シ特別税ヲ賦課スルモ妨ケナシ

右及御答辯候也

明治四十四年三月十六日

内務大臣法學博士男爵平田東助

衆議院議員大内暢三君外一名提出朝鮮穀物移入税ニ關スル再質問ニ對シ別紙答辯書差進候也

明治四十四年三月十六日

内閣總理大臣侯爵桂太郎

衆議院議長長谷場純孝殿

(別紙)

衆議院議員大内暢三君外一名提出朝鮮穀物移入税ニ關スル再質問ニ對スル答辯書

朝鮮ヨリ内地ニ移入スル穀物ニ對スル移入税ノ改廢ニ關スル質問ノ趣旨ハ之ヲ了承ス本件ハ前回答辯シタル如ク内地經濟上竝ニ政府財政上重大ナル關係ヲ有スルヲ以テ慎重ナル調査ヲ待ツ、非サレハ政府ノ所見ヲ決定スルヲ得ス

右及答辯候也

明治四十四年三月十六日

外務大臣伯爵小村壽太郎
大藏大臣侯爵桂太郎
農商務大臣男爵大浦兼武

衆議院議員鈴木力君提出朝鮮民團議員任期延長ニ關スル質問ニ對シ別紙答辯書差進候也

明治四十四年三月十六日

内閣總理大臣侯爵桂太郎

衆議院議長長谷場純孝殿

(別紙)

衆議院議員鈴木力君提出朝鮮民團議員任期延長ニ關スル質問ニ對スル答辯書

一統監府令ヲ以テ朝鮮居留民團議員ノ任期ヲ延長シタルハ其ノ満了期カ韓國併

合後猶豫ナク當時ノ情勢ハ之カ選舉ヲ行フニ不適當ナリト認メタルニ由ル
一明治四十四年一月三十一日ニ至リ議員ノ選舉ヲ行ヒタルハ選舉ヲ行フニ適當ナリト認メタルニ由ル

一居留民團ノ將來ニ關シテハ政府ハ目下之カ調査中ニ在リ
右及答辯候也

衆議院議員塚田啓太郎君提出貴族院令第六條ニ關スル質問ニ對シ別紙答辯書差進候也

明治四十四年三月十六日

内閣總理大臣侯爵桂太郎

衆議院議長長谷場純孝殿

(別紙)

衆議院議員塚田啓太郎君提出貴族院令第六條ニ關スル質問ニ對スル答辯書

貴族院多額納稅者議員ノ選舉ニ付テハ現在ノ區域ヲ適當ト信スルヲ以テ別ニ之レカ改正ノ必要ヲ認メス

北海道多額納稅者議員ノ選舉ニ付テハ相當調査ヲ爲サントス沖繩縣ニ付テハ未タ衆議院議員選舉法ヲモ施行セサルヲ以テ多額納稅者議員ノ選出ニ付テハ未タ其ノ時機ニ達セスト認ム

右及答辯候也

○副議長(肥塚龍君) 本日議長ニ指名ヲ委託サレシタ委員ノ選舉竝ニ次回ノ議事日程ハ公報ヲ以テ御報告致シマス、本日ハ是テ散會致シマス

午後六時三十六分散會

衆議院議事速記第二十二號正誤

頁 段 行 誤
四八八 上 四 ○議長(長谷場純孝君)

正
○副議長(肥塚龍君)